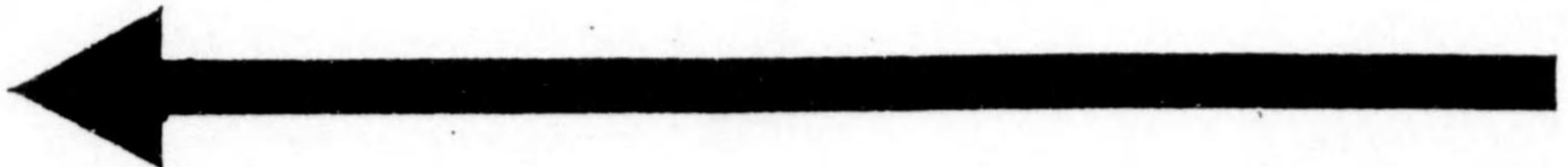


14. 2□-149
1200501167503
14.2□
149



始



昭和六年
大阪貿易彙纂

大阪府立貿易館



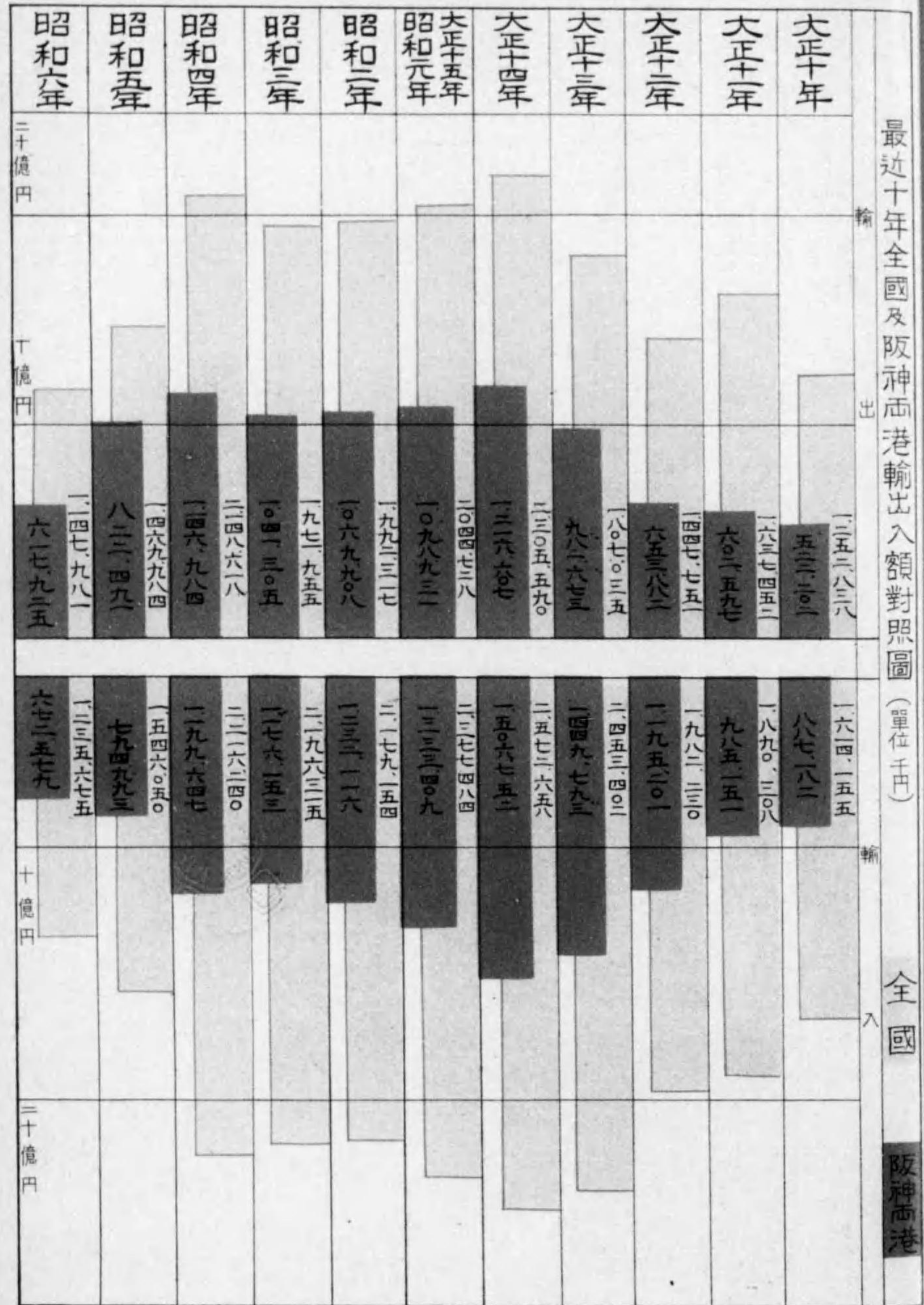
昭和六年
大阪貿易彙纂



發行所寄贈本

發行所寄贈本

露光量違いの為重複撮影



最近十年全國及阪神兩港輸出入額対照圖 (單位千円)

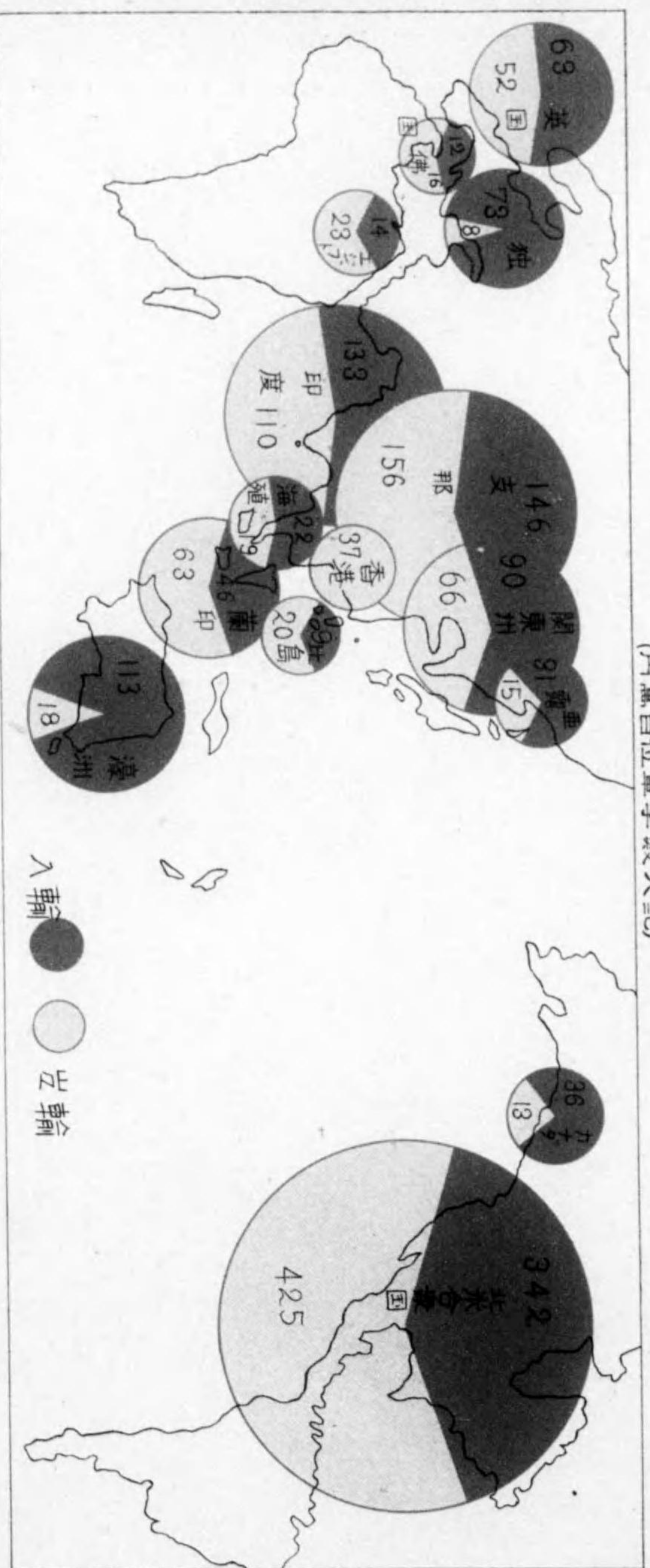
全國

阪神兩港

發行所書館本

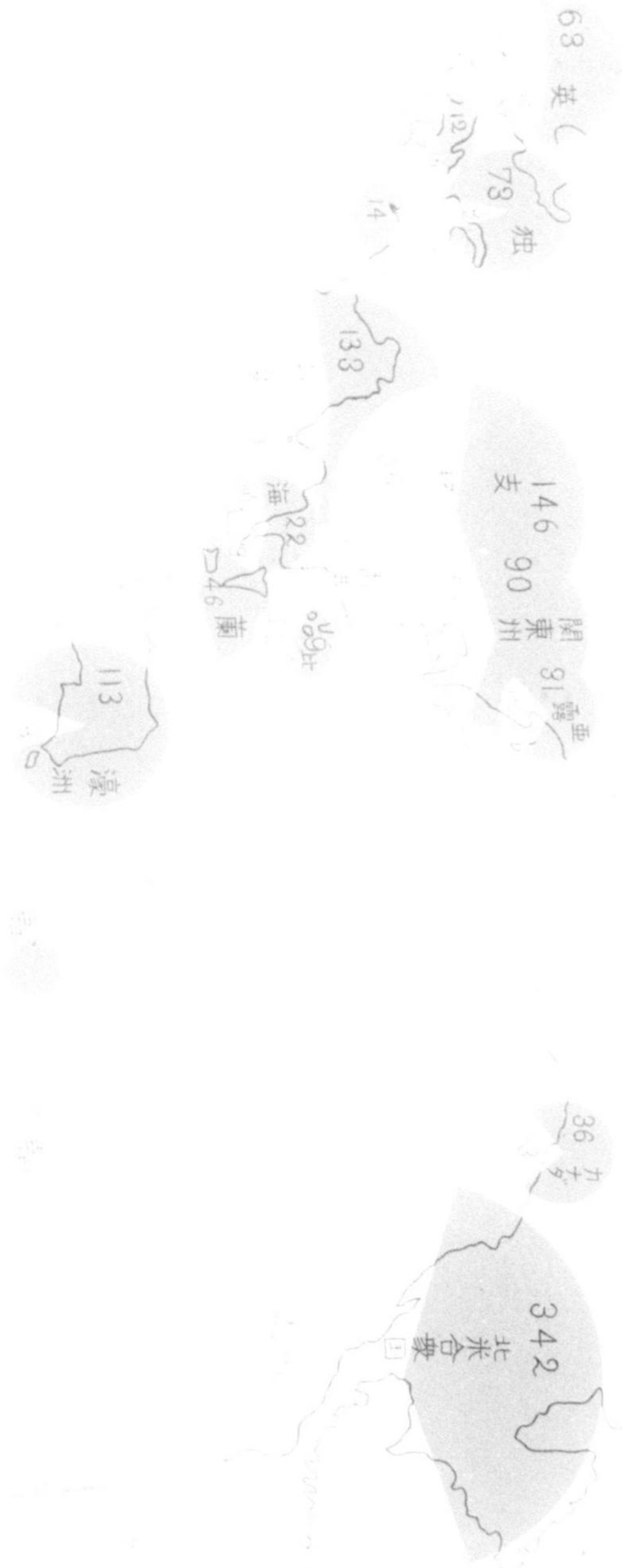
表照對入出輸國手相要主對邦本

(内々含ラ灣台及群朝) 年六和昭
(内萬百位單字 收入計也)



在東洋の輸出額手相變遷表

昭和十一年一月一日現在



14.22-149

凡例

- 一、本書は昭和六年に於ける阪神兩港の重要輸出入品の概況を叙述す
- 一、叙述のために採録の商品は阪神兩港に於て輸出又は輸入年額二百萬圓以上のものを標準としたり
- 一、卷末の大阪港及神戸港輸出入國別表は本館の特別調査に係るものにして江湖の資料として其價值大なるを信ず、第二、第三章叙述の品目に關しても本表を参照せられんことを望む

年計表に使用せる國別名表示例左の如し。

支滿—滿洲、支北—支那北部、支中—支那中部、支南—支那南部、關—關東州、香—香港、印—英領印度、海、海峽殖民地、ポ—英領ポルネオ、蘭—蘭領東印度、フ—佛領印度支那、ソ—露領亞細亞、比—比律賓暹羅、ア—アデン、細—其他亞細亞諸國、英—英吉利、佛—佛蘭西、獨—獨逸、白—白耳義、伊—伊太利、瑞—瑞西、奧—奧地利、チ—チエコスロバキア、和—和蘭、典—瑞典、露—露威、露—露西亞、波—波蘭、西—西班牙、丁—丁抹、希—希臘、土—土耳其、葡—葡萄牙、歐—其他の歐洲諸國、合—米國、加—加奈陀、北米—其他北米諸國、墨—墨西哥、玖—玖馬、サ—サルヴァドル、パ—パナマ運河地帯、中米—其他中米諸國、秘—秘露、智—智利、亞—アルゼンチン、伯—ブラヂル、ウ—ウルグアイ、南米—其他南米諸國、埃—埃及、阿—南阿聯邦、東—東部アフリカ、弗—其他のアフリカ諸國、濠—濠洲、新—新西蘭、布—布哇、其他—以上に國名なきものエ—保税工場、指—指圖式

昭和七年十一月

大阪府立貿易館

昭和六年 大阪貿易彙纂

目次

第一章 總說

第一節 本年度貿易概勢 一

 一、國別貿易概況 一

 二、品種別貿易概況 二

第二節 主要相手國別貿易概況 二

 米國 一六

 支那 一八

 印度 二〇

 英國 二三

 獨逸 二四

 佛蘭西 二五

 比律賓 二七

 蘭領東印度 二六

 海峽殖民地 二〇

第二章 重要輸出品概況

小麥粉 三五

精糖 三五

寒天 三五

罐詰及罐詰食料品 三六

樟腦 四〇

薄魚油 四〇

魚化油 四〇

硬虫油 四〇

除虫菊 四〇

生糸 四〇

綿糸 四〇

綿織物 四〇

絹織物 四〇

人絹織物 四〇

綿毛布 四〇

莫大小製品 四〇

カ ナ 三三

ア フ リ カ 三三

濠洲 三四

鐵筒及鐵管	鐵(條、竿、アングル)	鉄	貝	石	パール	毛織物	毛織糸	染料	硝子板	漆	曹達灰及苛性曹達	パラフィンワックス	牛油	木	燐石	羊毛	麻	棉花	硫安	
.....	
106	105	105	104	104	103	103	102	101	101	100	98	98	97	96	94	93	92	90	88	86

生革	牛探油原料種子	牛鳥	大	小	米	及	鈕子	帽	自轉車及同部分品(ゴムタイヤを除く)	護膜製品	珉瑯鐵器	硝子製品	陶磁器	洋磁紙
.....
85	85	85	84	84	83	83	82	82	81	80	79	78	77	76

第三章 重要輸入品概況

鉄	力	板	106
鐵	板		107
ワイヤ	ロツド		108
錫	(塊及錠)		108
鉛	(塊及錠)		109
アルミニウム	(塊及錠)		109
亜鉛	(塊及錠粒)		110
紡績	機械		111
金屬工、木工	機械		111
發電機及電動機			111

大阪港輸出入年計表 神戸港輸出入年計表

昭和六年 大阪貿易彙纂

第一章 總說

昭和六年其は近代世界經濟史上に重要な一頁を與へた筈に多事多端の一年であつた。不景氣は昭和五年を以つて底をつき六年から回復過程を辿るであらうとは歐米一流學者、事業家の一般に信じ居る所であつたが結果は悲しくも此等の期待を裏切ること甚しく反對のコースをひた走りに驅けて居た。

景氣樂觀者の言を妄信し景氣回復に敢なき期待を懸けて居た人達がやがて一向に景氣の回復せざるを知れるころ歐米世界の天地には大きな嵐が吹き捲つて居た。

曰く、フーパーの戦債モラ案、曰く獨逸金融恐慌、英國の金本位停止、滿洲事變、米國産業界の行詰り、日本金輸出禁止等々。

而して英國の金本位停止は世界的流行を來たし停止をなすもの續出し金本位制の行詰りが云々さるに至り世界は擧げて金を抱いて苦しむ國と失つて苦しむ國の二對立となり鎖國主義的傾向愈々露骨となり關稅戰日とともに激化し國際貿易は不況の深刻化と相俟つて層一層收縮せざるを得なかつた。

第一節 本年度貿易概勢

昭和六年の世界主要貿易國たる英、米、佛、獨、日の五ヶ國對外貿易額に就き前年と對比して見るに輸出入を通じ景氣根源地と看られ來たつた米國を筆頭に其他諸國何れも尠なからざる減少を來たし國內産業の萎縮、輸出戰線の異狀を語つて居る。

即ち輸出に在りては米國の三割七分の最高から最低獨逸の二割迄の間を、又輸入に在りては獨逸の三割五分を首位に最低英國の一割七分餘間と何れも前年に比し減少を見た。

勿論是世界的不況の深刻化による物價下落に負ふ所多かるべく各種商品の數量に就きては其程でもなかつたらうと思はる點は我日銀物價指數平均が六年は前年の夫に比し一割五分餘の下落で此を六年の貿易額減少率たる二割一分より減じたものが實際減少數量に近いと大體言へるからであるが其にしても兎も角も世界經濟界が極度に悪化し各國々民の購買力が前年の夫にも増して低下しつゝあつた事實は否めぬ所であらうと思はれる。

世界五大主要國對外貿易額 (昭和六年)

國名	輸出額	對前年減少率	輸入額	對前年減少率
英國	四三、〇〇〇千磅	三二、一%	八六、〇〇〇千磅	一七、四%
米國	二、四四、〇〇〇千弗	三七	二、九〇、〇〇〇千弗	三
獨逸	九、五九、〇〇〇千マルク	三〇	六、七三、〇〇〇千マルク	三五
佛國	三〇、四〇、〇〇〇千フラン	三四	四、一九、〇〇〇千フラン	二四
日本	一、一六、〇〇〇千圓	三三	一、三三、〇〇〇千圓	二〇

却說本邦對外貿易情勢を見るに金解禁第二年度たる昭和六年の對外貿易は前述の如き世界的不況の折柄にも拘らず前内閣の消費節約政策、惹いては國際貸借改善の方針が著しく効き貿易尻において見る限り相當改善されたかに見えるが九月以後相次いで起きた滿洲事變、英國の金本位停止による磅貨の下落で民國、印度、南洋其他で著しき打撃を受けた。

勿論磅貨下落の脅威は十二月十三日新内閣の出現とともに金輸再禁止がなされるゝに及び表面的には除かれたる事になつたものゝ事實は爲替の動搖のため輸出見送り輸入積急ぎの豫期に反した結果を見るに至り本邦(内地及樺太)貿易額概算は輸出十一億四千六百餘萬圓、輸入十二億三千五百餘萬圓合計二十三億八千二百餘萬圓、差引入超八千八百餘萬圓となり前年に比し輸出二割二分、輸入二割の減少、入超一割六分の増加を來たし同年對外貿易尻は前年にも増して不振を見た。

て不振を見た。

昭和六年本邦對外貿易額 (單位千圓)

項目	昭和六年	對前年増減(△)額	同上割合
輸出	一、一四六、九八	△三三、八七一	三三、〇%
輸入	一、三三三、六七	△三三〇、三五	二〇、一
合計	二、三二〇、六六	△六三三、二六	二七、〇
入超	八八、六八	三、四六	三、九

六年の本邦對外貿易は先づ輸出においては世界的不況、激化せる國際關稅戰、特産物及銀暴落に伴ふ主要市場の購買力低下、其他印度の外貨不買同盟、滿洲事變を機としての民國の日貨排斥運動、英國の金本位停止による磅貨の下落等が經となり緯となつて重壓を與へ又輸入にありては一般内地財界不振と農村、都市を通じての一般不況のため産業方面使用原料の輸入に可成り抑制を見た事前述の通りで更に此を月別に見ると一月中は輸入の減少前年同期に比し著しくために貿易尻は前年同期の入超三千六百七十五萬六千圓に對し珍らしくも出超百六十四萬九千圓を見たが一月に出超を見たのは實に大正六年來の事である。これ棉花の輸入著減せるに對し生糸の輸出比較的旺盛であつたためであるが二月中旬に入るとともに例年の通り入超に轉じた。

然し乍ら輸入の收縮依然として甚しく六月下旬早くも出超を仄めかすに至り七月中旬より本格的出超に轉じた處十一月以降より民國の排日貨、諸國關稅の引上、英國の金本位停止の影響現はれ輸出漸次收縮例年に先んづる事二ヶ月早くも入超に轉じた。

月別輸出入額 (單位千圓)

月	輸出	輸入	出入(△)超
一	一〇五、三六	一〇三、四七	一、八八
二	九八、八七	九八、六六	〇、二一

三 月 九 六 五 四 三
 二 月 一 月 月 月 月 月 月

三	九六、二五	二七、九五	△三、七五〇
四	八、五三	二六、九六	△四、四〇四
五	一〇一、一一	二八、一六四	△二六、〇五五
六	一〇〇、三三	一〇五、三〇二	△四、九六五
七	一〇三、四一六	九三、八四四	九、五七二
八	一〇七、七一一	八六、九八五	二〇、七三六
九	一〇〇、七五四	九四、〇六七	六、六六七
十	九七、八七九	七七、四二五	二〇、四六四
十一	七七、〇五三	八〇、九七四	△三、九三三
十二	八二、八五三	一一、三四五	△二八、四九三

四

一、國別貿易概況

次いで本年の洲別貿易を見るに輸出に在りては亞細亞洲依然として第一位を占め北米洲、歐洲之に次いだ其の收縮振りは流石不況を反影して著しく殊に滿洲事變、英國の金本位停止其他の惡材料頻出せる年だけに亞細亞洲の約二億圓を筆頭に北米洲の八千五百萬圓其他各洲とも尠なからぬ減少を示し又輸入に於いても亞細亞洲、北米、歐洲の順位には變化を見なかつたが内地産業界の不振、都市、農村を通じての不況深刻たりしたため著しき收縮を來たし亞細亞洲の一億三千八百萬圓、北米洲の一億一千百萬圓を其の大なるものとして其他各洲尠なからざる減少を示したがたゞ南米、大洋の兩洲のみは例外的に多少増加したが此特殊事情に因るもので次の國別貿易が之を語るであらう。

即ち一步進めて國別貿易に就いて見ると前述の如く輸出においては民國の減少殊の外甚しく前年に比し其の減少額一億五百萬餘圓を見せ之に關東州、香港の減少を加へると一億四千五百萬圓に上り滿洲事變の影響の大なるを語つて居る。

次いで米國の減少著しく八千萬圓に達したが此生糸、陶磁器、罐邊詰の輸出減少に因る。

其他英領印度一千八百萬圓、佛國、亞露各一千萬圓、千二百萬圓減少せる中に白耳義其他十ヶ國は増加した。

又輸入に在りては米國の一億圓餘減少を首位とし英領印度四千七百萬圓、獨逸の三千二百萬圓、關東州三千百萬圓、英國二千九百萬圓、民國千五百萬圓、蘭領東印度千三百萬圓、暹羅千二百萬圓、加奈陀一千萬圓各々減少したのが大 きなもので其他夫々減少を見た。

但濠洲の千九百萬圓の増加を初じめチエコ其他十ヶ國の小國に増加を見た。

而して濠洲の増加はこれ云ふ迄もなく羊毛の輸入増加に因るものである。

要之最近數年來わが國別貿易の特徴は米國、英領印度、民國の如き大市場に對する輸出は漸減傾向を示し從來第二義的乃至第三義的にその存在價值を認められ居た小市場に對する輸出が著しく増加する傾向を帯びて來たが此輸入に於いても幾分其の傾向なしとは言へない而してこれは後述のわが輸出入品の變遷傾向と相俟つて國際經濟界不況裡に際しての吾が貿易の向ふべき途を暗示せるものにはあらざるか。

輸 出	國 別 貿 易 額 (單位千圓)		對前年增減(△)
	昭和六年	昭和五年	
亞細亞洲	五〇五、〇一八	七〇五、〇一〇	△ 一九、〇三三
中 華 民 國	一五五、七五一	二六〇、八六二	△ 一〇五、〇七五
關 東 州	三六、五四二	六六、八四四	△ 三〇、三〇二
香 港	五五、七五四	五五、六四六	△ 一八、八九三
英 領 印 度	一一〇、三六七	二九、二六二	△ 一八、八九五
海峽植民地	一九、一一〇	二六、三三一	△ 七、二二一
英領ボルネオ	五〇	九三	△ 三
蘭領東印度	三三、四五〇	六六、〇四八	△ 三二、五九八

五

輸入

東阿 其 太 洋 洲
 其 他
 東 阿 其 他
 太 洋 洲
 新 西 蘭
 布 哇
 其 他
 亞 細 亞 洲
 中 華 民 國
 關 東 州
 香 港
 英 領 印 度
 佛 領 印 度 支 那
 亞 細 亞 露 西 亞
 海 峽 植 民 地
 英 領 波 多 利 拿 東 印 度
 蘭 領 東 印 度
 比 律 賓
 暹 羅
 ア デ ン
 其 他

昭和六年
 一〇、八六八
 五、八八八
 二六、五九三
 一八、四〇六
 一、九六七
 五、六三五
 五九五
 四九三、九三六
 一四四、六九七
 九〇、一六五
 四九九
 一三三、一六五
 六、三八一
 三〇、八六五
 二、八五八
 三、〇九六
 四六、〇八一
 八、九八八
 六、七九二
 三三
 三三八

昭和五年
 一〇、六三三
 三、一八二
 三五、六三三
 二五、四六六
 三、二二七
 六、三五三
 五二六
 六三三、四九九
 一六二、六六七
 二二、四〇五
 五三八
 一八〇、四〇五
 七、九〇七
 三七、二二八
 二八、九二五
 四、五〇一
 五九、九八四
 一〇、七六〇
 一八、八四三
 七六
 三三九

對前年增減(△)

△ 二〇五
 △ 二、七〇六
 △ 九、〇四〇
 △ 七、〇八〇
 △ 一、二六〇
 △ 七六八
 △ 六九
 △ 一三八、五三三
 △ 一五、九七〇
 △ 三二、二四〇
 △ 三九
 △ 四七、二四〇
 △ 一、五二六
 △ 六、三五三
 △ 七、〇六七
 △ 一、四〇五
 △ 一三、九〇三
 △ 一、七三三
 △ 二二、〇五一
 △ 五四
 △ 九九

歐 羅 巴 洲
 英 國
 佛 國
 獨 逸
 白 耳 義
 伊 太 利
 瑞 西
 奧 國
 チ エ コ ス ロ バ キ ヤ
 和 蘭
 瑞 典
 瑞 威 國
 露 國
 波 蘭
 西 牙
 丁 班
 希 臘
 土 其
 葡 牙
 其 他
 北 亞 米 利 加 洲
 米 國
 加 奈 陀

一九、七六八
 六三、三三五
 二二、四〇八
 七三、二四四
 四、七三六
 四、二七六
 一〇、五九六
 九三三
 二、九四八
 二、八八五
 八、五八一
 三、二九三
 三、七八七
 四、九九九
 九二五
 五三六
 六八
 三四七
 八七三
 一、一七九
 三六、〇〇三
 三四三、二八九
 三三、六七三

二七、七三三
 九三、五六一
 一六、六三六
 二〇六、一八三
 八〇、二四
 四、二五九
 一五、二二三
 一、四二四
 二、二七四
 二、九三八
 八、六三四
 五、五〇三
 二、五八三
 五、三六八
 八二八
 五、三八四
 八〇
 五四
 八五三
 九三四
 四九、〇五〇
 四四三、八八二
 四六、一六四

△ 八〇、〇五
 △ 二九、三六
 △ 四、三八
 △ 三三、九三九
 △ 三、三八八
 △ 一七
 △ 四、八三六
 △ 四八九
 △ 六七四
 △ 五三
 △ 二、二一〇
 △ 一、二〇四
 △ 三八九
 △ 九七
 △ 四、八四八
 △ 一二
 △ 二九三
 △ 二〇
 △ 二四五
 △ 一〇七、〇四八
 △ 一〇〇、五九三
 △ 一〇、四九二

其	中央亞米利加洲	其	南亞米利加洲	秘	智	亞	伯	其	亞	埃	南	東	其	太	洋	新	布
他	メキシコ	其	露	利	然	爾	爾	他	及	阿	阿	他	他	洲	洲	西	哇
一八六	一七〇	七〇九	二七	二、四三	二、九〇二	四三	六八七	九七	一八、三三七	一三、五八	一、三三	二、三三	一、〇六	一、七、四八	一、三、三	一、四、四〇	二、六九
四	三、七	六、八五	二	三、一〇〇	二、八二	三、六	三六	四七	三三、九三	一六、三三	一、六二八	四、四六	一、六五	六、二〇七	九、三〇八	三、九	七
△	△	△	△	△	△				△	△	△	△	△	△	△	△	△
三五	一九九	二、六三	三三	一五七	八九	一四七	三七	五〇	五、七四五	二、六五	二、八五	二、一〇五	六〇〇	一九、二七六	一九、〇二九	一、〇、一	一、五

其 他 三、四七 三、四三 九六

二、品種別貿易概況

次に重要輸出品二十三品に就き本年の輸出状況を見るに價額において前年に比し増加せるものは特殊事情に因る米を除くと茶、人絹織物及帽子の三品にして其の増加額亦人絹織物の四百萬圓(一三・四%)を以つて大なるものとするに對し減少せるものは綿織物の七千三百餘萬圓(二七%)、生糸の六千餘萬圓(一四・七%)の大口を初め其の數二十品に近い。

而してかゝる減少を示せるは一面本年の不況深刻化による市價の低落を物語るものでために量的には價額の減少程著しき收縮を見なかつた事は別表の通りであるが他面下半年後における磅貨の下落、民國の排日貨の影響も見逃せない事實で綿布、精糖は特に著しき影響を受けたものと思はる。

生糸は昨年はその減少額において首位にあつたが本年は案外輸出が旺盛だつた關係上價額こそ減じたが量的には反つて二割二分餘増加するの結果を見た。

翻つて重要輸入品二十一品に就き本年の輸入状況を見るに價額においては全般的に前年に比し減少傾向を見せ増加せるは僅かに羊毛一品あるのみである。

即ち爲替動搖其他關係で見越輸入増千二百餘萬圓を見た羊毛を除きては棉花の六千五百餘萬圓、鐵の四千五百餘萬圓、機械類の三千四百餘萬圓、油槽の二千二百餘萬圓等の大口を初じめ其他硫安、砂糖、豆類、米等孰れも千餘萬圓の激減を示し前年來の不況の深刻化による都市、農村の不況萎縮を示して居るが市價低落に因る關係も相當大なることは別表數量統計から見られる所である。鐵、砂糖、硫安、米を除きては棉花、羊毛、小麥、豆類、生ゴム、製紙用パルプ、毛織糸、油槽の原料品乃至原料用製品は何れも見越輸入の關係もあつたであらうが兎に角増加した。

重要品輸出入額前年比較 (單位千圓)

輸出

米 麥粉 茶 糖 精製糖 水産物 罐詰食物 綿糸 絹糸及眞綿 生糸 絹織物 絹織物 人絹織物 メリヤス製品 帽子 紙類 石炭 セメント 陶磁器 硝子及同製品 鐵製類 機械類

	昭和六年	昭和五年	増減(△)
米	一五、八七九	一四、四八〇	九、三〇八
麥	九、五二七	八、三六七	一、一五〇
粉	八、三三三	二六、七五五	一、八七四
茶	一四、八六一	一八、〇八〇	六、九〇三
糖	一〇、一七七	二、七六三	二、八〇〇
精製糖	一八、九四八	一五、〇三三	六、五三三
水産物	八、五二一	六、五七八	四、一八五
罐詰食物	二、三九三	四、六四七	六、二五三
綿糸	三五五、九九四	四一六、六四七	六、二五三
絹糸及眞綿	一九八、七三三	二七三、二一七	七三、三六五
生糸	四三、〇五三	三五、七五五	三、三三三
絹織物	三九、七三三	三〇、四六三	四、七七八
人絹織物	二、一七六	九、三六四	九、二八六
メリヤス製品	一〇、五二一	二七、五六〇	一、一六七
帽子	二〇、九九五	二二、七八三	六、五六一
紙類	一五、〇〇九	一〇、〇六七	六、七四四
石炭	九、〇九〇	二七、一七一	九、七七
セメント	一九、三〇七	九、六〇九	七、八六四
陶磁器	六、五三四	一四、〇九五	三、〇七五
硝子及同製品	一〇、二四六	一三、九五六	三、八四九
鐵製類	一三、六四一	一四、〇九四	三、二五
機械類	一三、六四一	一三、九五六	三、二五

輸入

木材 製帽用眞田具 米 麥類 豆類 砂糖 砂及重油 原油及重油 ヲム 硫安花類 棉花類 羊毛類 毛織物 毛織物 石炭 製紙用パルプ 銅 鐵 自動車及同部分品 機械類

	昭和六年	昭和五年	増減(△)
木材	九、九五四	一四、六三三	四、六八八
製帽用眞田具	一、八二一	三、四六七	一、六四六
米	九、八二四	一一、六九九	一、八七五
麥類	六、九七二	一九、五八三	一三、六一二
豆類	三、九六六	四一、五〇九	八、五七三
砂糖	三七、三四九	四九、七九四	一三、四四五
砂及重油	一五、〇三三	二五、九七三	一〇、七四〇
原油及重油	四四、〇六三	四四、七九六	七三三
ヲム	一三、一八三	一七、九三一	四、七四八
硫安花類	一五、八六一	二九、六四四	一三、七六三
棉花類	二九六、二七三	三六二、〇四七	六五、七七四
棉花類	一一、九四四	一四、二五九	二、三二五
羊毛類	八六、一四六	七三、六二〇	一三、五二〇
毛織物	二、四三九	一四、一四九	一、七二〇
毛織物	九、九九三	一一、三四四	一、四四一
石炭	二八、三六一	三四、二〇四	五、八四三
製紙用パルプ	一一、八四〇	二二、〇八四	一〇、二四四
銅	一四、五七二	二二、九〇六	九、三三五
鐵	四八、〇三七	九三、六〇八	四五、五八一
自動車及同部分品	一六、三三九	二〇、七四四	四、四〇五
機械類	五三、三六三	九〇、一〇四	三六、七四一

輸出入	重要品輸出入量		増減(△)
	昭和六年	昭和五年	
木材	53,360	53,064	△
油	7,927	10,899	△
糖	4,349	6,427	△
米	3,711,449	950,203	△
小麦	2,253,011	1,998,756	△
茶	192,095	153,584	△
精糖	2,633,211	3,377,296	△
水産物	690,219	1,268,766	△
雑穀	43,383	43,746	△
綿織物	95,177	178,848	△
絹織物	10,923	3,908	△
生糸	555,925	469,896	△
綿織物	1,423,780	1,571,825	△
メリヤス製品	10,575	11,912	△
帽子	2,218	1,591	△
石炭	1,516	2,097	△
セメント	7,481,440	8,466,359	△
製帽用真田	7,001	8,325	△

輸出入	重要品輸出入量		増減(△)
	昭和六年	昭和五年	
米	2,097,441	3,033,174	△
小麦	1,103,915	8,033,078	△
豆類	11,976,653	9,627,482	△
砂糖	3,305,275	4,077,603	△
生糸	737,445	557,318	△
硫酸	3,735,798	5,050,107	△
棉花	11,156,826	9,573,158	△
羊毛	1,433,405	867,122	△
製紙用パルプ	7,147,470	6,008,357	△
石炭	1,703,721	1,391,265	△
鐵	2,650	2,650	△
鋼	27,054,333	35,188,666	△
鐵	16,345,100	23,275,541	△
油	4,090,435	3,453,348	△
糖	19,650,018	17,528,248	△

前掲表に依り窺知し得る如く本年の對外貿易は其の額に於いて前年に比し輸出入とも二割餘の收縮を見甚だ不振を極めたかの觀あるも其の數量においては前年に比し左までの減少を見ず中には特殊事情ありとは云へ著増を見たものさへある様子で本年貿易の實勢はこの意味に於いて先づ良好であつたと言ひ得よう殊に輸出の減少が世界的不況もさる事ながら其以外の特殊事情に多分に累せられた様子の見える所からしてこれら特殊事情の解消と世界經濟界の安定は今後の將來を力強く約束するものと思はる。

而して此處に注目すべきは從來重要輸出品と目せられ來たつた綿布、絹織物、陶磁器、精糖の如きものが最近數年

來の傾向として漸次減退の徴を示し中所以下の商品就中雜貨類に著しき弾力性を加へ來たつた事實であらう。

第二節 主要相手國別貿易概況

米 國

本邦重要輸出市場の一つである米國本年の經濟界を概觀するに多年弗の國、景氣の國として國際經濟界に重きをなして來たつた當國も例の株式暴落來漸く衰勢を兆し殊に本年は海外不況を移しての棉花、小麥價の暴落は農業部門の崩壞から工業部門、貿易部門に波及し例のフーパーのモラトリアムとなり歐洲の經濟回復に一縷の望をかけられたが其も結局當國の經濟界に大した効果なく失業者の増大と小企業の破綻相次ぐの悲況裡に越年した。

されば本年本邦の對米貿易が前年に比し可成りの不振を見たのも先づ當然と見るべきであらう。

本年本邦の對米輸出額は四億二千五百萬圓餘にして前年に比し八千百萬圓の減、輸入三億四千二百萬圓餘にして前年に比し一億圓餘の減少であつた。

主なる輸出入品は次表の通りである。

輸 出	五 年		六 年	
	五 年	六 年	五 年	六 年
豆 類	四九、六六(擔)	三、三八、五八圓	一六〇、三三(擔)	八三一、四七圓
茶	一四、二九九	六、三六、四五	一三、三六〇	五、二七、四〇
水 産 物	七、一八〇	二、二〇、三三	一〇六、〇一〇	一、九六、三九
罐 詰 食 料 品	二、五八、一八(斤)	九、六五、五九	一、九四、一六〇(斤)	七、八〇、七五
植 物 性 脂 肪 油	一〇三、三七(百斤)	二、四九、〇八	一四一、九三(百斤)	二、五三、五三
魚 油 及 鯨 油	一六三、一六七	一、八〇、〇〇	三三、三三	一五五、〇八九

輸 入	五 年		六 年	
	五 年	六 年	五 年	六 年
除 虫 菊	四七、七〇	二、〇四、一七	三二、一四	一、一七、一三
樟 腦	八、三三	一、一六、〇六	一〇、四六	一、三三、六六
薄 荷 腦	二、二九	三、〇一、四九	一、九〇	一、六九、〇六
厚 糸 眞 絲	九、五六	二、五〇、六四	五、五三	一、五三、五七
生 糸	四八、六七	三、九八、七五	五三、六四	三、四七、三七
絹 織 物 (人絹織共)	—	六、五七、三七	—	四、六六、一八
帽 子	四六、九三(打)	三、六八、八六	一、〇七、六八(打)	六、一三、二八
紙 類	—	一、三三、〇五	—	九一、二四
陶 磁 器	—	一〇、八〇、八六	—	六、六三、四一
製 帽 用 眞 田 子	—	二、一〇、(千東)	—	一、七九、(千東)
製 帽 用 眞 田 子	—	八、七四、七五	—	六、三三、八四
ラ ン プ 及 同 部 分 品	—	一、三三、七四	—	一、一三、二四
靴 具	—	二、七五、四七	—	三、〇九、三六
其 他 共 全 國 計	—	三、四九、七二	—	二、九二、八〇
内 阪 神 兩 港	—	五〇六、二二、四五	—	四三三、三〇、一七
米 及 穀	—	一七、四〇、〇〇	—	一四、三三、〇〇
小 麥	二七、四六(百斤)	二、三六、六〇圓	二七、六五(百斤)	一、二五、五九圓
皮 類	三、三九、九九	一七、九二、九三	八四、二〇	二、五三、三四
革 類	五九、八五	二、四七、三六	八八、一三	二、二八、五九
礦 油 (比 重 〇.八 以 下)	九三、七六(斤)	一、六五、四三	九六、五四	一、四八、六三
硫 安	五七、八三(百斤)	二、〇五、八八	五七、五三(百斤)	二、九二、五二
苛 性 曹 達、曹 達 灰、天 然 曹 達	六六、五三(百斤)	三、九七、〇八	六三、三三(百斤)	二、九七、〇七
	四四、四六	二、八四、七九	四九、七四	二、八四、七七

合成染料
棉花
燐礦石
其他ノ鐵
アルミニウム
鉛
自動車及部品
發電機類及變壓機
其他ノ機械及部品
木
製紙用パルプ
其他共計
内阪神兩港

合成染料	七六、六〇〇(斤)	一、三〇一、四四〇	六〇〇、五四七(斤)	一、〇五五、〇三三
棉花	三、八三三、四八八(百斤)	二、六八〇、七三三	五、三三二、〇三三	一、五七〇、八三九
燐礦石	四、〇八五、三四七	四、三三二、五五五	三、五三二、〇四二	二、九四四、二一八
其他ノ鐵	五、九九五、九四四	二、八三三、八六二	一、五九三、〇五七	八、一七二、二四三
アルミニウム	四〇、五四二	一、九五五、九六五	二、三六七	一、〇六、五七五
鉛	三、四四、九四六	四、一三三、三三二	二、八二、六四二	二、五二一、三九九
自動車及部品	一、二七六、六三三(斤)	一、四四六、〇五〇	六、五、九五(斤)	七、六六、一四三
發電機類及變壓機	—	二、四、四七九、三二一	—	一、五、四八五、六六九
其他ノ機械及部品	—	三、六二九、七四九	—	二、六、一七六、七三三
木	—	九七、五三三(百斤)	—	三、四、二八八、九六六
製紙用パルプ	—	四、四三、八八一、六〇六	—	三、四三、二八九、三三三
其他共計	—	二、五八、〇七七、〇〇〇	—	三、九、三三三、〇〇〇

支那 (香港、關東州を除く)

わが隣國にして重要輸出市場の一つである支那との貿易も最近彼地工業の著しき發達と國産愛用運動甚しきため逐年減少の傾にあるが本年は世界的不況の深刻化、銀暴落のところへ上半期には長江一帯の大洪水 下半期に例の滿洲事變を機としての從來に類なき惡質の排日貨運動ありために我が對支輸出は事變後殆ど中絶するの已むなきを見た位であつた。
即ち本年我が對支輸出は一億五千五百七十五萬一千圓、輸入一億四千五百六十九萬七千圓で前年に比べ輸出一億五百七十五萬五千圓(四〇%)、輸入一千五百九十七萬圓(約一〇%)夫々減少で排日貨運動の熾烈なりし一斑を示して居る。
主なる輸出入品を見ると次の通りである。

輸出

	六年	五年
小麦粉	一、六八四、七五(擔)	一、三三七、四七(擔)
糖	一、九八四、五八九	三、三三三、三三
水産物	三九、七六	六、二〇、二五
綿織物	六、四五	三、四、五〇七
綿織物	二、三九、四五(千方碼)	四、六、四〇九(千方碼)
毛織物	—	—
絹織物(人絹共)	—	—
メリヤス製品	三、五三、八三(打)	六〇、一、五六(打)
紙類	—	—
石炭	八三〇、四一(英噸)	一、三〇三、九〇六(英噸)
陶磁器	—	—
硝子及同製品	—	—
鐵	四、四四、四三(擔)	三〇三、三三(擔)
眞鍮	二、八、五九九	三〇、五二〇
鐵製品	—	—
ゴムタイヤ	一、六、七〇(擔)	一、八、八五九(擔)
機械及同部品	—	—
木材	—	—
其他共全國計	—	—
内阪神兩港	一〇九、〇〇三	一、八四、三三四

輸 入		輸 出	
豆類	四、三二、三六(擔)	一四、五五八	二、三九、二五(擔)
採油用原料	二、〇九八、三〇〇	九、五二四	二、四七八、二七九
牛 肉	二七三、一五九	七、四一	二、四八、八七
鳥 卵	一三七、六二	二、九五六	九、六二
皮 類	一〇六、六四九	三、〇三一	一一三、一〇五
棉 花	七三三、一五二	一七、三六六	七〇三、八四六
其他ノ植物纖維	三六三、九四	四、七九八	二九四、六五
石 炭	三、九〇三	三、九〇三	四四九、一〇(英噸)
鐵	一〇、四八四、一八(擔)	四、八七一	一四、一五八、一七五(擔)
銻	一、二九五、五八三	二、三三七	五八七、五九九
錫(塊及鐵)	二、二八八	七、六八	一九、六五
鍍	三、八〇七、〇九三	七、三六四	二、六二、五五七
油 槽	一〇、九三三、三四	二四、六一	九、四四、三六
其他共全國計	—	三三、一六五	—
内阪神兩港	—	七〇、八二	—

印 度

印度經濟界を毒する執拗なる反英運動はあらゆる手段を以て行はれ國內取引を極度の悲況に陥し入れたるが一方海外不況を移し輸出入何れも不振を來たし國內諸工業は僅かに保護關稅引上なる人爲策による紡績工業を除きては何れも不振であつた、我が對印貿易を見るに輸出一億三千三十六萬七千圓、輸入一億三千三百十六萬五千圓にして前年に比し輸出一千八百八十九萬五千圓、輸入四千七百二十四萬圓の減少であつた。

而して本年本邦の對印輸出がかく減少せるは一般世界不況による購買力減にあらんも尙ガンヂー一派の高唱せる國產品獎勵並三月及九月兩度の關稅增加亦影響せるものと見るべきであらう。主なる輸出入品は次の通りである。

品 名	五 年		六 年	
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出
綿 織 糸	六、二八(擔)	六、五七六千圓	四八、五九(擔)	五、五九二千圓
綿 織 物	四四、五二(千方碼)	六、二二六	四〇四、四二(千方碼)	四九、八六六
綿 織 物	三、三三、七〇(打)	七、九四九	一、八八四、四八(打)	二、二五五
メリヤス製品	—	一、六九六	—	三、九〇一
身邊粧飾品	—	一、八六七	—	一、一四三
陶 磁 器	—	二、八八八	—	一、三九二
硝子及同製品	四六、六五(擔)	一、八五九	四二、四〇(擔)	二、三三九
鐵 製 品	—	一、七二二	—	一、一五一
木 材	—	二、五二九	—	一、七六三
版 具	—	一、〇六九	—	七二
其他共全國計	—	二九、三三二	—	二二〇、三六七
内阪神兩港	—	九七、〇〇一	—	八四、三三九
豆 類	二七三、九六(擔)	一、三三六	二七三、四〇(擔)	八二
革 類	九〇三、五八(斤)	一、九六五	八四四、四八(斤)	一、六一
生 類	一一〇、四五(擔)	三、七五七	一八、六五(擔)	三四三

棉	四、七五、四四〇	一四七、六六〇	四、八〇八、五三〇	一三三、三六三
其他植物纖維	二二、二七六〇	二、九六八	二〇〇、九二五〇	一、九五五
鉄	三、五七、九六六	七、六六七	二、五〇八、一七七	三、六六六
鉛	一一〇、六三三	一、六〇〇	一四六、七三三	一、一三三
其他共全國計	—	一八〇、四〇五	—	一三三、一六五
内阪神兩港	—	一四、七一九	—	一三、三四一

英國

本年の國際經濟史を飾つた重要なもの、一つとして九月二十日の英國金本位停止事件を挙げることが出来る。打續く世界不況と共に産業界、金融界、貿易方面と云はず其他あらゆる經濟部門が活氣を失ひ萎靡沈滞せる中にも兎も角も英國の面目は保たれて居たかに見えたのが上期末獨逸の經濟危機から各國の自衛的資金引揚げに端を發し國際的信用を賭しての金本位停止を行はざるの已むなきに至つたことは英國本年經濟界における重大事件であると同時に遺憾なる事實であつた。

本邦との貿易關係を見るに對英輸出五千八百八十三萬圓、輸入六千三百三十三萬五千圓にして前年に比し輸出八百八十五萬二千圓、輸入二千九百二十二萬六千圓の減で英國對外輸出貿易不振の一斑が窺へる。

豆類	三二、六六六擔	二、三三、七〇〇圓	四九、〇〇五擔	三、八四、〇〇〇圓
罐詰食品	九〇、九七、九二(斤)	四、八七五	八、四九九、三九九(斤)	四、六三六
植物性脂肪油	一九〇、八四四(擔)	三、五五〇	六九、四七七(擔)	八四六
魚油及鯨油	一八、六五四	三、〇七六	一一九、八七七	七五七

生糸	三、三五〇〇	二、九二四	九、三四四	六、一六一
絹織物(人絹織共)	—	六、三三三	—	四、二二五
メリヤス製品	二、〇〇四、八四(打)	六、九二	二、五九五、六四六(打)	五、四八九
帽子	一七〇、三三	一、一六八	一五四、九九九	七〇〇
鈕釦	—	九七	—	九六一
陶磁器	—	七〇〇	—	六九七
木材	—	二、〇三六	—	一、三八一
製帽用眞田	—	八四七	—	二、六六
散具	一、三五六(千束)	一、六七八	九三〇(千束)	二、一〇〇
苛性曹達、曹達灰及天然曹達	五八、〇八四(擔)	三、〇四六	三七、二二八(擔)	二、三三三
硫安	一、五六一、四六	八、三八	八八九、五〇〇	三、七八八
毛織糸	八五、九五五(斤)	一、九一九	一、五〇三、三〇(斤)	二、二六四
綿織物	七、〇二、九四(方碼)	三、七四四	五、四四、六六(方碼)	二、二九八
毛織物	—	八、九二六	—	七、八八五
印刷料紙	五九、五七三(擔)	一、一五三	五〇、四九九(擔)	八四一
其他ノ織	一、七五六、三〇	三、六四四	一、五〇三、八六	七、七九〇
發電機類及變壓機	九四、六九二(斤)	八七九	五八、七、三七(斤)	六〇六
其他機械及同部分品	—	三、九四七	—	二、六三三
本邦對英輸出	—	六〇、六八二	—	五、八三一
内阪神兩港	—	二九、四四五	—	三、三六六
本邦對英輸入	—	九、五六一	—	三、三三五
内阪神兩港	—	四七、五二二	—	三、四四〇

獨 國

國際經濟市場に捲土重來の勢で進み來れる獨逸も重要消費國の門戸閉鎖主義に祟られドイツ商品の輸出抄かしからず加之戰時賠償金といふ重壓があり商工方面の不振は失業者の増大となり本年の經濟界は未曾有の不況に逢着するに至り下半年遂に經濟の危機に陥り十二月八日大統領により財政、經濟及社會全般に互る廣汎且斷乎たる非常立法が緊急令として發布されねばならぬ程の苦境に陥つた。

即ち貿易方面を見るに貨物輸入は減産並國內賣行減退のため著減其の額六十七億二千七百萬圓にして前年に比し實に三十六億六千六百萬圓の減、輸出は價格引下げにより極力増進に努めたるに拘らず九十五億九千九百萬圓にして前年に比し二十四億三千七百萬圓の減少であつた。(列國大勢一覽表による)

而して本邦との貿易關係を見るに我が對獨輸出八百萬圓餘、輸入七千三百萬圓餘にして前年に比し夫々三百萬圓、三千三百萬圓の減少で世界不況による獨逸の輸出部門の打撃の大きかつた一斑を知り得よう。

兎もあれ我が輸出品が著しく原料的乃至特産的商品なるに對し獨逸よりの輸入品が世界的、一般的商品であることは其の工業の卓越を物語るものではあるまいか。

我國の主なる輸出入品は左の通りである。

輸 出	六 年		五 年	
	噸	價	噸	價
寒 天	三、〇四九(擔)	五三、三〇〇	二、五六二(擔)	四六、六〇〇
植物性脂肪油	一一、八六七	二四七	四、〇二五	九四〇
魚油及鯨油	五七、八四〇	四九六	一〇三、一九七	一、一五〇
絹織物(人絹共)	—	二八六	—	六九〇
鈕 釦	—	六二七	—	五六三
陶 磁 器	—	二〇〇	—	三二八

輸 入

輸 入	六 年		五 年	
	噸	價	噸	價
製帽用眞田	一、三三三(千束)	三三三	一、四七七(千束)	五三三
靴 具	—	二六五	—	二六八
其他 共全國計	—	八、一〇三	—	一一、一〇六
内 阪 神 兩 港	—	四、八二三	—	六、八六四
革 類	九、九三七(斤)	五八三	七、九六六(斤)	五四一
硫 安	二、五七六(〇六(擔))	一〇、九八五	二、八八九(〇九(擔))	一六、九三三
合 成 染 料	一、七八一(二八(斤))	四、〇八五	九七五(一〇(斤))	二、五八七
毛 織 糸	一、七〇〇(九五)	三、三三〇	一、九八七(二二)	四、五八五
綿 織 物	一、七七一(方碼)	二九	一、五九九(八(方碼))	一六三
毛 織 物	—	一、七〇〇	—	二、〇一〇
製紙用パルプ	三、二四二(擔)	二四五	七四、一九九(擔)	六四五
印刷料紙	三、九六六	三七六	一〇三、四九〇	一、〇四六
レール及フィッシュプレート	四〇、〇二二	一七五	一〇五、四八〇	四五四
其他ノ鐵	二、〇四四(七四)	九、七二八	三、三三三(九六)	一七、七八一
アルミニウム(塊錠及粒)	一三、三三〇	五四四	二、四七七	七四八
發電機類及變壓機	三〇、五二二(斤)	五五三	五六、七七七(斤)	八六九
其他ノ機械及同部分品	—	一〇、四二六	—	一五、六五三
其他 共全國計	—	七、二四四	—	一〇、六八三
内 阪 神 兩 港	—	四、八八三	—	五、六一九

佛 蘭 西

産業、貿易方面に幾分の不振を見たりとは言へ各國擧げて世界不況に悩める眞只中に在りて割合に經濟的安定を見

て居たのは當國を以て随一とすべきであらう。而して金融界は英國の金本位停止來金の流入繼續し世界における最低金利を維持し國際金融市場における地位は益々堅固さを加へた。

我が對佛貿易關係を見るに輸出一千六百萬圓弱、輸入一千二百萬圓強にして前年に比し夫々一千五百五十二萬七千圓及四百二十二萬八千圓の減少を見たが本年かくも我が輸出が激減せるは生糸及絹織物の賣行不振なりしに因る。主なる對佛輸出入品は次の通りである。

輸 入	六 年		五 年	
	擔	圓	擔	圓
寒 天	一、八四四	三、五二〇	一、六九九	三、〇〇〇
層絲真綿及玉糸等	二、九六六	四、九六六	九、五五五	一、九六六
生 糸	二、八六七	五、八八九	一〇、三三三	八、〇〇〇
絹織物及人造絹織物	—	一、九六六	—	四、四〇〇
メリヤス製品	二、八、八五八(打)	三、三六	三、七六、二七七(打)	五、〇七
鈕 釦	—	一、九	—	三、三
陶 磁 器	—	一、〇七九	—	八、八
製帽用眞田	—	二、五	—	五、〇
其他 共全國計	一、一、二七七(千束)	一、五、七五	—	二、六、三〇一
内 阪 神 兩 港	—	六、〇五五	—	九、二二八
合 成 染 料	一、七、五二(斤)	五、四	六、四、七七(斤)	一、九
毛 織 糸	一、八三、四一九	三、六	二、六、〇九九	七、三
毛 織 物	—	一、五	—	三、六

輸 入	六 年		五 年	
	擔	圓	擔	圓
自動車及同部分品	—	三、〇〇	—	三、四六
發電機及變壓機	九〇、五〇〇(斤)	二、七	—	三、〇〇
其他ノ機械及同部分品	—	一、六	—	三、五二八
其他 共全國計	—	三、四〇八	—	一、六、六六
内 阪 神 兩 港	—	六、六九	—	八、一五

比 律 賓

世界的不況に悩まぬ國はなからうが其の間國によりて差等のあるを免れない。農業國と工業國とは同じく悩と云つても自ら格段の相違があらう。本年世界不況の深刻化により東洋諸國主として農業國であるこれら諸國の蒙つた打撃は之を歐米諸國の夫と比ぶべくもなからう。

唯一の購買力の根原をなす農産物の價格暴落其は全く致命傷であらう。こゝ比律賓も東洋諸國の一員として充分この苦澁を味つた。即ち前年來の不況は本年に入るも依然衰へず主要物産に對する歐米方面の需要閑散を極めコブラ、椰子油、アバカ等の市價慘落は土民の購買力を減殺、輸入能力を著しく害した。

これを本邦の對比貿易から見ても輸出二千萬圓餘、輸入九百萬圓弱で前年に比し夫々七百九十四萬四千圓、及百七十七萬二千圓の減少で購買力低下の一斑が窺へる。主なる對比輸出入品は左の通りである。

輸 出	六 年		五 年	
	擔	圓	擔	圓
綿 糸	—	三、三〇〇	—	四、〇〇〇

品名	輸 入	
	六 年	五 年
綿織物	三、四三(千方碼)	五、四八
絹織物(人絹共)	—	—
メリヤス製品	一、三七、七六(打)	一、五七、五四(打)
身邊粧飾用品	—	—
紙類	四、六一	三、〇九七
陶磁器	二五〇	五、六八七
硝子及同製品	四〇一	二二八
鐵製器具	五三〇	六八〇
ランプ及同部分品	六五〇	六九一
其他共全國計	二二〇	二九五
内阪神兩港	二二	二三五
其他共全國計	—	—
内阪神兩港	一五、八五八	一六、三六九
麻類其他植物織物	六、五五五	六、三六八
其他共全國計	八、九六八	一〇、六八〇
内阪神兩港	六、九五五	七、八八七

蘭領東印度

これも亦世界不況の深刻化による苦痛を一入ひどく味つた原料輸出國の一つである。輸出商品物價の大巾な値下りに因る購買力の低減甚しく輸入の不振は當然の結果と看らる。尤も十一月當地物産に對する歐米方面の需要喚起で一時ながらも當地產物物の値下りが停止され前途に曙光を望み得た様であつたが輸入は全年を通じて振はず多數の輸入商、就中、織物、雜貨の取扱商は原價を切るを餘儀なくされ

何れも苦境に立つた由であるが此の間獨逸品はその價格安のためかなり發展せる模様であつた。本邦との取引關係を見るに前記環境惡に加へて英國の金本位停止、滿洲事變を動機とせる華商の排日貨あり一時は可なり輸出不振を見たもの、如くであつたが所詮優良品に國境なしとでも云ふかその輸出六千三百萬圓にして前年に比し三百萬圓餘の減少に止つた事は先づ良成績であつたと言へよう。尙當地よりの輸入は前記の如く諸商品物價激落を移し四千六百萬圓と前年に比し一千四百萬圓の激減であつた。主なる對蘭印輸出入品は左の通りである。

品名	輸 出	
	六 年	五 年
寒 天	二、三〇〇(擔)	三、〇八〇(擔)
麥 酒	二、八三八(石)	四、一六七(石)
綿 糸	五、四四(擔)	五、七五四(擔)
綿 織 物	三三、一〇七(千方碼)	一八、二八四
絹織物及人絹織物	—	八、八八一
綿ブランケット	四、三二(擔)	四九四
綿 タ オ ル	三〇六、七七(打)	三〇、八五八(打)
メリヤス製品	七〇、九一〇	一、七〇〇
帽	一五、一三四	五七六
セメント	一、七七一(三三(擔)	三、三六四
陶磁器	—	二、二六六
硝子及同製品	—	一、〇九五
鐵製器具	—	一、〇三三
ゴムタイヤ	一五、七五五(擔)	一、九八〇

品名	本年	前年
洋傘	一三八	四四八
ラムプ及部分品	五九〇	六五〇
靴	五九四	六五五
其他共全國計	三、四五〇	六、〇四八
内阪神兩港	五四、〇一八	五四、八一一
採油用原料	三、四四一(擔)	一、四〇六
砂	三、三〇四、二五七	一、五八八
礦油(原油及重油ヲ除ク)	一九、二二九(百ガロン)	六二九
(比重〇・七三〇ヲ超ヘザルモノ)	五、九一三(百ガロン)	二、七〇〇(百ガロン)
同(比重〇・七三〇ヲ超エザルモノ)	一、八三三、〇三四(擔)	三、二〇七
生ゴム	五、九六〇(擔)	三、九三
錫	六二	六〇二
木村	四、〇八一	五九、九八四
其他共全國計	二〇、二七六	二四、八九四
内阪神兩港		

海峽殖民地 (英領馬來)

當地の屋臺骨たる護謨の輸出が僅か一億一千七百八十七弗で不景氣に泣いた前年の五十%にも及ばなかつたし錫は相變らずの不況ぶり其の結果から見ても當地方の不景氣さは想像出來やう。即ち全體から見ると輸出は昨年比し三割九分、輸入は三割六分と共に減退してゐる。而して各國の輸出勢力を見るに英國は六千二百萬盾で前年に比し三七%減、英屬領は六千九百萬盾で四三%減。米國一千一百萬盾で五〇%日本一千八百萬盾三〇%其他二億六千六百萬盾

で三二、七減で主要國中日本の減少は最も少い。而も此の大不況と滿洲事變に伴つて起つた排日ボイコットと言ふ割の悪い役を引受けて話であるだけに日本の底力のあるのが窺へて嬉しい。

カナダ

世界不況に基く小麥の輸出不振と市價低落竝に本年度の小麥作柄不良は當國本年の經濟界に著しき打撃となつたのは國情として當然の事と思はる。されば小麥プールの改造案の提唱、財政窮迫による六月の廣汎なる關稅改止等ありたるも英國の金本位停止は遂に十月金輸出制限を行ふの已むなきに至つた。本邦の對加奈陀貿易を見るに輸出一千三百萬圓餘、輸入三千六百萬圓にして前年に比し輸出四百八十一萬八千圓、輸入一千四十九萬二千圓の減少であつた。而して輸入のかく激減せるは小麥價の激落に負ふところ多い。主なる輸出入品は左の通りである。

品名	本年	前年
米及粗	三、八六九(擔)	四、九一四
茶	一九、九三九	六七五
生糸	三、八三〇	二、五九六
絹織物(人絹共)	一、一五七	三、五三一
鈕釦	一、一三九	一、五七
陶磁器	一、一三九	一、一三九
アラシ	四〇六	四〇六
靴		
其他共全國計	三、八三三(擔)	四、二一四
内阪神兩港	一、八二八	八〇三
採油用原料	三、八六五	三、五九九
砂	五、三三四	五、三三四
礦油(原油及重油ヲ除ク)	二、三九一	二、三九一
(比重〇・七三〇ヲ超ヘザルモノ)	一、三九一	一、三九一
同(比重〇・七三〇ヲ超エザルモノ)	一、三九一	一、三九一
生ゴム	一、三九一	一、三九一
錫	一、三九一	一、三九一
木村	一、三九一	一、三九一
其他共全國計	一、三九一	一、三九一
内阪神兩港	一、三九一	一、三九一

其他 共全國計
内阪神兩港

小麥	二、五七、三五(擔)	七、九六、八千圓	二、九七、五〇(擔)	一四、八五、七千圓
製紙用パルプ	八、九、二二八	五、二〇〇	七、九、三六	五、四六〇
印刷料紙	一、八、二八	一、一五四	四	—
鉛(塊及錠)	四〇、三三	四〇八、〇三	四〇八、〇三	五、〇四九
亜鉛(同及粒)	一、五、〇八	一、五〇六	一四八、三六	二、〇一一
木材	—	七、七七	—	六、七三
其他 共全國計	—	三、五、七三	—	四六、一六四
内阪神兩港	—	一四、四六八	—	一六、六三

アフリカ

我が累年の好輸出市場支那印度に代るべきものとして其の將來を矚望され居る當アフリカの諸國即ち埃及、東阿、南阿其他地方の經濟界も本年は世界不況の影響を受け不活發の様であつたが然も此等諸國に對する本年の輸出は五千九百萬圓で前年に比し二百萬圓の増加を示し世界不況による其他諸國への輸出が殆ど減少を見た本年の吾が對外貿易において甚だ心強き市場であつた。

我が對阿弗利加貿易は殆ど埃及、南阿、東阿の三地方に限らるものであるが今此等地方への吾が輸出額を見るに對埃及輸出は二千二百八十三萬圓で前年に比し六百十六萬七千圓の減少を見せたる外南阿は一千九百二十八萬三千圓で前年に比し五百八萬七千圓、東阿は一千八十六萬八千圓で前年に比し二十萬五千圓何れも増加を來たした。

而して對埃及輸出の不振であつたのは主產物棉花の世界的不況による各國紡績不振による需要減と主要產國の農作による市價の崩落により彼地一般經濟界が不況であつた事並關稅引上、國內産業保護政策等努めて外國輸入品驅逐策

がとられたに因るものと思はる。

尙此等地方よりの輸入は何れも前年に比し可成りの減少を見た。
我が對阿貿易の主なる輸出入品は左の通りである。

輸 出

	六 年	五 年
綿 織 糸	九六七(擔)	九、三四五(擔)
綿 織 物(埃)	一〇三、七九九(千方碼)	一〇九、〇五(千方碼)
綿 織 物(南)	三九、〇三	二二、六六
絹 織 物(埃)	—	—
絹 織 物(南)	—	—
綿 タオル(埃)	一〇〇、七六一(打)	七、二二四(打)
絹 製 手 巾	二、三三	一、四七
メリヤス 製品(埃)	一六、二四〇	二四、四五
メリヤス 製品(南)	五八三、二五	四三六、三六
陶 磁 器(埃)	五、四、八七	五、八、五〇
硝子 及 同 製 品(南)	—	—
鐵 製 品	—	—
木 材(南)	—	—
瓶 具	—	—
苛性曹達、曹達灰及天然曹達	四、五、三六(擔)	五、五、六八(擔)
	一、六、八	一、七、三
	四、千圓	六、三、千圓

棉 花(埃) 二六七、二九〇
 羊 毛(南) 一、八三〇
 本邦對阿弗利加輸出 六〇〇
 內阪神兩港 五、八六八千圓
 本邦對阿弗利加輸入 五、二五二
 內阪神兩港 一八、三三七
 前表により知り得るが如くわが對アフリカ貿易は殆ど我が大阪の獨占と云ひ得よう。

濠洲

客年來當國の財政は極度に悪化し對外爲替はために著しき低落を來たすに至り政府之が局面轉換に努め財政建直し金融制度の改善、關稅の引上をなしたるが羊毛及小麥の市價低落と輸出不振で一般購買力は著しく低下せる模様であつた。
 本邦との貿易關係を見るに輸出は一千八百四十萬六千圓にして前年に比し七百八萬圓餘の減少を見たるが輸入は當國財政難による爲替暴落、英國の金本位停止による輸入採算有利なる事情ありたると本邦の再禁止見越から羊毛、小麥の思惑買進められ本年の輸入額一億一千三百三十三萬七千圓に達し前年に比し一千九百萬圓餘の増加を見た。吾が對濠重要輸出入品は左の通りである。

輸 出	六 年		五 年	
	二、八〇九(擔)	一、九一九千圓	二、七六三(擔)	二、七三三千圓
生 糸	二、八〇九(擔)	一、九一九千圓	二、七六三(擔)	二、七三三千圓
綿 織 物	二〇、五九九(千方碼)	二、八八七	一四、一五三(千方碼)	二、四四一

輸 入	六 年		五 年	
	八、五五四、二四(擔)	三、四六六千圓	一、七六六、三九(擔)	八、六九〇千圓
絹織物(人絹共)	九、三〇〇	一、三、七九七	一、	一、三、七九七
帽 子	七、三六七(打)	五、九二二(打)	一、	七、
陶 磁 器	六〇六	七、七〇	一、	七、七〇
其他 共全國計	一八、四〇六	三、五、四六六	一、	三、五、四六六
內阪神兩港	三、三三六	一、七、三九四	一、	一、七、三九四
小 麥	八、五五四、二四(擔)	三、四六六千圓	一、七六六、三九(擔)	八、六九〇千圓
牛 肉	一九、九三〇	三、七九	三、八五九	八、〇六
皮 類	三、四四三	三、九	七、〇五九	三、〇一
羊 毛	一、三、七、九二〇	八、三、二九五	八、四、八、三九九	七、三、三六
鉛(塊及錠)	二、七、五、六六	一、九五	五、一、六、八一	五、八、三
亞鉛(塊、錠、粒)	一、四、三、五九九	一、一九九	一、四、九、七三三	一、九、八、三
其他 共全國計	一、三、三、三七	一、三、三七	一、	四、〇、三、〇八
內阪神兩港	一、	五、四、七、一〇	一、	三、六、四、四三

第二章 重要輸出品概況

小 麥 粉

支 那 關 東 州	六 年		五 年	
	一、六、八、四、七五(擔)	七、二、〇、千圓	一、三、七、四七(擔)	九、九、七、千圓
支 那	一、六、八、四、七五(擔)	七、二、〇、千圓	一、三、七、四七(擔)	九、九、七、千圓
關 東 州	四、〇、一、三三	一、五、三	三、六、〇、五七	二、五、九
支 那 關 東 州	一、六、八、四、七五(擔)	七、二、〇、千圓	一、三、七、四七(擔)	九、九、七、千圓
支 那 關 東 州	四、〇、一、三三	一、五、三	三、六、〇、五七	二、五、九

海 殖	一、七三六	六	三、九八八	三
蘭 印	一四、〇六八	五	二、五九五	一
其 他	六、一九〇	二	二五七、七五二	一
全 國 計	二一、〇一、〇一一	九	一、九八、七五八	一
内 阪 神 兩 港	三、一七三	一	一五〇、三三三	一

本年度阪神兩港に於ける本品の輸出は數量三十二萬餘擔、價額百三十八萬四千圓餘にして前年度に較ぶれば數量十七萬一千餘擔、價額二十萬七千餘圓の増加を見た。

本年度の世界小麦生産高は總額四十六億三千八百八十七萬ブツセルにして、前年度に比して約一億五千九百萬ブツセルの減收ではあつたが尙次年度への持越しは四億六千七百萬ブツセルもあり世界經濟は尙不況深化の度を加へつゝある際とて少々の減收位では市況の恢復難く反つてカナダを中心として起つた小麦恐慌は一九三一年に於て更に深度を深め、シカゴの定期市場では一九二七年の三分の一にまで慘落した。従つて製粉界も不況の陰影を更に濃くした。

本品の輸出は前年度の逆調より本年度に入つて順調に轉換し輸出の大半を占める對支及對關東州輸出が下半期に勃發した滿洲事變及之に伴ふ排日等により激減を豫想されたが豫想に反して支那向は數量に於て二割六分弱關東州は三割弱の増加を示した。其の原因は前年度の反動として支那側が年初から買進んだ事と銀塊相場が比較的安定した事とである、然し滿洲事變は相當の影響を及ぼし漸減傾向を示し年末の不振に終つた。其の他海峽殖民地、蘭領印度等への輸出は日貨排斥、關稅引上等により減退した。

精 糖

全 國 輸 出	六 年	五 年
	二、六三三、三三擔	三、三三七、二九擔
	一、四八六、二四圓	二、六七三、四四圓

大 阪 港	五、六三三	四、七	一、六五、五一一	一、〇五
神 戶 港	九、五五九	五、〇六	一、〇七、〇四	八、四四

本年度阪神兩港の輸出高は前年に比して數量二十八萬三千餘擔價額四百二萬二千圓餘の減少を見た。

三〇年末玖瑪の提案でブラツセルに開かれた糖價恢復と滯貨消化を目的とせる砂糖限産會議も漸く三一年五月に至つて成立し加盟各國は生産及輸出を制限したが如何せん不況による消費の減退と協定加盟國以外の各國の増産、就中ソウエートロシヤの組織的増産による外國市場進出に折角の名案も其の効果を疑はれ砂糖主産國の苦惱愈々深きを加へたのである。

我國砂糖生産額は一五、六〇三、〇一七擔で前年度と大差なく比較的生産統制は保たれ其の消費量も前年度と大差は無いが高級糖はどかべりと云ふ心細さである。糖價は世界的生産過剩の影響を蒙つて依然として好轉せず人爲策も亦無効で年末に至つて初めて金輪再禁に據る暴騰を以て活況裡に昭和六年を終つた。

今輸出の跡を見るに主要輸出國たる支那に對しては一月一日より其の輸入關稅率約十割引き上げ實施ありたるに不拘七月までは毎月十三萬擔乃至三十萬擔と輸出は順調に推移してゐたが上海に於ける排日貨の勃發と長江沿岸の被害銀塊の低落等による購買力の減退と選材料の累積の折から滿洲事變の突發に遭つて事情は急轉し七月の三十萬二千擔から九月の十萬九千擔にと激減し十月以降は二萬乃至三萬擔と輸出杜絶に等しい有様となつた。一方此が爲原料糖として輸入してゐた外糖は三百三十萬五千擔と前年より七十七萬二千擔の減少を見た。

支 那	一、九四、五六擔	二、四三、二四圓	三、三三、三三擔	三、七二、二四圓
關 東 州	三、七〇、八一〇	一、九七九	三、六、四一	二、四〇〇
亞 細 亞	五、六、七〇	三、八	三、一、七九六	三、三九
其 他	一一〇、一〇	一、三三	一、五、六、六	一、三三

寒天

輸出先	六年	五年
全國輸出	三〇、五〇〇擔	二、二八擔
大 阪 港	三、四七〇	四〇
神 戶 港	一九、〇四八	一九、〇六
支 那	一、八七	一、五七擔
香 港	八六	一、五九一
海 峽 殖 民 邦	二、三〇〇	三、〇一〇
支 那	八六擔	一、五七擔
香 港	一、八七	一、五九一
海 峽 殖 民 邦	二、三〇〇	三、〇一〇

本年度阪神兩港の本品輸出高は前年と大差なきも其の主要市場に於ては南洋、印度、支那方面の需要減じたが米國獨逸、佛蘭西、英吉利等の歐米方面に益々需要を増してゐる。其の用途としては食用としてゼリーの原料、和洋菓子製造等に競争品たるセラチンに對抗し工業用としては織物用糊、塗料原料及醸造酒清澄濟等に用ひられ近年益々需要を増加してゐる。本年支那方面への輸出は日支問題の勃發以後各地共取引杜絶の状態を呈してゐたが其の間上海筋のみは辛じて僅少乍ら商談あり、南洋方面とは九月英國金本位制停止以來爲替の取組不能の爲無商内の有様であつた。歐米工業國就中米國、獨逸等に於て食料用以外に化學工業用として需要激増を見た上昨年石花菜の主産地である静岡縣地方は大地震の爲意外の不作であり其の他の地方でも割合不作で原藻十貫匁四十匁と云ふ高値を見たが爲製造家側は採算上買澁り製造を控え目にしたため品掠れの結果九月に入り一躍一番品百斤二百五十匁と云ふ未曾有の高値を出した。尙佛國に於ては日本産寒天は藥用として無稅の待遇を與へられ近年頗る需要を増しつゝある。

輸出先	六年	五年
英 國	一、〇三三	九六六
佛 國	一、八四四	一、六六九
獨 逸	三、〇四九	二、六六一
米 國	四、〇六六	二、九七一
其 他	四、八五三	四、九〇一

罐詰及鱈詰食料品

阪神兩港本年度輸出は數量四百十二萬三千餘斤、價額百八十二萬六千餘圓にして前年度に比して數量百八十六萬八千餘斤、價額百三十七萬五千餘圓の大激減である。本品の主なる内容をなすものは水産物にして就中蟹罐詰が大部分であるが此の二種に於て本年は可なり手廣い打撃を蒙つてゐる、蟹罐は世界的な不景氣の影響と米國に於ける露西亞品のダンピングにより賣れ行き捗々しからず六年度には前年の棚上品二十萬匁其の他を合して三十四萬匁を輸出したのみで六年度製品約三十萬匁は七年度に持ち越した。主なる輸出先は米國一八九、九九八匁、英國一〇六、三〇三匁、佛國二四、〇八〇匁で數年前に比し米國需要の減退が特に著しく英佛は寧ろ増加の傾向がある。鮭は加奈陀品の安價に壓せられて漸落した新市場たる佛國へは十六志六片の安値で相當の輸出を見たが適々英國の金本位制停止に遇ひ打撃を受けたが年來我國の金輸再禁止により聊か愁眉を開いた所へ又佛國の金輸禁止國に對する附加税の増徴となり不況裡に越年した。本年はピンク罐の生産尠かつた爲持越しストック少い事と紅鮭は先約により爲替の變動に依る打撃を受けなかつた

事は何よりである。
主なる輸出國は英、米、布哇、關東州等である。

樟腦

本品の輸出は殆んど神戸港の獨占にして本年の阪神輸出額は二萬二千二百八十擔價格二百九十一萬三千圓にして數量一千一百二十四擔の増加にも不拘價額に於て十六萬圓餘の減少を示してゐて數量價額共に四年度の約半なるの悲況である。

本品は其の用途はセルロイド、醫藥、龍腦、爆發物原料等の各般に涉り其の需要も年凡そ一、七〇〇萬ポンドに上り永年本邦特産品として世界に雄飛したが世界的不況の爲需要減じた所へ獨逸を主として佛蘭西、伊太利等のターペンタイン油を原料とせる合成樟腦が各市場に進出し品質劣るも價格の點で我が天然樟腦を壓迫し來り主要市場たる米國、英領印度、海峽殖民地、歐洲諸國等に於て我が獨占的地位に動搖を來たしてゐる。

國別輸出高

國別	六年	五年
英印	四、四〇〇擔	四、三〇七
海殖	二〇八	一八六
英獨	九九五	六六三
佛國	七〇〇	六四三
獨乙	三〇〇	五六六
米國	一〇、四六二	八、二二三
其州	五〇七	七二四
全計	四、九七九	六、二三四
	三、五五七	三、二四五
	六六、八〇〇圓	六五、二四〇圓
	二六、五九九	二七、六五五
	二五、五六五	八八、五二七
	八九、四九二	八四、四六六
	三九、四一三	八七、二四五
	一、三四八、六三二	一、二六九、〇〇六
	七〇、七六七	一一三、三四〇
	六七、三四三	八五、九〇三
	二、九四四、〇三九	三、二〇九、三六六

内阪神兩港

三三、二八〇

二、九三三、〇〇〇

二二、一五八

三、〇四九、〇〇〇

薄荷

我國は薄荷の原産地として知られ殊に外國品に比し一種特別の香氣を有せる點で毎年多額の輸出を見たるものであるが本年これらの輸出を見るに薄荷油、腦、玉を合して三百九十三萬一千圓餘で前年に比し八十八萬圓餘の減少であつたがこれ不況時による市價低落の影響と見るべく量的にはさまで減少を見ざること左表の通りである。

品名	六年	五年
薄荷	三七〇、三三三斤	三九、七六斤
同油	三五五、五〇七	三三、七三三
同玉	一〇三、四三打	二六、三五打
主要仕向先を見るに腦は米、佛、英印、油は佛、英、獨、英印、玉は支那、南洋向である。		
米國 本邦薄荷は結晶がはつきりせる特徴あり且品質優良の點で藥用、食用として歡迎され結晶はつきりせざる合成薄荷は今の所日本の敵でない。		
本邦産薄荷市價(一ポンド弗建)		
高	四、〇〇〇	三、四七五、三六一圓
低	四、三五	一、二二五、八四四弗
	六、〇〇	九五七、八一九
	四、四〇	四、四〇

米國輸入

一九三一年平均	四、〇〇〇	三、二二五
一九三〇年	四、三五	三、八五
一九二九年	六、〇〇	四、四〇
一九三〇年	三二四、六二八ポンド	一、二二五、八四四弗
三一年	三二五、七九八	九五七、八一九

製造用及齒磨製造に供せらるには品質と廉價を維持する限り今日以下の減退なしと見らる。

印度 輸入殆ど本邦品の如し。

本邦産市價一ポンドに付

一九二九年平均	一八「ルービー」	二二「アンナ」
一九三〇年	一六	四
一九三一年	一三	一二

獨逸 合成に押され本邦品不振。

南洋 玉において本邦品斷然壓倒的地位にあるも同業者の競争激甚のため不良品出現し聲價をおとすものある由戒心を要す。

魚油 (鯨油を含む)

本品本年度全國輸出額は數量二十七萬五千餘擔價額百九十四萬三千圓餘にして前年に比し數量六割三分價額七割五分の激減を見た。阪神兩港に於ては數量十萬八千餘擔價額八十四萬五千圓で之又前年に比し數量七割八分價額八割四分の激減を見た。

此は歐洲に於て從來硬化鯨油を人造バター原料として使用せるも當業者は常に其の供給不足に苦しみ其の増産を獎勵した結果一九三〇年頃より其の産額は消費能力を突破し一九三一年度には前年の二割五分増産の爲未曾有の供給過剩を招來した爲人造バター及石鹼製造業者は原料としての適否を問はず鯨油使用を強制した爲之が競争的立場にある本邦魚油の需要激減を見たのである。

本邦に於ては本年も前年同様北海道、朝鮮に於て鱈豐漁であつた事と之を消費すべき硬化油界は今春來の石鹼原料一齊暴落の爲打撃を蒙つた爲魚油界は内外市場共に不振を極めた。

國別輸出高

支那	英島	比國	英乙	獨逸	和蘭	米國	澳洲	其
六、六〇五擔	二、五七五	三〇	一一九、八二七	五七、八三四	一六、七七六	三三、三三三	一三、八八三	二四、〇五〇
六四、八九圓	一八、六五五	二〇九	七五六、九五	四九六、五五	七九、四九四	一五五、〇八九	一六三、五三〇	二二〇、五一
一、八六五擔	九、四〇三	三三九	一八九、六五四	一〇三、一九七	七五、九七七	一三三、一六七	一六、六六六	一八五、七九九
三三、二六〇圓	八九、二〇〇	四、八〇〇	二、〇六、三三三	一、四九、七〇〇	七九三、六六六	一、八〇〇、四〇〇	二二五、五三三	一、七九〇、七五

硬化油

本品本年度の全國輸出は數量二千七百七十四萬九千餘斤、價額二百九十九萬七千餘圓を見たがこの内阪神兩港の分は千六百六十三萬九千九百斤、價格二百三十三萬五千圓餘で數量に於ては増加したが價額に於ては激減してゐる。其の原因と見る可きは本品の主要原料たる魚油は本年も前年に引き續き北海道、朝鮮共豐漁にして且輸出不振の爲生産過剩を來たし油價激落せる爲と今春に入りて牛脂を初め石鹼諸原料一齊暴落となり従つて硬化油も極度に壓迫された事等であつて其上歐洲方面に於ての鯨油生産過剩に祟られかゝる結果を見たのである。

除虫菊

全國	阪神兩港
四三、八四五擔	三、〇三五
一、六八千圓	一、四六四
五九、九七七擔	五七、八九〇
二、六六千圓	二、五四五

阪神兩港本品の輸出は數量三萬八千擔餘、價額百四十六萬四千圓にして前年に比し數量一萬九千八百擔餘、價額百八萬一千圓の減少であつたが此本年は前年豐作のあとを受け主産地北海道の不作による市價割高なりしと主需要國米國其他の世界的不況深刻化による需要減に因るものと思はる。即ち主要仕向國別輸出を見るに香港、英國、伊太利、加奈陀、獨逸の諸國に増加せるに對し大需要國たる米國を初じめ佛國及濠洲への輸出は激減を見るに至つたこと次の通りである。

阪神兩港國別輸出額

國名	六 年		五 年	
	擔	價額	擔	價額
香 港	二、五五九	九九、〇九四	一、三三四	五八、二〇〇
英 國	二、八七一	六六、四七七	二、四四六	一〇四、二二六
佛 國	二、一八二	八三、九五七	五、六〇〇	二七六、六一八
獨 逸	三三三	九、〇八八	三	一〇〇
伊 太 利	一、八〇八	七、九五五	一、一一〇	四九、七四四
米 國	二六、五九元	一、〇一一、一九七	四三、三七七	一、九五三、〇八九
加 奈 陀	四三三	一五、八八八	二九一	九、〇二六
濠 洲	五八	三、五五四	九九五	五、四四六

本年度主産地における本品の作柄を聞くに大體に北海道七十萬貫、三備地方六十萬貫、和歌山十萬貫にして前年に比し北海道を除く地方は略平年作であつたが北海道の減收甚しく三十萬貫餘に上り其がため品拂底を來たし市價高低常なかつたが大體前年に比し割高を極めたと言はる。

生 絲

大阪としては多く關する所なきが如きも我輸出品の大宗であり本誌の體裁として一項目をなして列擧す。

三年越の大不況の後を受けて多大の期待を以て迎へられた昭和六年度の蠶絲界も世界を席捲した財界恐慌の大渦巻に捲き込まれて更に深刻なる不況に見舞はれ當初の期待を裏切つて實に未曾有の大受難に遭遇したのである。年初には内外の需要相當あり實物最優等格七百六十圓の高價を見たが内外財界の悪化と製絲家の無自覺な挽き急ぎ等が祟つて形勢急轉し三月には全國製絲一齊休業と横神兩市場の荷受停止が行はれたが大勢依然として不利、遂に四月末は五百圓臺に落ちたので政府も低資を融通して絲價の恢復を計つた。六月フーパーのモラ提案で一時賑つたが之も權花一朝の夢と化しドイツ財政の破綻を切つかけに金融界の大動亂滿洲事變の突發から形勢再び悪化した。年末金再禁止による爲替安により六百圓臺に恢復して越年した。尙本年本品の輸出状況を見るに絲價の低落した爲に數量に於ては一八%強の増加を示したが金額に於ては反つて一八%弱の減少である。

國 別 輸 出 額

國名	六 年		五 年	
	擔	價額	擔	價額
英 國	九、三四擔	六、六一、三六圓	三、三三擔	二、九四、二〇六
佛 國	二、八六七	五、八七、四三〇	一〇、三七一	八、〇四、一〇一
瑞 士	一、五九	一、五、一三五	三三	一、七六、四九一
米 國	五、六六	三、四、四七九、三七〇	四八、六七四	三、九八、七二五、二〇三
加 奈 陀	三、八三〇	二、五九、六五四	三、八三五	三、五八、九六〇
濠 洲	二、八〇元	一、九二、八九三	二、七八三	二、七八三、〇九〇
其 他	三五三	二、三三、六四	六一八	四、五八、七六三
全 國 計	五、五、九三五	三、五、三九三、七六四	四、六、八六六	四、一、六四六、八二四
内 神 戶 港	一、五九、四四五	一〇四、七〇一、〇〇圓	一、四一、一〇一	一、二五、八五三

米國の生糸輸入額

年	日本より		其他より		合計
	数量(ポンド)	割合(%)	数量(ポンド)	割合(%)	
一九二八年	六七、七六、五五二	八九、九	七、六一、七三三	一〇、一	七五、三六、二八五
一九二九年	七四、六四、一〇四	八五、一	一三、一三〇、一五九	一四、九	八七、九四、二六三
一九三〇年	六〇、六五、五三三	八三、一	二、六三三、五〇〇	一六、九	七三、二四、五七二
一九三一年	六九、八四、四六一	八五、七	一、五〇四、七六六	一四、三	八〇、五七、三七七

綿糸

年	六		五	
	数量(ポンド)	割合(%)	数量(ポンド)	割合(%)
全	九五、一七、七擔	八、五二、二千圓	一七六、八四、八擔	一五、〇三、三千圓
阪神兩港	七九、六三三	七、一四六	一五〇、一〇〇	一三、九七〇

阪神兩港本年の本品輸出は數量七萬九千六百擔餘、價額七百十四萬六千圓であつて之を前年の夫に比べると數量七千四百擔、價額五百八十四萬四千圓といふ著減を見たがこれが主要原因として排日貨運動による對支輸出不振が考へらるゝのである。元來本品の輸出は重要輸出先たる支那、印度の斯業發達とともに自然逐年減少を辿るべき筋合にあつた。本年の如きは此以外に打續く世界的不況による製品の不消化による需要減及支那の排日貨運動、英國の金本位停止に因る爲替關係の不利等の諸惡續出のため前記の如き結果を見るに至つたものと考へらるゝが中でも支那の排日貨運動による對支輸出の打撃が極めて大であつたことは大藏省の貿易月表から見ても想像出來よう。即ちこれに依ると本年中の對支(香港、關東州を含む)輸出額は前年に比し實に四百三十萬圓の激減を見せ居るに對し同じく本品の重要輸出先たる印度は約百萬圓の輸出減で同じく斯業發達による輸入減とは云ひ難く對支輸出減中には多分に日貨排斥の影響が織込まれ居た様に思はる。米棉未曾有の大收穫は原價採算を根底から一變せ需給、本年の綿糸界は實に多事多難の年であつたといひ得よう。

しめ、又滿洲事變、英國の金本位停止は本品輸出の障害となり、加ふるに打續く不況による内需の梗塞不振は終始操短せるにも拘らず生産設備の増加のための生産増加を完全に消費し切らず滞荷日を遂うて増加する有様で市價の軟弱化を以てするも如何とも出來なかつた。もつとも本邦の金輪再禁止を見越しての内需の増加が十一月頃より見られぬでもなかつたがこれ本年における限り大勢的には左まで影響あつたものと思はれない。尙茲に特筆すべき事は銀安による支那系多量の輸入であつて自給自足の現在の斯界に於て全く遺憾とする所であらう。

年	月	産額	東、阪、名 月末在荷		輸出	相場(大阪三品先物金魚干)	
			最	高		最	低
五年	十二月	一一〇、五三三	六、三〇六	二、六四三	二、〇九八	三六、四〇錢	一一四、一〇錢
同	十一月	一一〇、六一一	七、三五四	二、〇九八	二、〇九八	三五、八〇	一一四、一〇
同	十月	一九八、〇一一	五、九三三	一、七〇〇	一、七〇〇	三六、三〇	一一三、一〇
同	九月	一九七、七二二	六、三三三	二、〇九八	二、〇九八	三四、三〇	一一三、一〇
同	八月	二〇五、六六七	八、八三九	一、九〇九	一、九〇九	三五、〇〇	一一三、一〇
同	七月	一一〇、三〇五	八、六八九	二、三三九	二、三三九	三三、五〇	一一三、一〇
同	六月	一一〇、三〇五	八、三三〇	二、〇〇一	二、〇〇一	三七、五〇	一一三、一〇
同	五月	二二七、一九九	八、一六一	二、八三七	二、八三七	三四、五〇	一一三、一〇
同	四月	三二一、四一八	三、〇六七	二、二七七	二、二七七	三三、八〇	一一四、一〇
同	三月	三三四、四三四	九、七七七	二、六六九	二、六六九	三二、五〇	一一四、一〇
同	二月	三三三、九七三	一〇、三四七	三、八五〇	三、八五〇	三〇、九〇	一一四、一〇
同	一月	三三六、六四六	一一、七六八	三、四四三	三、四四三	三二、〇〇	一一三、六〇
同	十二月	三三六、九七八	一一、八八二	三、七九二	三、七九二	三二、九〇	一一三、六〇

備考 三井銀行考査課調(單位一担三百斤)

六年中本邦綿糸主要國別輸出高

支那	六年		五年	
	輸出高	輸出高	輸出高	輸出高
支那	六,四二九	四,九千四	三,四,五七擔	二,五八〇千圓
關東	五,一〇一	二,九四九	六,五〇八	四,五〇四
香港	七,三五六	四,四九	三九,五三三	二,五九五
印度	四八,五九六	五,五九一	六〇,二一八	六,五七六
蘭印	五,四四一	三,五八	五,七五四	四,四七
比律賓	四,一〇四	三,三三	三,九七一	四,〇〇一
其他共計	九,五,一七	八,五二	一七,八四八	一五,〇三

綿織物

全 國	六年		五年	
	輸出高	輸出高	輸出高	輸出高
全 國	一,四三,七六〇千方碼	一,九,三三,千圓	一,五七,八五五千方碼	二,七二,二七千圓
阪神兩港	一,三三,七五七	一,七六,二四四	一,三三,五七五	三,七,七三

わが阪神輸出の王座を占むる本品の輸出は數量十二億二千七百五十二萬七千方碼、價額一億七千八百二十四萬四千圓を見前年に比べ數量九千八百八十八萬八千方碼、價額五千九百五十一萬八千圓の減少、若し夫前々度と比べんか實に數量三億三千八百八十五萬一千方碼、價額一億九千六百六十九萬一千圓の激減であつた。

由來綿布の如き世界的商品においては其の價額の高低は直に以つて輸出に影響するもので本年の如き市價安には當然輸出相當の振興を見るべきものであるが最近の世界事情として各國需要先が打續く不況から極度の購買力低下を來たし居り、且又自國産業保護の見地から高率なる關稅障壁をめぐらし外國品進出を極度に警戒しつゝあることゝ價格の低落直に以て需要國の買氣をあふり難きものあり加之本年は本品輸出の生死を握る主需要先たる支那に悪性未だ嘗つて前例を見ざる排日貨運動を見、印度亦再度の關稅増徴あり加之英國の金本位停止に伴ふ磅爲替の動搖及其の

製産品の猛烈なる東洋市場奪回策等に影響せられ結局前記の如き減少を見た、然しながら靜かに過去一年を見るときは綿糸の生産は僅少ながらも前年に比し増加し綿布の輸出は前述の原因よりして舊市場において激減せるに拘らず輸出總量においては左まで著しき減少を見ることなく殊に加工品其他の高級品が地域的にも數量的にも増加の傾向にあるは吾が綿業の技術的進歩と關係業者の新市場開拓に對する撓まざる努力を意味するものであつて誠に心強いものがある。

尙輸出綿布の變遷につき某業者の言を借りると粗布、細布、細綾等の生地物時代は既に去り今や支那も印度も生地物は粗いものでは見込がなくなつた模様で支那向粗布等の如き今日では問題でない、其の代り晒金巾は日本品萬能でマンチエスター物もちよつと手が出ないとの事である。捺染物は本年は不景氣のため賣行不振、無地染は變り生地を要求し四綾五枚八枚朱子等支那南洋で優勢であつた由である。

左に本邦の國別輸出額及品種別輸出額を示し以て前年と對比して見よう。尙阪神兩港の分は卷末統計參照

國別輸出額	六年		五年	
	輸出額	輸出額	輸出額	輸出額
支那	三九,四四九千方碼	四三,〇七三千圓	四三,四〇九千方碼	八六,九二五千圓
關東	三七,九三四	六,一七三	四五,三九九	九,一八七
香港	六三,四五〇	九,七六五	一〇五,九七四	一八,二五三
英印	四〇四,四一一	四九,八六六	四〇四,二五一	六二,二二六
海峽植民地	四一,三〇五	五,二二三	四四,五五三	六,二八四
蘭印	二二,一〇七	二八,二七九	一八,八六五	二八,二八四
比律賓	三三,四三三	四,一六三	三五,一三七	五,四八八
レヤム	五,八八四	七九六	一六,一三三	二,五八一
土耳古	二五,一五〇	三,五〇七	二〇,三九九	三,七二六

米	四八	六四	五〇
智利	二、三六〇	三三三	六、七六
亞爾然丁	一〇、五四〇	一、四〇八	七、二八九
ウルグアイ	四九〇	六五	四〇四
埃及	一〇三、七九九	一四、九六六	一〇九、〇一五
南阿聯邦	三九、〇三三	五、四五	三三、六六
濠洲	二〇、〇九九	二、八五七	一四、一五三
新西蘭	六七〇	九四	八三〇
其他	八二三	一四三	八八
其	二七、五九九	三、四九〇	二六、〇一五

前表において南洋、南米方面に輸出多少増加せるは對支輸出不振、磅貨動搖による輸出不振による滯貨一掃のため且は高率關稅障壁突破による新市場開拓の意味からダンピング的安値で賣込んだためと思はる。印度における輸出の多少ながら増加せるは英國品の激減による穴隙を埋めたものと見らる。蓋し當地紡績の發達を以てしても尙自給自足に達せざると同時に原料關係より自國で生産不能のものもあり旁々英國品の驅逐は日本品の進入となつたわけである。阿弗利加、近東方面亦多少の増加さへ見て居るが此方面に主として輸出さるは粗布及縞三綾で本邦綿布中の廉價品とて世界不況の折柄これらが歓迎さるるは當然の事であらう。殊に金再禁止前においてさへ右本邦品市價は競争品たるチェコ、白耳義、獨逸品の夫に比し二、三割安といはれる位本質的強味を有して居た。

生地ノモノ
品種別輸出額

大尺	二、四六二	三、〇二四	三、七三二	七、七三二
綾木	二、四三三	三、八二四	二五、六五〇	五、四七七
細木	九、六四一	一、三六八	三〇、二八五	五、〇三〇
小倉織	四四	二二	四	二
縮	六	七	五	九
フランネル	一、七八五	三三五	四二六	九〇七
金巾(幅四十吋以上)	一三、一七四	一三、五九四	四〇〇三	五、六三三
同(同 未滿)	二〇、九六六	一四、四四三	四〇〇三	五、六三三
ドローテ	六六、二九一	八、〇九二	一、二八四	一、六四七
粗布	一	一	一	一
天竺	一四、五九六	一、七六	一、二八四	一、六四七
モスリ	一	〇	七	一
帆	三、六五五	九四九	三、六八二	一、一〇四
五枚縞	一、九〇五	二八五	四、〇八	七四
八枚縞	八	三	一	一
其他ノ縞	一	一	一	一
其他	一、七三三	二〇九	四、〇八	七四
晒シタルモノ	九三	九二	八四	一〇一
白木	六二	八	五九〇	一一一
綾木	五、五〇五	七六四	六、一八五	一、〇六九
細木	三三	一〇	五五	一八
小倉織				

品名	五二	五二
縮	五、七五三	七、四四
フランネル	二、一八二	三、七四
金巾(幅三四吋以上)	一、五、〇五四	二、一、八五〇
同(以下)	九、八三九	一、四、三三
粗布	二、八二	三、六
天竺布	三、八一	四、九
其他	一、五九四	二、六一
其他ノ綿布		
縞三綾(糸染)	一、六、三六八	二、三、〇〇三
其他ノ縞木綿	一、四、八六八	一、九、七〇
色木綿	一、二二八	一、四、五
染綾木綿	三、九〇三	六、三九
其他ノ綾木綿	一、七五	三、二
染細綾	三、四四三	四、四、五七
其他ノ細綾	九、〇、五三	一、三、四、〇九
小倉織	三、四四	五、七
縮	五、七五三	一、二、四一
染フランネル	三、三、九七	二、六、八四
染フランネル	一、九、八七	三、〇、六四
其他ノフランネル	三、九〇八	三、八、九九
染金巾	五、三〇	八、四
更紗	四、六、〇四〇	五、六、六四
	五、六、八〇九	七、二、九

品名	五二	五二
天竺布	二、五、二一八	三、一、八六
染モスリン	六、八六〇	九、八
其他ノモスリン	一、六、六六	三、六
帆布	一、六、六六	四、〇、六
染子	三、三、〇五	一、四、五、八
捺染	八、八、〇〇	二、〇、九四
四綾	二、九、三、七	六、五、四二
變り織	六、六、九七	一、三、四七
ポプリ	六、五、八九	一、五、四八
其他	三、〇、七	六、二、四六

絹織物

全 六年 五年
 阪神兩港 四、〇、五、五、千圓 三、七、七、五、千圓
 二、六、三、三二 四、〇、一、四一

阪神兩港本年の輸出額は二千六百二十三萬一千圓で之を前年に比べると一千三百九十一萬一千圓の減少であつた。輸出絹織物最近の情勢は人絹織物の隆盛に引きかへ逐年衰退を見せ居る次第で殊に近時の世界的不況はこの傾向を層一層助長せしかに思はる。本年の輸出状況に就き見るも世界各國の不況による購買力の一般的低下は本品の需要が漸次人絹乃至交織物に乗り替へられた模様である。而し輸出絹織物の王座を占め居たる富士絹、羽二重が何れも前年に比し輸出著減を見たが此前者は最大需要地たる濠洲の關稅引上により、後者は市價低落による粗製品の出現で品質の不良化が歐洲方面で叫ばれ殆ど同方面向輸出が杜絶状態に陥つたがための様である。

尙絹紬は相場の低落がかへつて幸ひして米國の需要を増大した外、英領印度、南米、アフリカ等に新需要地を開拓し得た。

日本輸出絹同業組合聯合會調査による本邦の本年中全國絹織物總生産高は三百四萬二千七百五十六匹で前年に比し四萬八千五百八十二匹の減退を示したが此が品種生産状況を見ると縮緬、富士絹、羽二重の大物を始め何れも前年に比し少なからぬ減少を呈し只絹紬のみが増加して居るがこれ如何に本年の輸出貿易が不振であつたかを物語る反面的證明であらう。

全國品種別輸出高

品名	六 年						五 年					
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
羽二重	六、二二五	六、二二五	六、二二五	六、二二五	六、二二五	六、二二五	六、二二五	六、二二五	六、二二五	六、二二五	六、二二五	六、二二五
甲斐絹	七、九六六	七、九六六	七、九六六	七、九六六	七、九六六	七、九六六	七、九六六	七、九六六	七、九六六	七、九六六	七、九六六	七、九六六
縞子	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三
琥珀織及ポプリン	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三
シツホン	一、八四六	一、八四六	一、八四六	一、八四六	一、八四六	一、八四六	一、八四六	一、八四六	一、八四六	一、八四六	一、八四六	一、八四六
ボンヂ	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三	二、五九三
富士絹	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二	一、七、七二
縞織	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二	二、八、三二
縮緬	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九	二、二、四九
其他	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九	一、七、六九
全	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇	二、四、七〇

相場 三井銀行調査調査による羽二重大聖寺優等品百匁下旬相場に依ると年初來續落を續け十月 十一月において其の低落最も甚しく年初に比し實に二割五分餘の下落を見た。

人絹織物

全 國

六年 三九、七三三
五年 三九、九三三

阪神兩港本年の輸出は三千三百三十八萬五千圓を示し前年に比し六百三十六萬二千圓の激増を見た。最近における吾が人絹織物の輸出は逐年増加を見せ新興輸出品として本邦輸出貿易上に大飛躍をなして居る。人絹聯合會調査によると本年の人絹織物輸出は下半期の英國の金本位停止、インドの關稅引上、イタリーのダンピング等の障害を乗り切り一般豫想に反し本邦全體の輸出において一般織物方面では前年に比し千三十六萬八千方ヤール増加して九千四百八十五萬三千方ヤールとなり羽二重の如き五百六十一萬三千餘斤に達し實に前年の八倍強に當り素晴しき成績であつた。

尙尙向別に見ると海峽殖民地、シヤム、比島の如き南洋方面への輸出は流石に華商の排日貨の影響から減じたが濠洲、エジプト、アデン、アフリカの各殖民地、英領印度等は英國の金本位停止で相當案ぜられたに拘らずいづれも激増を示し英印において一般織物二倍の四千二百萬方ヤールに達し羽二重の如きは一躍十倍の二百三十餘萬斤といふ激増振りで更に南アフリカの如きも五年度より三倍となり六百萬平方ヤールを超え其他世界各地とも日本人絹織物の輸入を見ざるところなく近き將來アフリカ、南米、中央アジアへの發展が見込まれ日本人絹織物の將來益々多望なるものがあるが世界不況の深刻なりし本年かくも輸出の増進を見たのは一に原糸値下りによる織物原價採算の低下のため從來兎もすれば競争線上に立たんとしたイタリー品の如きが完全に其の活動力を奪はれたにある。

世界生産高、本年の人絹糸世界生産高は二十萬千四百噸にして不況にも拘らず前年に比し約三%方増加せることは如何に人絹織物が時代に適合せるかを裏書せるものと思はる。

イタリ 一九〇〇年 一九三一年

ド	イ	ツ	三三〇	二四、四
英	國	三二、六	二一、七	
フ	ラ	ス	二〇、九	一四、五
ソ	ベ	ト	一、二	一〇、〇
米	國	五四、五	五四、三	
日	本	一六、二	二〇、九	
合	計	一九五、七	一〇一、四	

(備考 單位千噸、日本化學業新聞による)

本邦人絹織物の本年生産は商工省調査によると廣幅物七千九萬四千圓、小幅物、一千三百十四萬四千圓、特殊物二千五百三十三萬六千圓計一億四百七十七萬三千圓で前年に比べると廣幅物一千十八萬二千圓の増加を來たしたが他は何れも二十四萬六千圓、三百四十四萬二千圓の減少で結局前年に比し七百四十八萬六千圓の増加に過ぎなかつたが是市價の低落によるもので、數量においては尙一層の増加を見たものと思はる。

帝人一二〇〇福井市場相場(當月物)

昭和五年十二月	最	高	最	底
同 六年一月	一四四〇	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇
二月	一三五〇	一三八〇	一三八〇	一三八〇
三月	一三八〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇
四月	一八五〇	二一六〇	二一六〇	二一六〇
五月	二四〇〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇
六月	二七〇〇	二〇、五	二〇、五	二〇、五
七月	二四〇〇	二六、〇	二六、〇	二六、〇

綿 毛 布

八月	一五、〇	一〇五、五
九月	一〇、〇	八九、〇
十月	八、〇	七五、五
十一月	七、五	七二、五
十二月	一〇、〇	六五、〇

全 國	三三、一九四擔	一、四七二千圓	四一、五五五擔	三、四九〇千圓
阪 神 兩 港	一三、一七二	一、四六六	四一、三九二	三、四七六

阪神兩港本品の輸出は數量二萬三千擔、價額百四十六萬七千圓にして前年に比し數量一萬八千擔餘、價額二百萬圓餘の激減であつた。

本品は主として泉州で製産せられ東南洋の諸市場に専ら輸出され其の安價なる點で寢具並衣類代用として愛用され輸出逐年増加の傾向を見せ來たつたが本年は世界的不況の深刻化に加へて英國の金本位停止、日支紛争による排日貨運動等輸出不利の諸事情相次いで現はるゝに及び伸びるべく思はれた本品の輸出も遂にこれら悪事情のため累せられ九月以後對支輸出が殆ど杜絶の悲境を見たるをはじめ其他印度、南洋の諸市場に於いて著しき賣行不振を來たし結局前述の如き悲しむべき結果に終つた次第で主として輸南向製品に従事する當地業者の受けたる打撃殊に甚しきものがあつたといはる。

主要仕向先に對する本年の輸出額を前年の夫と對比すると次の通りである。

支 那	六 年	五 年
	一、九四四擔	三、八七九擔
	一、三三〇千圓	三、七七一

關東州	三二二	一七	四二	三
香港	四、五四七	三六一	二、四〇五	九三九
印度	三、五九九	三三三	四、六六六	四一〇
海峽植民地	一、八八四	一一〇	四、二四三	三三三
蘭領印度	四、二二三	二五〇	五、五九六	四九四
暹羅	二、三九九	三九	四、五六一	三六六

月別本品全國の輸出額を見ると年初來九月頃迄の輸出は不況と云ひながら可成り順調に進み其の額も一月の九萬六千圓を最低として平均月額十四萬八千圓を見居りたるが十月には一轉八萬八千圓に低下、十一月には更に二萬六千圓十二月には二萬四千圓と殆ど輸出杜絶の状態に陥つた。

これ英國の金本位停止並日支紛争による排日貨運動の影響漸くこの期に至り現はれ來たものと見るべきであらう。

全國月別輸出額(單位千圓)

一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
六	二四	一九	一八	二三	一五	三四	一七	二二	六	三六	二四

莫大小製品

本年本品の全國輸出は數量一千五十七萬五千打餘、價額二千百十七萬六千圓で前年に比し數量二百三十三萬六千打餘、價額九百二十八萬六千圓の減少であつた。

因に本品輸出は主として阪神兩港よりなざるものであるが本年の輸出かく激減を見るに至つたに就いては一般不況による各國需要大衆の購買力低下並各國政府の輸入關稅引上による輸出困難もあつたであらうが主原因としては日支紛争以來の華商筋のホイコットによる對支輸出の不振並に恰も時を同じうして起つた英國の金本位停止による爲替動搖による輸出困難にあつたものと思はる。

即ち左記本邦國別輸出額を見るときはこの間の消息を知る事が出來よう。

支那	三三、八三打	八四七千圓	六〇、五三打	一、六五五千圓
關東州	一〇六、二五	三五	一一、四一〇	三〇
香港	一〇〇、五〇〇	一七九	二二、四一〇	四六四
英印	一、八八四、四八八	三、九二二	三、一〇三、七六〇	七、九四九
英印	七、七〇、九〇一	一、五七〇	七、五〇、五七三	一、七〇〇
蘭賓	一、三三、七二六	一、九九九	一、五五〇、五九九	三、〇九七
比賓	二、五九九、六四六	五、四九九	二、七〇四、八四一	六、九二二
英賓	二、八、八九四	三六	三、七六、二八七	五〇七
佛國	三〇〇、五〇三	一四〇	三、八、二六六	五二七
米國	五八三、二五	一、三〇九	四、六、三三六	一、八八三
埃及	五三、四、八二七	一、二五	五、八、五三〇	一、四四四
南阿	一〇、七五五、四三	二、一六	三、九、七三三	三、四三三
其他共計				

而して本品中多額を占むる肌衣及靴下類の阪神兩港本年の輸出は前者數量六百五十八萬八千打、價額一千六百十四萬一千圓にして前年に比し數量百八十五萬八千打、價額七百二十七萬二千圓の減少、後者は數量三百二十一萬九千打價額三百四十四萬四千圓にして前年に比し數量二十九萬八千打、價額百四十九萬圓の減少であつた。

尙本品仕向地中首位を占むる英國へは海水衣、針拔衣等肌衣類其他の輸出良好を續け九月の金本位停止にも影響少く見越輸入のため好況を持續したるが十二月に入り關稅引上の實現のため今後に不安を残こして越年した。

阿弗利加方面亦殆ど英國と同経路を辿つた。印度は前年來の持越相當ありたるため上期輸出不振、下期漸く出廻旺盛ならんとせる際たま／＼英國の金本位停止による留比貨の下落と糸價の暴落で取引不圓滑となり輸出不振であつた。

華商筋における南洋及比律賓方面は不況の深刻化による一般購買力減と日貨ポイコットのため輸出は辛うじて日本商館、蘭系商館を通じてなざるべからざるに至りたるため成績は不良であつたが本邦製品の代品は他に求め難きため早晩増加すべきものと思はる、支那、香港方面における斯業の發達はやがては本邦品輸入を要せざるに至らんも現時に於ては尙自給自足の域に達せざるため相當の輸出を見られるも本年は日支紛争なる特殊事情のため輸出激減した

洋紙

全	一、四三、三三三	二〇、九五、千圓	一、七二、三三三	三、七、五〇、千圓
阪神兩港	七九、五九七	三、八、五	一、〇〇、九一九	一、七、〇二九

阪神兩港本年の輸出は數量約七十九萬七千擔、價額一千二百八十七萬五千圓で前年に比べると數量二十萬四千擔、價額四百十五萬四千圓の減少であつたが之主要輸出先たる支那への輸出が日支紛争のため激減を見たるに因る。おもふに多年文化的商品として世の景不況から超然として消費の飛躍的發展を誇り來たれる洋紙界も深刻なる不況のため遂に屈し昨年頃より漸次衰兆を見せ來たつたが本年に入るや操短、共同管理其他あらゆる人爲的需給均衡策はとられたが内地需要の香ばしからぬに加へ輸出は日支紛争で不振、加之安價なる外紙の輸入激増を見るあり、各社の販賣競争は市價をして低落の一途に導き全く多事多難の年であつた。ために限産率は次第に高度化するの餘儀なき状態に陥り年末五割五分を見、金再禁止の實施もありて辛うじて消極的に安定を見たのであつた。

日本製紙聯合會の調査によると本年の外紙輸入は數量一億四千六百三十一萬四千九百八十九ポンド、價額一千七百四萬五千五百十六圓で前年に比し數量四割八分といふ激増ながら價額は單位當値段の低廉のため僅かに九分四厘の増に過ぎなかつたが其だけこの輸入單價の低廉は内地當業者を苦しめた事尋常でなかつた様である。

尙輸入紙は大部分は新聞用紙で輸出國は瑞典、加奈陀が多かつた。

因に阪神兩港のこれら外紙の輸入額は四百二十五萬五千圓であつた。生産、本年中製紙聯合會員九社の生産高は十三億三千五十八萬四千封度で前年に比べ三千六百九十五萬封度の減少、一方販賣高は十三億二千九百五十八萬五千封度で前年より一千七百六十萬三千封度の減少であつたが品種別生産高は次の通りである。

	本年年生産高	對前年増減
上等印刷用紙	一五〇、七四〇	△ 一五、三二一
印刷用紙	一三、七九四	一、七七一
筆記及書用紙	三八、一八〇	三、七三六
模造紙	一三三、四〇九	二、二五八
アート及艶紙類	一三、五三一	△ 六、八七五
新聞用紙	五五、五五三	△ 五、七七七
ロール半紙類	五四、二二〇	一三、六三三
色紙類	一六、七六七	九、六七
包紙類	一六、九七五	一、五九九
機械漉和紙類	八、八九七	△ 二、三三六
板紙類	七、六九一	△ 二、〇三三
雜種類	六、七四四	△ 四、〇七三
計	一、三〇、五八四	△ 三六、九五〇

(備考、富士、王子樺太、三菱、北越、日本紙業、乾、日本、西野九製紙會社ノ六年中生産高ヲ合シタルモノ、單位千封度)

尙近年の主要洋紙相場を見ると次の如く元年來漸落の一途を辿りつゝある。(一ポンド建)

印刷紙千歳印 一八圓八
模造紙 一六・九

年	二	三	四	五	六
輸出額	177.3	163.3	155.5	143.3	141.1
輸入額	155.4	144.8	138.8	131.1	126.6

陶磁器

年	六	五
全 國	19,370千圓	27,172千圓
阪神兩港	2,336	3,907

本年阪神兩港の本品輸出は價額二百三十二萬八千圓を見前年に比し百五十七萬九千圓の激減であつた。我國重要輸出品の一として廣く海外に其の名を知られるとともにその輸出額も漸増し一時三千五、六百萬圓を見るに至つた本品も世界を擧げての不況と各國の自國産業保護の見地からの關稅引上に累せられ逐年輸出減少し來れるは遺憾とすべきであらう。

本年全國輸出狀況を見るに或一、二の諸國を除いては主要仕向先たる米國の激減を始めとし其他諸國何れも減じたが此對米輸出減は前年の高率關稅引上並同國の不況深刻化による需要減に因るべく對支輸出亦日支紛争と不況の二重の打撃から激減し南洋諸地方の減少亦不況と華商の排日運動のためと思はる。歐洲方面への輸出は不況の折柄にも拘らず少額ながら順調に進展した模様であるが此東洋趣味の普及顯著なるものと見るべく將來の發展のため益々意匠、圖案、色彩の點に研究努力をなすことが肝要であらう。新開拓地埃及への輸出増は少額ながら心強い輸出品種はカップ皿、茶器及灰皿等の實用品が多かつた模様で花瓶其他の高級品が割合に尠なかつた模様だがこれ時節柄當然の事であらう。

硝子及全製品

年	六	五
全 國	6,550千圓	9,609千圓
阪神兩港	5,402	8,155

打續く世界的不況に加へて英國の金本位停止、日支紛争其他の諸惡が相次いで起き本品の輸出に著しき打撃を與へた事前表の通りで本邦輸出の約九割を占め來れる吾が阪神の硝子界は全く不振の二字に盡き或は倒産の悲運に遭ひ或は其のこゝに至らざるとも遠からざるの状態を示した。

即ち本年阪神兩港の輸出額は五百四十萬圓餘で前年に比すと二百七十七萬圓餘の激減であつた。

魔法瓶 本品阪神兩港の輸出は數量十一萬六千五百打餘、價額六十九萬圓に上り前年に比し數量十一萬六千四百打價額八十三萬九千圓の激減を見るに至つたが之一般不況の外に日支紛争及これより生じた排日貨運動による對支、香港其他南洋諸市場への輸出不振による。

罐類 本品の阪神兩港輸出は數量約六百四十九萬九千打、價額百四十五萬六千圓にして前年に比し數量三百三十八萬四千打、價額約七十八萬圓の減少を呈した。

本品には化粧用、食料品、飲料水用と多種あり主として大阪及其の附近で生産を見るのであるが本年は世界的不況及其他諸種の悪材料續出し殊に英國の金本位停止は主輸出先たる對印輸出を著しく悪化せしめ前記の如き結果を見るに至つた。

コップ 本品阪神兩港の輸出は數量二百六十四萬三千打餘、價額百三十三萬四千圓に上り前年に比し數量四十四萬二千打餘、價額三萬二千圓の増加を來たした。

これ不況時に拘らず對英領印度、蘭領印度、比律賓への輸出が著増せるに因るものでこれ本邦品の技術的進歩を意味するものと見るべきであらう。

鏡 本品阪神兩港の輸出は數量一千二百六十九萬五千個、價額九十萬四千圓に上り前年に比し數量三百三十八萬八千個、價額四十四萬八千圓の減少であつた。

本品は主として支那、英領印度、關東州、蘭領東印度其他各地に輸出さるものであるが近時主仕向先たる支那は斯業漸く發達して輸出抄らざる處へ殊に本年は日支紛争及其れより甚しくなつた排日運動、並英國の金本位停止のため英領印度、蘭領印度、支那への輸出不振を極めたため前記の如き輸出減を見るに至つたものである。

品種別阪神兩港輸出高

品名	六 年		五 年	
	數量	價額	數量	價額
窓 硝子	二、七二、四八方呎	一九三、千圓	二、三三、九五打	一、五五、千圓
魔 法 瓶	二、六、五三打	六、七、千圓	九、八八、二五打	二、三三、千圓
其 他 ノ 瓶	六、四九、八三九	一、四六、千圓	二、一〇、一四七	一、四〇、千圓
硝子 コップ	二、六四三、五五	一、三三、千圓	一、三三、四三	一、〇五、千圓
食 器	一、八八、八四三	一、五、千圓	三、〇、七八哥	三、三、千圓
ウオツチグラス	四、三、〇二哥	三、六、千圓	六、〇、〇三斤	三、四、七、千圓
珠 玉 及 球	三、八〇、七七斤	一、七、千圓	二、五、四、二〇個	二、六、一、千圓
眼 鏡	二、一四、五二個	三、二、千圓	一、六、〇、三三個	一、三、五、千圓
鏡	二、三、六五千個	九、四、千圓	二、五、千圓	九、七、千圓
其他硝子及同製品		二、七、千圓		六、七、千圓

玳瑁鐵器

品名	六 年		五 年	
	數量	價額	數量	價額
全 國	一〇七、六三擔	二、六九、千圓	一四七、五〇擔	四、〇四、千圓
阪神兩港	七、一三	一、九〇	九、三二	二、七、千圓

阪神兩港本品の輸出は數量七萬七千擔、價額百九十萬四千圓で前年に比し數量二萬二千擔、價額八十萬七千圓餘の激減を見た。

本品は大阪重要輸出品の一をなし本邦輸出の九割迄は吾が阪神兩港で之を占め其の價格安と耐久性に富める點より廣く海外市場殊に印度、南洋、支那等文化割合に進まざる地方では殊の外珍重がられ來たつた。本年の輸出狀況を見るに阿弗利加、濠洲の新販路を除いては何れも減少し總價額において五年度に比し三割減、四年度に比し四割以上の減額であつた。

尙これが原因としては日支紛争による對支輸出の不振もさることながら近年の打續く不況による需要地の購買力減が大いに與つたものと思はれ其他英國の金本位停止による爲替の變動も看過出來ぬ所であらう。

而して本邦品は從來大衆向を目標として進み來れるものだけ近年の如き不況時には高級品を狙ひ來れる歐洲品に比し案外に打撃僅少であつた事は想像出來る。

尙アルミニウム製品、陶磁器の進出あるも大體その勢力分野は定まれるもの、如く本品今後の盛衰は専らこれら需要地の景況如何に在るもの、如くである。

さて其の品種を見ると洗面器、皿、コップ、辨當箱等大衆向の品が其の主なるもので外國品の高級品、及深形類とは全然分野を分てるもの、如くなるも近時其の輸出減のため漸次本邦品に倣つて安物を以て進まんとせる傾向ある故この點本邦業者の大いに考ふべき所であらう。

最近二ヶ年阪神兩港仕向地別輸出高

支	六 年		五 年	
	數量	價額	數量	價額
南 支	五、七六担	八、七〇九圓		
中 支	一、五〇六	三、六三		
北 支	三、六五二	七、二八五		
マニラ	七、二五三	八、六六一		

其他ノ比島	三、二〇一	三、〇〇〇
蘭印	一九、一五七	二五、八九九
西貢	二四一	六七五
盤谷	八、八八四	二二、二二三
海峽	六、〇〇四	八、九六六
印度	二六、二五五	三六、六九三
澳洲	一、七五八	一、五〇六
阿弗利加	七、六五五	七、六五五
北美	一〇	一八
南米	三	二六
其他	八〇七	六七六
合計	九一、八三三	一二三、七八八

護 謨 製 品

ゴム靴	全 國	一、四〇〇、二六六打	四、三九四千圓	一、四三三、五五五打	六、五九三、千圓
	阪神兩港	九九、四五二	四、〇九六	一、三九二、六四八	六、三〇一
ゴムタイヤ	全 國	四八、三三擔	三、八五八	四九、六四九擔	五、二七四
	阪神兩港	四六、九六八	三、七四四	四九、四五六	五、二五七
其 他	全 國	一、〇八五	一、〇八五	一、〇八五	一、〇八五
(玩具ヲ除ク)	阪神兩港		八七四		一、〇四六

ゴム製品輸出に王座を占む阪神兩港本年のこれら輸出額(ゴム製玩具を除く)は八百七十一萬四千圓にして前年に比

べると三百八十八萬八千圓の減少であつた。

ゴム靴 近時輸出ゴム製品中最も著しき發達したるは本品であつて主として阪神に生産され其の種類はカンバスシューズ、帆布シューズ、總ゴム其他に及び主仕向地たる印度、支那其他南洋諸市場の文化發達に従ひ今後益々輸出伸張の氣運があり其の安値なる點、輕快なる點においてスポーツ用としては勿論の事其他熱帯地方においては事務用としても甚だ歡迎され居る由であるが只こゝに注意すべきは本邦業者間の無統制なる價格競争と其の結果品質の低下による折角の對外信用を失墜せしめざる様努力すると共に各國の關稅引上に對して益々生産方面其他の合理化を以て進むべき點であらう。

本年わが阪神兩港の輸出は前掲の如く數量九十九萬二千五百餘打、價額四百九萬六千圓にして前年に比し數量四十萬打、價額二百二十萬圓餘の減少を見たがこれ不況持續による一般大衆の購買力減退關稅關係もあつたであらうが主因は日支紛争による對支輸出の不振にあつたと思はる。

ゴムタイヤ 本品亦主として阪神兩港より輸出さるものであるがその大部分は神戸ダンロップの製品で純本邦工品は未だ少い様である。

本年の輸出は數量四萬六千九百五十八擔、價額三百七十四萬四千圓で前年に比し數量二千四百擔餘、價額百五十一萬三千圓の減少であつた。

これ主仕向先たる支那、海峽殖民地、蘭領印度方面への輸出が一般不況其他の事情から不振なりしに因る。

其他ゴム製品 一般品としてはパッキング其他工業品を主とし醫療用品、其他海水帽、浮袋等玩具を除いた總てのゴム製品が含まるもので本年の輸出額八十七萬四千圓前年に比し十七萬二千圓の減少を見たが一般不況のためである近年本邦ゴム製品の海外市場進出甚しく販路も著しく擴大し來たつたが嘗て他の輸出雜貨にもしばしば見た如く本邦製品同志の賣込競争から無益の同志討がなされ且品質低下を伴ひて海外市場の本邦品に對する聲價を失墜せしむる様な事が尠くなかつた様で關係者の間でこれが對策は種々講じられて居たが既存の神戸ゴム工業組合の外に新に設立された大阪ゴム工業組合、廣島ゴム工業組合が相寄り日本ゴム工業組合聯合會(十月五日設立認可)を組織し全國的

統制機關として

- 一、輸出検査及規格の統一
- 一、生産調節及濫賣防止
- 一、販路開拓及共同販賣

を其の事業として計畫し先づ其の第一歩として輸已向總ゴム靴及ゴム底布靴の統制を研究しつゝある様であるから今後は過去におけるが如き無益の競争及其による品質の低下も防止され大いに我製品の聲價を高めることと思はる。尙最後に本邦輸出カンバスマシューズの將來に對して是非とも考慮し置かねばならぬことはわが主要輸出先の一なる印度に外國資本家による靴工業の設立計畫である。

即、カルカッタ日本商品館の報告によると世界的製靴業者たるチェコ國のトーマス・パーチャ氏により印度甲谷陀郊外十里の地點に約一萬一千坪の土地建物を借り入れ世界的製靴工場を作り安價なるキャンバスマシューズを多量に生産、印度三億の大衆に穿靴の習慣を教養すると同時に現今印度其他市場における邦品を驅逐せんとせる計畫である。

自轉車及部分品 (ゴムタイヤを除く)

全	六 年	五 年
阪神兩港	三、二七〇千圓	三、九二〇千圓
	三、〇六六	二、七〇〇

阪神兩港本品の輸出額は三百八萬六千圓を見不況時に拘らず前年に比し三十七萬六千圓の増加を見る盛況であつた本品の輸出は前表にて知らるゝ如く其の殆どが吾が阪神兩港にて輸出されるもので主要輸出先は蘭領印度、英領印度支那、海峽殖民地等未だ交通の便充分ならざる東南洋の諸地域である。されば此等諸地方の最近における道路の發達と交通機關の不備は輕快にして然も安價なる本品を小交通機關としての需要著しくために本品の輸出は年と共に増加の傾向に在る。

殊に此等地方は概して農業國である關係上世界的不況による農作物價下落に因る一般大衆の購買力減は必然的安價なる邦品の需要を喚起することとなり部分品輸出を主とする本邦品は英、獨其他の外國品に伍して大いに氣を吐くに至つた。

然しながら本邦業者にとり反省すべきは他の雜貨類輸出においても過去に於いて見られた如き徒らに自己的利益のみを走り其の結果本邦品の將來を案ぜしむる如き濫賣競争の防止であらう。

幸にして自轉車輸出工業組合設立されこの點大いに心掛け居らるゝ事は本邦品輸出の將來に對し心強さを感じる。本年の輸出かく順調を見たるは主任向先たる英領印度、蘭領印度、海峽殖民地への輸出が前年に比し激増せるにやるもので對支輸出は日支紛争のため遺憾ながら多少減少せざるを得なかつた事次表の通りである。

	六 年	五 年
支 那	六、九六千圓	七、四五千圓
關 東 州	一、五八	二、二五
英 領 印 度	九、三三	七、四九
蘭 領 印 度	九、三三	六、六六
海峽植民地	二、五八	一、九一

而して本邦品の輸出は主として部分品に力點を置けること前述の通りであるに反し歐米品は概して完成車に主力を注げるが最近の如き不況時代には割高なる完成車の輸入は取扱商が喜ばず有利なる部分品の輸入に移りつゝある由で自然本邦品の如き割安なるものに對する需要の喚起は今後旺盛を極むることと察せらる。

帽 子

全	六 年	五 年
國	三、二七、六九打	一〇、〇五二千圓
	一、五九、〇四打	九、六四〇千圓
	六九	六九

阪神兩港

二、一九、七五九

一〇、四二七

一、五〇、九三三

九、二五六

阪神兩港本品の輸出は數量二百二十萬打弱、價額一千四十一萬七千圓を見前年に比し數量六十一萬八千打餘、價額百十六萬一千圓の増加を見たが之主として模造パナマ帽の輸出激増せしに因る。

模造パナマは輸出帽子中の花形たる觀あり主として米國及歐洲方面に向けらるるのであるが本年はその單價安と前年の輸出減に因る反動もあつて年初より對米輸出旺盛を見た、前年に倍増するの好成績を挙げたのであつた。

麥稈帽亦同様の理由から歐米に輸出増加し結局前年に比し著増を見たが布帛、フェルト其他の帽子は主として東南洋を其の市場とせる處、日支紛争による支那の未曾有の排日貨、印度の關稅増徴、英國の金本位停止に伴ふ磅貨の下落並其の生産品の東洋市場進出策に壓せられ輸出何れも前年に比し減ぜざるを得なかつた事実表に見る通りである。

阪神種別帽子輸出高

布帛	三、九、六四打	六、四、二一三	四、五、六六打	九、四、三三圓
フェルト	一、六、三三九	八、五、三	二、四、一一三	一、五、八八
模造パナマ	一、一、〇、七〇〇	四、三、七	一、九、八四二	二、八、九
其他	一、三、五、三六	七、二、三六	五、一、三六	四、三、九六
其他	二、〇、〇〇〇	一、三、八	二、五、八二四	二、〇、三九

鈕釦

貝鈕	全 國	一、三、〇、七、六〇哥	三、七、六、三、四圓	三、七、六、三、四哥	四、六、八、四、四圓
其他	全 國	二、八、四、〇、六〇六	三、六、九	一、三、六、二、五八	四、六、三、五
其他	阪神兩港	—	八、九二	—	九、三、五
其他	阪神兩港	—	八、二	—	九、二九

阪神兩港本品の輸出額四百五十七萬二千圓にして前年に比し約百萬圓近くの激減を見た。本品には金屬製、磁硝製、貝製と其の種類多様に亘るも輸出多きは貝製であり其の主産地は大坂及其の附近である關係上その大部分は阪神兩港より輸出を見居ること前表の通りである。本年は打續く世界不況の深度を高めたる外に英國の金本位停止、日支紛争により排日貨運動の従前になき激烈を見たる年とて東南洋、歐洲方面に對する輸出頗る不振を極め前表の如き結果を見るに至つた。

刷 子

齒 用	全 國	一、九、五、〇、七哥	一、四、一、七、一圓	一、九、七、五、四哥	一、四、五、四、四圓
其他	全 國	一、九、一、五、五〇	一、四、〇、七	一、六、六、三、七	一、四、四、三
其他	阪神兩港	四、四、九、九打	八、三三	七、三、五、三	一、五、一一
其他	阪神兩港	四、四、六、四	八、元	七、三、九、二	一、四、三三

齒用及其他刷子類の本年阪神兩港の輸出額は二百二十四萬六千圓にして前年に比し約七十萬圓の激減であつたが此齒用以外刷子類が輸出減に因るもので齒用刷子の輸出は割合に順調なる途を歩んで來たもの、如くである。

即ち本年齒用ブラシの輸出は數量十九萬一千五百五十哥、價額百四十萬七千圓を見前年に比し數量五千餘哥、價額三萬圓の減であつた。

本品は其の過半が對米輸出向なる處本年の對米輸出は世界的に一般不況の折柄にも拘らず極めて順調を續け否前年に比し著増を見るに至つたに因る。

而してこの原因としては前年における米國の本品輸入が關稅の増徴、滯貨品の持越で激減せる反動として本年に入るや極度の品拂底を見た結果輸入の増進を見たものと思はる。

尙對英輸出も數量において稍々前年に比し減じたるも價額においては反つて増加する有様で好調であつた、然しな

から流石對支輸出は不況と日支紛争の餘波を受け輸出著減した。
 其他齒刷子の輸出は數量四十三萬四千六百打餘、價額八十三萬九千圓で前年に比し數量二十八萬七千六百打、價額六十二萬四千圓の激減を見た。
 これ本品は髪用、机用、衣服用の各種に互るもので前記齒用刷子に比し割合に必需性なきものが多い關係上不況による需要減が一層之に甚しかつたものと思はる。

玩具

全 國	六 年	五 年
阪 神 兩 港	九、八四、千圓	二、九、九、千圓
	三、四、六、	四、六、一、

本年阪神兩港の本品輸出額は三百四十三萬八千圓を見前年に比し百十六萬三千圓の激減であつた。
 元來本品は主として大阪、名古屋、東京地方で製産され其の種類はセルロイド製、ゴム製、金屬製其他多様に互るもので本品の性質上他品に比し割合に景況に左右せらるゝこと尠くして進み來たつたのであるが本年は世界的不況が一層其の深度を極めたと英國の金本位停止による磅貨の下落、日支紛争による排日貨運動の激化等の悪材料が續出し其結果前記の如き激減を見るに至つた。
 而してその仕向先に至りては殆ど世界に行き亙つて居るが主仕向先は米國、英國、英領印度其他南洋の諸市場で對支輸出は同國に近時玩具工場も出來且國產奨勵を大いにやつて居る様であるから今後とも見込薄の様である。
 輸出向として多いのはセルロイド製品、ゴム製品、金屬製品等であるが殊にセルロイド製品に至りては其の仕上、品質優良にして外國品に比し敢へて遜色なき状態である。
 ゴム製玩具並金屬玩具は近來我國にも非常に優秀なのが製造さるに至つて居るが獨逸、アメリカの製品が昔より定評があり自然賣行も之に押され勝の様である。

阪神兩港品種別輸出額(單位千圓)

	六 年	五 年
セルロイド製	五、四、	九、三、
布 帛 製	三、五、	四、三、
金 屬 製	六、七、	七、七、
陶 磁 器 製	三、六、	五、
ゴ ム 製	六、三、	九、三、
木 製	一、七、	五、
其 他	一、三、五、	一、六、五、

第三章 重要輸入品概況

米 及 粃

全 國	六 年	五 年
神 戶 港	二、〇、九、七、千擔	三、〇、〇、〇、千擔
	五、六、	九、七、
	一、七、九、	一、九、五、三、千圓
		五、五、五、三、

前年度本邦米産六千六百萬石と未曾有の増収を見ただけに本年度外米の輸入は著減主として製菓材料其他工業用としての僅少の輸入に止つた。
 阪神兩港本年の輸入を見るも數量五十三萬擔、價額百七十九萬圓にして之を前年に比べると數量三十八萬擔、價額三百七十六萬四千圓の激減であつた。
 而して本年輸入を見たのはシヤム、米國米にして殆ど原料用粹米が大部分を占め精米、玄米は極少量であつた。

外米として主たる西貢米及ラングーン米は依然輸入制限のため殆ど入らなかつた。
 本邦需給状況 本年度需給の中心をなす五年の米穀實收高は六千六百八十七萬石で前年度に比し七百三十一萬石の増収であり輸入亦千四百四十八萬石により前年より二百八十八萬石を増した。
 蓋し外米は輸入制限と輸入税引上で四十萬石餘の減を見たが朝鮮米、臺灣米の移入は彼地増産關係で著増を見前年の持越高を合すると總供給量八千四百八萬石となつたが之に對し需要方面は政府米其他の輸移出による百九十六萬石を差引くも七千二百九十七萬石となり翌年への繰越九百十四萬石となつた。

昭和六年度米穀需給

前年度持越米	五、七九千石	輸	一、九六〇
産額	六、八五八	出	七、九七七
輸入	八三〇	計	
朝鮮米移入	七、九三三	翌年への繰越	九、一四〇
臺灣米移入	二、六三三		
再輸入	一		
計	八四、〇七一		

小 麥

全 國	六 年	五 年
阪 神 兩 港	一三、〇四〇千擔	八、〇三三千擔
	二、七一九	一、三九五
	三、三三六千圓	四、五五九千圓
	七、三三三	七、一〇四

本年阪神兩港の外麥輸入は前掲の如く數量二百七十二萬擔弱、價額七百二十三萬圓で前年に比べると數量百三十三

萬四千擔の激増でありながら價額は僅々二萬六千圓の増額に過ぎず本年外麥市價の低落が如何に甚しかつたかを示して居る。

然り本年は世界不況の深刻化に加へて世界小麥市場が其の供給過剩に悩み或はロシアのダンピングとなり或は聯邦農事局の買付失敗となりて八月の市俄古相場は遂に四十仙といふ未曾有の安値を出し自然内地市場も此が壓迫を受け十月には三圓六十錢に迄漸落平均前年より一圓九十錢安を見た。

而して本品は主として米國、加奈陀、濠洲より輸入さるものであるが本邦製品が主として對支輸出向である關係上割高な米國品の輸入は逐年減少し割安なる加奈陀、濠洲品の輸入が之に代りつゝあつたが本年は加奈陀小麥の生産が前年度に比し三割餘の激減を來たし輸出餘力の減じたところへ前年度の豊作で輸出力の増加せる濠洲小麥が爲替關係の有利と相俟つて前二者に比し著しく割安に輸出オツファアされた等の關係から米國、加奈陀殊に米國よりの輸入激減にも拘らず濠洲よりの輸入は著増を見た。

海外小麥市場 六年度世界小麥の生産高は總額四十六億三千八百八十七萬ブツセルにして前年に比し約一億五千九百萬ブツセルの減少で自然主要生産國の小麥輸出餘力も著減を見たわけであるが主要需要國の消費減少が尙其以上に達したので結局持越高は四億六千七百萬ブツセルとなり小麥市價を著しく軟弱ならしめたが下半年期において各生産國の小麥凶作豫想とロシアの小麥ダンピング解消により市場不況の重壓がやゝ軽減されたかに見えた。

東京市場小麥平均相場(單位圓、百斤建)

	六年度	五年度	六年度	五年度
一 月	四・五四	七・四三	七 月	三・八〇
二 月	四・四六	七・三三	八 月	三・七四
三 月	四・四四	七・二七	九 月	三・六一
四 月	四・五五	七・〇〇	十 月	三・六〇
五 月	四・四四	六・五五	十 一 月	四・〇〇
				四・六九
				七五



六 月 三・七 五・〇 十二月 四・三 四・四
 因に本年度本邦の小麥收穫高は六百四十萬五千石にして前年度に比し二十八萬石(四分六厘)の増加、過去五ヶ年平均收穫高に比し二十四萬七千石(四分)の増加であつた。(農林省發表)

大豆

全 國	九、一五、〇〇四擔	二七、八八千圓	七、一五、二四擔	二、六四、〇〇〇圓
阪神兩港	一、四二、一六六	五、〇〇〇	一、二九、九五二	六、二二五
大阪	九、一五、〇〇四擔	二七、八八千圓	七、一五、二四擔	二、六四、〇〇〇圓

阪神兩港本年の大豆輸入は數量百五十四萬二千擔、價額五百萬圓餘で前年に比し數量四十萬擔餘の増加であつたが價額は市價低落のため反つて百十萬圓近くの減少であつた。
 本品の用途は味噌、醤油、製油、豆腐其他食料、飼料、肥料と廣範圍に互るものなるが本年は本品の出廻期に入るや恰も滿洲事變による銀價の奔騰、及び英國の金本位停止及び内地財界の不安定のため一時取引杜絶の姿に陥つたが其後産地の銀建相場が大勢に順應して低落せること、買控への反動もあり且本邦の金輸再禁見越による買進等がありかく増加を來たせるものと思はる。

東京市卸賣相場(滿洲白大豆中一石)
 一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月
 五、〇〇〇 五、三〇〇 五、四〇〇 五、三〇〇 五、一〇〇 五、二〇〇 四、九五〇 五、〇〇〇 四、七〇〇 四、六〇〇 五、一〇〇
 (東洋經濟調)

大連海關大豆輸出高 大連海關により本年の大豆輸出高を見ると數量二千二百八十三萬擔、價額八千六百七十五萬五千海關兩のものが日本、支那を初め其他諸外國に向けられ居ることとなり前年に比べると數量四百五十萬擔餘、價額一千七百十九萬六千海關兩の激増を見て居る。

而して注目すべきは本年の輸出は各國に對し何れも増加せる中に殊に支那向の輸出激増を見たることでこれは事變來支那鐵道による河北への輸送が停止したに加へ從來營口へ搬出された貨物が結氷期切迫と共に漸次大連に廻送されるものが激増せるによるが又産地の銀建相場が大勢に順應して低落した事と且南支筋は銀建にて取引する關係上銀高の影響が取引に及ばなかつたため南支向輸出が増大したものと見らる。
 尙参考のため本年海關を通じての大豆輸出高を見ると左の通りである。

日 本	香 港	英 國	其 他	支 那	合 計	前年同期
五、八五、九六元	四、七、九六七	二、三三、〇〇四	一、〇五、七一九	三、〇九、一五五	三、一八、〇二五	一八、三三、二四三
(備考 大連商工會調、單位擔)						

鳥 卵

全 國	二、三六、六二擔	三、六〇千圓	九、三六二擔	二、八七千圓
阪神兩港	二、二七、七三〇	三、五三三	八〇、五五元	二、四四三

阪神兩港本年の鳥卵輸入は數量十一萬九千擔、價額二百五十二萬三千圓で前年に比べ數量三萬八千擔、價額九萬圓の増加であつた。

本品は其の殆ど支那より供給せらるるもので從來内地鶏卵の補充的意義から其の價額の割安なる點を以て輸入され居たるところ最近においては内地卵に比し價額割高であり且内地養鶏界の發達で輸入卵を要せざる状態から其の輸入は逐年減少の傾向にあつた處本年は内地卵に比しかなり割安であつた關係から本品の輸入が促進され結局上記の如き増加を見たものと思はる。
 即ち左表商工省調査全國十四都平均相場において見らる如く上半における内地卵と支那卵の價開は二圓乃至三圓を見せて居る。

尤も十二月においては内地卵の供給増加による價額暴落で支那卵はかへつて上廻りをした。

鶏卵卸賣相場(單位十貫、全國十四都市平均)

月	内地卵		支那卵	
	單位	價額	單位	價額
一月	二圓五	一七・元	一八圓五	一五・三
三月	二圓五	一七・元	一八圓五	一五・三
六月	二圓五	一七・元	一八圓五	一五・三
十月	二圓五	一七・元	一八圓五	一五・三
十二月	二圓五	一七・元	一八圓五	一五・三

本邦養鶏界 豊林省發表の統計に依ると六年六月末現在の本邦養鶏概況は飼養戸數三百三十一萬戸、飼養總羽數五千二百五十八萬羽餘の多きに達し前年に比し五百八十七萬餘羽の激増で右期日前一ヶ年間の總産卵數は三十億八百二十四萬餘個其の價額七千二百七十七萬圓で前年に比し三億五千三百七十萬餘個の増加を來たしたが二百萬圓以上の産卵額を見た府縣は愛知縣を筆頭に静岡、千葉、大阪其他合計十一府縣に上つた。

府縣	飼養戸數	總數	産卵	
			數量	價値
愛知縣	一〇八、九九三	五、三三七、七〇六羽	四四〇、二九、二五個	一〇、四四、千圓
静岡縣	八五、八三九	二、〇六八、四〇六	一五三、九八、六九三	三、六四
千葉縣	一五三、六九六	二、四六六、三四四	一三〇、三〇、三〇〇	三、五〇〇
大阪府	五〇、六九六	一、三四八、二四九	九〇、二一、二四八	二、七六五
兵庫県	一〇九、一三三	一、七四四、四一七	九九、七〇、三三八	二、五八六
神奈川県	五〇、九三三	九三三、〇〇五	五五、八〇、八七六	二、六四〇
福岡縣	一八、八五一	一、九九九、六四九	八九、二五三、二五〇	二、四九九
鹿児島縣	一八、五六七	二、五二〇、五二八	一〇九、五〇、九〇八	二、三三四

府縣	飼養戸數	總數	數量	價値
茨城	一五七、五二四	一、八九九、六九五	一三三、六八、一三三	二、三三五
長野	八八、四八一	一、六一、八〇七	八五、六九、二三三	二、〇〇九
群馬	九四、六三七	一、三〇〇、三三五	八七、三〇、二九〇	八、〇八九

前表にて其の一端を知り得るが如く我國近時の養鶏界發達は實に目覺ましきものがある。而も昨年中における斯界は一般財界が極度の不況で憫み居たに拘らず卵價高と飼料安から萬丈の氣を吐いた。而して昨春の米價暴落を初め各種農産物の暴落は農村副業としての養鶏事業に著しき發展を來たせる模様であつたがこの反面主要生産物たる鶏卵の消費は其の割に増加せず年末漸く生産過剩から卵價暴落を見るに至つた。上海卵輸出事情 本年支那の輸出は各品に互り著減したが其の中でも上海卵の減少は割合に微弱の方であつた。而して本年は蛋黃粉及蛋黃液等の輸出は減じたが砂糖漬及鹽漬は著増せること左表の通りである。

品名	五年		六年	
	數量	價値	數量	價値
卵白粉	一七、三六擔	二、五四〇擔	二〇、八五一	三、〇八一
卵黃粉及卵白黃粉	三、三三三	三、六四、五五圓	四、七六二	四、七六二
冷凍卵	四〇八、六七一	四、七六二	四、七六二	四、七六二
卵黃液	四、三〇〇	五七、一六	五七、一六	五七、一六
新糖	三三、九三、〇六個	二〇五、八七、〇七個	三三、九三、〇六個	二〇五、八七、〇七個
砂糖	一、八二、六四七個	三、三七四、六二四個	一、八二、六四七個	三、三七四、六二四個
鹽漬	七、五〇〇個	一、二一、七〇〇個	七、五〇〇個	一、二一、七〇〇個

而して本年支那卵の輸出は米國、マニラの輸入税引上による同地方方面への賣行不振並香港における米品の進出、ロシア品の出現、輸出税の引上から割合に不振であつた。尙市價は世界的不況による需給減のため内外市場において著しく前年に比し低下した。支那各市場における市價は左の通りで上海市場最も高位にあつたが而も前年に比しかなりの低下を來たして居た。

上海	一九三〇年	二〇一三〇	一九三一年	一七五〇二〇
漢口		一五一八		一五一七
青島		八一三		二七一八
奧地		一六一九		一三一六

備考、(中國經濟週刊に據る、單位百封度)

牛 肉 (生)

全 國	六 年	三、七六六擔	八、六四〇千圓	五 年	三、七六六擔	八、三〇〇千圓
阪神兩港		二九一、四二九	七、八三四		二、三三三擔	六、九九九

本年阪神兩港本品の輸入は數量二十九萬一千擔餘、價額七百八十三萬四千圓で前年に比し數量二萬八千擔、價額八十五萬六千圓の増加であつた。

これ打續く不況のため安價なる青島肉、蒙古肉の需要増加に因る輸入商の買進みと見らるべく内地肉と青島肉との市價開きは後にも示せる如く上半において可成りの差を見て居た。

而して本邦牛肉黨に馴染の深い青島肉は從來から兎角彼地官憲の好餌にされ易くためによく問題を起すもので本年も亦滿洲を追はれた張一派の財政援助から不當な課税をなすことから問題を起こし一時輸出の見合せがあつた如く年末輸入の著減を見たのはこれら事情が大いに影響したものと思はる。

備考 七、四、十五、日本飲食料新聞所載によると滿洲を追はれた張學良に財政の援助をするため韓復榘氏が昨秋十月から突然輸出牛一頭につき公式特許税八元十仙、非公式臨時特許料一元五十仙合計九元六十仙の不當課税を強要せるため問題となり輸出組合は強硬なる反對運動を續け爾來輸出を見合せて居たが此程漸く省政府が折れて出て特許税二元一仙引下げることとして問題は落着した、と。

尙濠洲より輸入を見る冷凍肉本年の輸入はこれら安價肉に押され減少した。

最後に商工省調査による神戸市場における青島肉と内地肉の市價を見るに其の値開きは年初來可成り大なるものがあつたが下半年殊に十一月、十二月に入るや其の開きは著しく狭められて居るのが知れよう。

神戸市場における卸賣市價	青島肉	内地肉
一 月	一八四・五錢	三四三錢
三 月	一七・五〇	三三・三
六 月	一七・〇〇	三〇・七〇
十 月	一九・五	二八・八三
十 一 月	二〇・七五	三〇・〇〇
十 二 月	二二・七五	三〇・七

(備考 商工省官房統計課調査、單位十貫)

採油原料種子

全 國	六 年	三、七五、九五擔	一四、三三〇圓	五 年	三、三〇、五六擔	一四、五〇〇千圓
阪神兩港		一、九三、〇四六	六、九六		一、五五、四四三	一〇、七九

阪神兩港本品の輸入は數量百七十九萬二千擔、價額六百九十六萬五千圓にして前年に比し數量十四萬三千擔、價額三百七十六萬四千圓の減少であつたが此本品製品の内外における需要不振と主原料供給地たる支那が長江沿岸大洪水と滿洲事變による排日の熾烈を極めたため輸入に著しき障害あつたに因ると見らるべく印度産棉子は英國の金本位停止による原價安から可成り輸入促進された模様であつた。

阪神兩港主要品別輸入高

品名	六年	五年
胡麻子	九七、五五〇	七、四九〇
荏胡麻子	二三四、五〇〇	一八二、〇七〇
菜子	一九二、〇〇一	三九二、五五五
芥子	二、七三二	二、八五四
亞麻子	三、五三六	八、七九
蓖麻子	二八、九六六	八一、五〇九
棉子	六八、四三三	九四〇、一〇三
合計	六三三、千圓	五、六千圓

本品中輸入額多きは棉子、菜子、荏胡麻子であるが而も本年は前表に明かなるが如く荏胡麻子を除いては何れも數量、價額共に前年に比し著減したがこれ主要地支那産の供給減に因る。
亞麻子の輸入は前年に比し稍々増加したがこれ製油の賣行良行なりしに因るべく胡麻子、荏胡麻子、亦同様増加した。

牛皮及水牛皮

品名	六年	五年
全 國	二八、五九六擔	一九、五四擔
阪神兩港	一五、二四三	一五、〇三三
合計	五、七二〇圓	七、三〇〇圓

阪神兩港本品の輸入は數量十五萬一千二百擔餘、價額三百九十五萬九千圓にして前年に比し數量約二千擔、價額二百三十三萬二千圓の減少であつた。

本品は主として糝革又は調帶原料として用ひらるるもので我國生活様式の歐米化に伴ひ本品生産能力に乏しき本邦としては自然輸入逐年増加を見るの傾にあり主に支那、米國方面より輸入され居るが本年は日支紛争による支那よりの輸入が下半年期後は殆ど杜絶の状態を見たるに加へ不況による内需の萎縮から結局前述の如き輸入減を見るに至つた。而して一面近時著しきゴム靴の進出は本品の用途を可成り蠶食せる由である。

革類

品名	六年	五年
全 國	二、三九、二四斤	二、三六、六三斤
阪神兩港	一、三二、八八	一、九六、六三
合計	四、三、四八千圓	四、九、八千圓

阪神兩港革類の輸入は數量百七十三萬一千斤餘、價額三百二十五萬三千圓にして前年に比し數量二十四萬五千斤餘價額八十七萬九千圓の減少であつた。

本品は國産品を以つて其の需要を充し得るは全消費量の二割位にして大部分は米國、英國、獨逸、印度等より輸入さるるもので我國生活様式の歐化に伴ひ今後益々需要増加の傾にあるが本年は財界不況、英國の金本位停止による輸入採算不利等の影響を受け又一面我が國の製革工業發達による外國品進入の牽制もあり前記の如き結果を見たもの、様である。

生ゴム

品名	六年	五年
全 國	七、七、四三擔	五、七、三六擔
阪神兩港	五、五、五六	四、二、五五
合計	一三、二、九千圓	一〇、〇、九千圓

阪神兩港本年の輸入は數量五十三萬六千擔弱、價額九百四十一萬九千圓で前年に比べると數量十一萬四千擔の増加であつたが價額は本品市價が未曾有の慘落を見た年だけに反つて四百萬圓餘の減少を示した。
かゝる市價の激落を來たした原因は前年來の生産過剩に悩みながらも生産制限が諸種の事情から實現せずために本

年の生産高が前年と大差なかりしに拘らず消費は一般不況に累せられ改善のあとなきのみか米國の如き自動車の賣行不振から本年の消費減約二萬噸といはれ其だけ需給關係は著しき悪化を來たし紐育、倫敦、産地における各月の滞荷激増せるに因る。

倫敦リキリン商會發表による昨年のゴム需給統計を左に示さう。(單位千噸)

△積	出	高	一九三一年	一九三〇年
英領馬來及セイロン			四八五	五二九
蘭領東印度			二五五	三三九
其他栽培ゴム			四二	四三
ブラジル及野生ゴム			六六	三二
世界合計			七九七	八三三
各國純輸入高			一九三一年	一九三〇年
アメリカ			四七四	四七七
イギリス			八五	一三三
フランス			五〇	七
ドイツ			六	三
日本			四	三
其他			二四	一〇〇
世界合計			八三三	八三三
消費高			一九二八年	一九二九年
			六七	六五
			二九	六八
			三〇	六五
			三一年	六二
			(十一月迄)	

本品は主として海峡殖民地、英領印度、蘭領印度より輸入さるものであるが英領印度よりの輸入は生産減のため激減した。

産地事情 本年の馬來半島護謨積出高は五十萬噸餘で前年に比し二萬八千噸、前々年に比し五萬八千噸の減少で昭和二年來の増勢もこゝに一頓挫を來した。

馬來ゴム輸出高	再輸出高
六年	五九、七四〇噸
五年	五七、六二九
四年	五七、〇〇一
三年	四〇、六六二
二年	三七、三三二

蘭領印度六年の生産高は二十八萬八千噸で前年に比べ四萬六千噸の増加であつた。これ近年の記録的生産高を見た四年の夫に對しても尙三萬二千噸の増加であつた。

蘭領ゴム生産高	昭和四年	二六、〇〇〇噸
大正十四年	同	二四、〇〇〇
同十五年	同	二四、〇〇〇
昭和二年	同	二八、〇〇〇
同三年	同	二八、〇〇〇

本年の生ゴム市價は前述の如く需給の均衡破綻より慘落又慘落を續け斯界の將來に對し著しき不安を投げかけたが殊に六月の倫敦市場における二片三十二分の五の如きゴム市價始まつて以來の安値だと言はれるだけ原料ゴム界の受けた傷手は大きなものであつたらうと思はる。

倫敦ゴム價變動表(單位一封度シート現物)

昭和元年	最 高	四・四	最 低	一・五	二年	最 高	二〇・三	最 低	一・五
三年	一九・三	七・三	四年	三・三	八五				

昭和六年一月	五月	七月	九月	十一月	二月	四月	六月	八月	十月	十二月
八・ $\frac{3}{8}$	四・ $\frac{1}{8}$	四・ $\frac{1}{8}$	三・ $\frac{1}{4}$	三・ $\frac{1}{4}$	三・ $\frac{1}{4}$	三・ $\frac{1}{4}$	三・ $\frac{1}{4}$	三・ $\frac{1}{4}$	三・ $\frac{1}{4}$	三・ $\frac{1}{4}$
三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$
四・ $\frac{1}{2}$	三・ $\frac{1}{6}$	三・ $\frac{1}{6}$	三・ $\frac{1}{6}$	三・ $\frac{1}{6}$	三・ $\frac{1}{6}$	三・ $\frac{1}{6}$	三・ $\frac{1}{6}$	三・ $\frac{1}{6}$	三・ $\frac{1}{6}$	三・ $\frac{1}{6}$
三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$	三・ $\frac{3}{8}$

硫 安

本邦本年の外國硫安輸入は數量三百七十三萬六千擔、價額千五百八十六萬一千圓にして前年に比し數量百三十一萬四千擔 價額一千三百七十六萬三千圓の激減を來たしたが此内地硫安の増産のため外國硫安の供給が内地産不足分に對する補充的輸入とあつたこと並に採算に妙味がなくなつたことに歸因するが尙之が反面の理由として農村の不振、農産物の價額低落による肥料の需要減も考へらる。

本品は主に獨、英から供給を見るものであるが本年は上記理由から何れも前年に比し減少した。

生産狀況 六年の硫安生産高は内鮮を合して六十萬一千噸であつて前年に比べると六割餘の激増であつたが一方消費高は朝鮮、臺灣を合せると約七十七萬噸に達した様で自然この不足分補充の意味から外國硫安の輸入を見たが従つて輸入は前年に比し激減を見たのは發展著しき本邦窒素工業の現勢から見て當然の事であらう。

尙巷間傳ふる所に據ると七年度硫安生産豫想は七十七萬噸、八年度は九十五萬噸の由で本邦硫安の消費面において激増の事情なき限り今後外國硫安輸入の餘地は殆ど無之に至るものと思はるべく業者亦其の目的を以て進みつゝある

ものであらう。

硫 安 生産 高 表

六年度實産		七年度豫想	
日本窒素	二二、九三噸	一一、〇〇〇噸	二、〇〇〇噸
昭和肥料	七、三六三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大日本人肥	四七、七五二	三、一〇〇	三、一〇〇
三池窒素	五、五九四	一、八〇〇	一、八〇〇
タロード式	四、八七〇	一、五〇〇	一、五〇〇
住友肥料	二八、九四二	二、八五〇	二、八五〇
電氣化學	五、三三六	三〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇
大同肥料	五、七七七	九〇、〇〇〇	四九、六〇〇
北越水電	一、五〇〇	五、〇〇〇	二、四〇〇
計(合成硫安)	三、五〇〇	四、一〇〇	二、七〇〇
(備考 日本化學工業新聞七、四、十五所載)			
各地瓦斯	九、八六噸	二、〇〇〇噸	二、〇〇〇噸
製鐵所	一一、〇三三	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三井鐵山	二、五〇一	三、一〇〇	三、一〇〇
釜山鐵山	一、六五四	一、八〇〇	一、八〇〇
輪西製鐵	一、五六四	一、五〇〇	一、五〇〇
計(副成硫安)	二六、六三〇	二八、五〇〇	二八、五〇〇
内地硫安計	三〇、〇〇〇	四九、六〇〇	四九、六〇〇
朝鮮窒業	三、八七一	二、八五〇	二、八五〇
三菱製鐵	二、四三五	二、四〇〇	二、四〇〇
朝鮮硫安計	三、二六六	二、七〇〇	二、七〇〇

市價 世界的不況による農産物安のため農村の疲弊は他部内に比し殊の外甚しくするために本品の市價亦業者の必死的努力が種々拂はれたにも拘らず大體に軟弱を續けた。

只年末には政府の交替による金輸出再禁止なる突發事情と輸入許可制實施のためや、恢復を見たが、而して前年市價に比べると平均約二割の低落であつた。

月	四年	五年	六年
一月	三九、五〇	一〇三、〇〇	五、〇〇
三月	一三、一〇〇	九、〇〇〇	八、〇〇〇
五月	一七、五〇	九、五〇〇	八〇、〇〇〇
七月			
九月			
十一月			
十二月			
一月			
三月			
五月			
七月			
九月			
十一月			
十二月			

月	六 年		五 年	
	数量	金額	数量	金額
七月	135,000	92,000	126,000	86,000
九月	110,000	81,000	109,000	81,000
十一月	111,000	90,000	109,000	71,000
八月		66,000	116,000	86,000
十月		88,000	109,000	81,000
十二月		88,000	109,000	71,000

棉 花

全 國	六 年		五 年	
	数量	金額	数量	金額
阪神兩港	21,270千擔	29,623千圓	9,573千擔	35,207千圓
	9,537	25,139	8,113	30,557

本年阪神兩港の本品輸入は數量九百五十三萬七千擔、價額二億五千三百三十二萬九千圓で前年に比し數量百四十二萬四千擔の増加、價額五百四十萬圓餘の減少を見た。
 而してかく輸入量の増加せるは増錘と金輸出再禁止見越輸入の結果と見らるべく本年中本邦紡績の運轉錘数は七月以降毎月六百萬錘餘を續け六年平均五百九十九萬四千三百四十三錘で前年に比し六千四百萬餘、前々年に比し十二萬萬の増加である。

本邦紡績運轉月別錘數

月	五 年		六 年	
	錘數	金額	錘數	金額
一月	6,390,323	5,654,530	6,330,398	5,649,904
三月	5,920,323	5,699,399	5,923,965	5,744,888
五月	6,074,454	5,806,401	5,988,300	5,877,733
七月	5,744,055	6,088,687	5,761,427	6,088,140
九月	5,700,681	6,144,768	5,699,587	6,137,426
十一月	5,677,055	6,055,211	5,655,309	6,048,010
平均	5,878,894	5,904,343		

本邦の棉花消費は紡績業の發達による細番化のため漸次印棉から米棉に向ひつゝあるが殊に本年は印度内地における印棉消費の増加及び印棉凶作氣構へによる輸出力の減少と爲替關係から常に米棉に比し割高であつたため米棉への買進み甚しく、金再禁止見越による思惑買もあり米棉の輸入著増を來たした。
 而してこれ米棉が世界不況による供給案じから割安を續けたことが大いに本邦の輸入を促進せしめたものと思はる

本邦國別棉花輸入額

支 那	六 年		五 年	
	数量	金額	数量	金額
支 那	73千擔	17,366千圓	70千擔	21,965千圓
印 度	4,808	13,323	4,755	14,868
米 國	5,321	15,371	3,833	16,801
埃 及	287	2,699	183	2,592
其他 共 計	11,157	29,623	9,573	35,207

世界棉作事情

米棉 一九三一—三二年度の米棉收穫は好氣候に恵まれ作柄優良で意外の生産増加を來たし全收穫千三百五十萬乃至千四百萬依との豫想を裏切り一九三一年十二月八日の公表數は千六百九十一萬八千依の多額に達し前年度に比し約三百萬依の供給増加となつた。
 一九三〇年來米棉の市價著しく低廉なるため一般に棉花の生産制限は斷行さるものと見られ居た所事實は前記の如き増収で市況の改善は他に需要の激増事情なき以上見込薄といはれて居る。
 支那棉及ロシア棉 支那棉收穫は一九三一年一九三〇年に比し耕作面積も著しく減少收穫も「四七八」ポンド入り二、四八三、〇〇〇依に過ぎず一九三〇—三一年度の三、二九〇、〇〇〇依に比し八〇七、〇〇〇依の減少を來たしたと傳へらるが一九三一年九月以來開始せる收穫は地方によりては尙完了に至らぬため支那總産額は不明。
 ロシア棉の本年度收穫については「四七八ポンド」入り三、五〇〇、〇〇〇依見當なりといはる。

インド棉 印棉は米棉に反し凶作で一九三二—三三年收穫最終豫想訂正數字の發表によると植付反別二三、五二二千エーカー、收穫高四百六萬四千俵(四百封度俵)で前年度に比べると反別九萬四千英町、七十七萬二千俵の減少である

エジプト棉 本年度は蟲害殊に著しく政府の公表によると全産額六、二〇〇、〇〇〇「カンタール」(「カンタール」は九九、四五「ポンド」)に過ぎず前年に比し一割の減少であつた。

本年本邦の埃及棉輸入は前年に比し激増したが之一面日本の綿製品工業の高級品製造化と埃及棉の米棉に比し割安なりしたため米棉に代用する方有利な事態生じたのとエジプトから日本への棉花運賃が各國汽船會社間の猛烈なる競争のため激落せることも日本への輸入を促進せしめた一因と思はる。

麻類

本年阪神兩港の麻類輸入は數量九十四萬五千餘擔、價額八百七十六萬四千圓にして前年に比し數量十七萬二千餘擔の増加を見たが價額は反つて百五十三萬七千圓の減少を見た。

本品は其の品質により硬質麻及軟質麻に分れ之が用途は前者はロープ及製紙材料、後者は麻布製造の原料となるものでマニラ麻、マゲイ、サイザルは硬質、亞麻、ラミー、及黃麻は軟質に屬す。

本年輸入状況を見るにマニラ麻は三月上旬製綱筋においてロシア向大口注文ありて活氣あり夏枯閑散期においても製品の荷動き比較的良好なりしたため輸入多く全国的に見ると前年に比し一割五分方の増加であつた。天津ジュート及南洋ものは價格安のため輸入増加した。

主要供給國は比律賓、英領印度、支那の諸國である。

マニラ麻の各地市況 産地は年を通じて二、三回の小反撥を見たのみで續落を續け最低年初の半位迄相場は下落し

全	一、〇〇、二五擔	六	二、四五千圓	五	一、〇二、八七擔	一四、五九千圓
阪神兩港	九四、三〇擔	八、六四	七五、二五	一〇、三〇		

た、生産亦前年に比し一割五分の減産であつた。主要輸出先たる米國は六月中旬不況對策として例の大統領の戦債モラ提案を見たるも結果はあの始末で本品に對する需要起きず六年に比し輸出半減した、英國は不況ながらも値頃から一進一退を續け前年に比し順調を見たるも例の金本位停止から爲替の動搖で不振となつた、本邦向輸出はこの間にありて最も成績よく日本向輸出高は各國を通じて筆頭であつた。

黃麻 一九三一年九月九日ベンゴール農務省發表による作柄最終豫想は五百五十五萬九千九百捆にして前年に比し五百六十九萬四千九百捆の激減であつた。

而して本年の市況は昨年來の在庫品豊富なる、海外における需要減のため價格軟調を辿りたるが下半期におけるベンゴール其他主産地における大洪水により被害大なりしたため九月頃より價額は引締つた。

苧麻—天幕、ズツク、蚊帳等の原料として年々支那から輸入さる本品は其の額年四、五百萬圓に達するがこは他の作物の利用出来ない瘠地でよく生育するので最近農林省の獎勵で全國二百町歩に互り栽培されて居るが未だ支那よりの輸入に俟たねばならない状態にある。

因に各月上旬におけるマニラ麻市價左の通りであつた。

一	二月	三	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
三、五〇	三、七〇	三、六〇	三、五〇	三、四〇	三、三〇	三、二〇	三、一〇	三、〇〇	二、九〇	二、八〇	二、七〇
三、五〇	三、七〇	三、六〇	三、五〇	三、四〇	三、三〇	三、二〇	三、一〇	三、〇〇	二、九〇	二、八〇	二、七〇

羊毛

全 國	六 年	一、四三〇千擔	八六、四六千圓	五 年	八六、七千擔	七三、六〇千圓
阪 神 兩 港		五九六	四、五二六		三三七	三〇〇五九

本年阪神兩港本品輸入は數量五十九萬六千擔、價額四千五百五十三萬八千圓を示し前年に比べると數量二十六萬九千擔、價額一千五百四十七萬圓餘の激増であつた。

本品は主として濠洲より之が輸入を見るものなるところ本年は濠洲政府の財政難による爲替暴落と價格安に惠まれ輸入採算有利なりし處へ英國の金本位停止による磅の下落並本邦の再禁止見越による思惑的買進みのために前記の如き輸入著増を見たものと思はる。

本邦國別輸入額

濠 洲	六 年	一、三三三、三三擔	八四、三〇三、三三圓	五 年	一、三三三、三三擔	七三、三六六、三三圓
ア ル セ ン チ ン		一九、四四二	九、六二七		一九、四四二	六、二二
其 他 共 計		一、四三〇、四四五	八六、四一六		六、七二二	七三、六二〇

前掲表の如くアルゼンチンよりの輸入は極めて僅少ではあるが前年に比し其の増加率は著しい。これ本年初彼地の有力輸出商が本邦を訪ね市場開拓に努力せしによるものと思はる。

尙羊毛輸入は殆ど濠洲獨占なる關係上濠洲商人の獨占的價額吊上等のために惱まされ居た本邦羊毛業者は五月下旬ケープタウン駐在山崎副領事の斡旋で濠洲より南阿に乗り移らんとしたが品質不良の上割高其他の關係からかけ聲に終つた様であるが此濠洲羊毛をかなり牽制し得たらうと思はる。

尙主として英國より輸入さるトップは本年は數量十四萬九千封度餘、價額十二萬四千圓餘で前年の數量五萬七千封度餘、價額五萬七千圓餘に比し著増を見たが此モスリン界が割合に順調なりしに因る。

濠洲羊毛 昭和五―六年度濠洲羊毛の産額は二百七十二萬八千依で前年度に比し稍減であるが六―七年度の豫想は

二百九十四萬二千依に上ると言はる。

尙五―六年度の賣行は二百六十六萬一千依と前年に比し十九萬依の増加であつたがこれ洲政府銀行の破綻や對英外債の支拂停止など同國信用の低下による爲替の低落並本年の毛織物消費が割合によかつた關係から前半に買付を躊躇せる諸國も後半において買進めためて就中本邦の買付高は前にも記せる如く著増を見從來英、佛、獨に次ぎ第四位か或はベルギーに次いで第五位であつたが五―六年は一躍第二位になり五十萬八千依に達した。

此實に前年度に比し二十二萬三千依の激増であつた。更に六―七年度は大體三百萬依の出廻りが豫想されるが賣行は到底前年通り好調を示すまいと見られて居る、蓋し全歐最大毛織會社の一なる北獨毛織會社の破綻、英國毛織會社の業績不良及本邦も實需以上の買付をなしたためと云はれ相場は先安を續くるものと見らる。

一九三〇―三一年度濠毛輸出高(單位依)

英 國	本年度	前年比較△減	本年度	前年比較△減
佛 國	八三、七、六〇	五、〇一六	五〇、八、四二二	三三、七、七二二
日 本	四九、九、〇三三	△九、〇三三	三、四、七、三六六	二、四、二、四九九
其 他 共 計	二五、三、三六六	△八、八八九	二、六、二、七六六	一、五、一、五五一

(備考) 日本織物新聞調査六、十、卅)
市價 メリノ七十番内地着値段は一月の二十三片半から四月には二十七片に騰貴したが九月には増産のため二十片に下つたが日本筋の買進みや、英國金本位停止による濠洲爲替の下落から十二月にはまた二十片に引返へした。

磷 礦 石

全 國	六 年	六、六六六、九三三擔	七、二二三、三三圓	五 年	九、五〇四、九三三擔	一三、〇三三、三三圓
阪 神 兩 港		三、三三三、七五五	三、一八七		四、三三三、四三三	四、七五五

阪神兩港本年の本品輸入は數量三百三十三萬二千擔、價額三百十八萬七千圓で前年に比し數量百六萬擔餘、價額百五十八萬八千圓の減少を見たが此本品の製品たる過磷酸肥料の賣行が農村疲弊のため不振なりしに因るもので人造肥料聯合會調査によると本年の過磷酸生産高は六十二萬五千噸にして前年に比し十四萬一千噸餘の増加を示しながら販賣高は七十八萬二千噸強で前年に比し八萬噸強の減少を示し又配合肥料においては生産高十九萬二千噸、販賣高二十二萬八千噸で前年に比し夫々一萬六千噸、三萬八千噸弱の減少を見た。

尙不當の競争を排し製品の地域的配給に冗費を省かんため組合設立の聲は前年來高かつた處五月五日商工省の認可があり磷酸肥料工業組合が組織され従來統制圏外にあつた住友、多木兩肥料も統制さるゝ事となつた。

因に本品は主として米國、埃及より輸入を見るものであるが本年は兩者とも殊に埃及よりの輸入は左表にて判る如く著減した。

國別本邦磷礦石輸入高

米 國	六 年		五 年	
	單位	價額	單位	價額
米	三五三、四四擔	二、九四九千圓	四〇五、三〇七擔	四、三〇三、千圓
埃 及	一、三三、六八	一、三九	二、三六、四九八	三、一五三
其 他	三〇三、〇〇四	二、八六	二、六三、二一〇	四、四九八
過磷酸相場(單位圓十九度半十貫呎入、東京工場渡)				
一月	一・六	一・三	一・三	一・七
二月	一・六	一・四〇	一・三	一・二
三月	一・三	一・四	一・六	一・〇
四月	一・四	一・三	一・七	一・〇
五月	一・四	一・三	一・二	一・〇
六月	一・三	一・六	一・二	一・七
七月	一・六	一・七	一・二	一・〇
八月	一・七	一・二	一・〇	一・七
九月	一・二	一・〇	一・〇	一・七
十月	一・〇	一・〇	一・〇	一・七
十一月	一・〇	一・〇	一・〇	一・七
十二月	一・七	一・七	一・七	一・七

木 材

全 國	六 年	五 年
	四三、三〇千圓	五三、〇四千圓

大 阪 港

一九一三

二〇、九八

阪神兩港木材輸入の大部分を占む大阪の本年本品輸入額は一千九百十萬三千圓にして前年に比し百八十七萬五千圓の減少であつた。

外材の輸入は之を全国的に見ると内地材の進出と打續く不況による消費減の結果漸減傾向を見せ居るが大阪港の輸入は漸次量的には増加の傾向がある之大阪が材木市場として益々重要地位を占め來れることを示すものであらう。

而して本品中花梨木、紫檀、チーク、鉛筆用シダー等の特殊材を除くと殆ど米材、沿海材、南洋材の三種であるが就中米材の輸入は採算關係から最も多く輸入材の王座を占めて居る。

本年米材の大阪港輸入は二百八十八萬石で前年に比し三十六萬石の増加で横濱、神戸、名古屋を含む全國四大港の輸入高六百萬石に對し實に其の五〇%近くを占めた。

右はダイヤモンドの調査によるものであるが如何に大阪が米材輸入市場として重要地位に立つかの一斑が知れよう尙北洋材の入荷は百八十一萬四千石といふ未曾有の數字を見たがこれ爲替安から輸出包装箱の商談が活潑となり需要増進せるためと云はる。

六年中大阪港各種材入荷數量(單位千石、北洋材以外は十月末迄、材木新聞に據る)

年	米 材	南洋材	沿海材	北洋材
四 年	一、四〇〇	一七	六〇六	一、五三〇
五 年	二、四三二	八九	六九九	一、二八三
六 年	二、四四〇	一六	四四四	一、八二四

本年の木材界は前年末武市木材會社破綻のあとをうけ輸入商筋の警戒甚しく年初前年末凋落のあとをうけかなり反動的強調を示したるも財界の不況深刻化から需要さまで擡頭せず一年を通じて見ると前年にも増して不況であつた。

大阪市場米松角材卸賣平均相場(單位尺)

年 月	六 年 一 月	三 月	六 月	十 月	十 一 月	十 二 月
	七、四	八、六	六、三	六、六	六、三	六、〇

本品は石鹼、殊に化粧石鹼の製造の主要原料たるが内地牛脂は未だ極めて少量で需要に應じ難き現状とて主として濠洲、北支より其の供給を仰げるものである。

尤も近年硬化油業の發達と石鹼の需要漸次高値物より安値物に移りつゝある關係上本品の用途は稍々縮少され殊に本年は財界の不況による石鹼業の不振も伴ひ本品の輸入減少を來たしたものと思はる。

阪神兩港主要國別輸入高

濠洲	六 年	八四、四七二擔	一、〇六千圓	五 年	七五、五三三擔	一、三、四九千圓
北支	六 年	一、五九九	三	五 年	一三、八二九	三〇三

前表の如く濠洲よりの輸入稍増加を見たがこれ同地が本年は適當の降雨あり、牧草繁り牛羊の發育よくために牛脂増産で單價低落せるによるもので北支よりの輸入激減せるは日支事變による出廻困難と割高なりしに因るものと見らる。

尙市況は前年末來安値唱へを續けたが九月英國の金本位停止來産地騰貴のため漸騰を續けた。

パラフィンワックス

全 國	六 年	三九、二四三擔	三、八四四千圓	五 年	三八、九三三擔	四、六四四千圓
阪神兩港	六 年	二二、九九〇	一、三三七	五 年	二四、八〇九	二、一九一

阪神兩港本品の輸入は數量十一萬二千擔弱、價額百六十二萬七千圓にして前年に比し數量三萬二千八百擔餘、價額五十六萬五千圓の減少であつたが此内地不況による製品の賣行不振によるものと思はる。

本品は主として米國、英領印度、蘭領印度より輸入され蠟燭、パラフィン紙、蠟燭寸製造原料として輸入さるものであるが最近國産パラフィンワックス、ステアリン蠟の供給あり殊に本年は不況深刻を極め本品製品の賣行も一般他

商品と同じく不振であつた關係上前記の如き減少を見るに至つたものと思はる。

荷性曹達、曹達灰及天然曹達

全 國	六 年	一、五九八、八三三擔	八、五〇千圓	五 年	一、七三三、二八四擔	八、九六千圓
阪神兩港	六 年	九五五、五三三	五、八七	五 年	九八一、四四九	五、八九

阪神兩港本品の輸入は數量九十五萬五千擔餘、價額五百五十八萬七千圓を示し前年に比し數量二萬六千擔、價額三十萬圓餘の減少を見たが此が内譯を見るに荷性曹達は數量五十八萬四千擔餘、價額四百三十七萬三千圓で前年に比し數量約八萬二千擔、價額三十六萬四千圓の増加を見たが曹達灰及天然曹達は數量三十七萬一千擔、價額百二十一萬三千圓で前年に比し數量約十一萬擔、價額六十七萬三千圓の激減を見た。

荷性曹達は從來主として英、米より輸入を見、其の用途は廣く石鹼、人絹糸、油脂の精製、染色、製革其他に及び就中人絹糸、石鹼製造に最も多く用ひらるものなるが本品は未だ國産のみにてよく内需に應じ得ざる結果輸入を見るもので本年の輸入増加は人絹糸の盛況なりしことを裏書するものである。

而して本年の輸入を見るに主要供給國たる英、米兩國よりの供給何れも前年に比し増加せるが尙着目すべきはソベ

1ト製品の著増である。

阪神兩港荷性曹達(粗製)輸入額

英 國	六 年	二、四七、五七三擔	一、七九七千圓	五 年	二、四七、二八擔	一、八三三千圓
獨 逸	六 年	五、二九	四五	五 年	一八、三三	一、五
露 國	六 年	九五、七〇〇	七四	五 年	四一、〇六〇	三、三三
米 國	六 年	二、五、五九九	一、八一七	五 年	一、五、五三三	一、六三
				九 年		九九

尙曹達灰及天然曹達の輸入は前述の如く激減を來たしたがこれ主として硝子製造に用ひらるものなるところ近時我國當業者間にて本品自給計畫を企てるあり殊に本年は世界的不況及英國の金本位停止の餘波を受け硝子界極度の不振を見たるためであつたと思はる。

阪神兩港の品別輸入額を見ると次の通りである。

品名	六年	五年
北支	八二、三二擔	二九、一九擔
英國	二七、四〇三	一〇〇、五五
露國	三二、七四	一
米國	三〇、三六	一四、七〇四
天然曹達	一九、四三擔	三、八四〇擔
北支	四八、〇四四	七四、七二〇
米國	一五、一六	二八三
東阿	一四、一六	一三、六三
支那	五、二	五、六
總計	二八、二八千圓	五七、七千圓

漆

阪神兩港本品の輸入は前表の如く本邦輸入の大部分を占め前年に之を比べると數量極めて少量の増加ながら價額は市價低落を移し反つて四十七萬八千圓の減少を見た。

品名	六年	五年
全 國	二六、一三擔	三三、八三擔
阪神兩港	二五、六九	二五、六七
支那	二、二二千圓	二、五三二千圓
佛 印	三、〇六	三、五〇六

由來本邦は漆器の生産を以つて世界に知られ居る處其の主要原料たる本品の國産は極めて尠く而も本品は今や漆器類を初め自動車、自轉車、汽車、電車等其の用途漸く廣くなりために需要は逐年増加の傾向にあり主として支那より輸入さるものである。

尙本年は數量に於いて増加しながら價額においては著減を見たがこれ前年に比し不況による市價低落に因ること勿論ならんも亦下級品たる佛印産が激増せるに反し支那産は前年に比し稍々減じたるに因るものと思はる。

即ち阪神兩港本品のこれら兩地よりの本年輸入高を前年の夫と比較すると次の通りである。

品名	六年	五年
支 那	一九、五三擔	三三、〇九擔
佛 印	六、〇三	一、三四
總計	一、六六千圓	二、四六千圓

硝子板

厚板薄板を加へた阪神兩港輸入は數量八十九萬五千平方米、價額百三十九萬二千圓餘で前年に比して數量價額共に三割弱の減少を示してゐる、之は支那向鏡の輸出不振に據る厚板硝子の需要減と最近旭等にて厚板生産技術の研究積み漸次輸入品防遏に向ひつゝある爲と薄板に於ては旭、日米等の諸會社にて優秀品を産出し敢て輸入に俟つ必要の無くなつた結果である。

品名	六年	五年
全 國	二、四八、五三〇平方	三、六三、一五平方
阪神兩港	八五、一〇〇	一、二六、九〇〇
支那	一、九二	一、九四
佛 印	一、六六千圓	三、六三二千圓

然し病院植物温室等に用ひられる紫外線透過薄板硝子や乾板用硝子等は尙獨逸、白耳義より輸入されてゐる。

染料

合成染料の輸入は内地染料工業の發達に伴ひ逐年減少を見つゝあつたが本年は全國輸入額は七百二十八萬五千餘圓で前年に比し百四十七萬六千餘圓の増加を見た。而して阪神兩港の輸入額も亦六百八十七萬四千餘圓と前年に比し百二十七萬圓餘の増加を示してゐる。

昭和五年の秋に不振の底に達した染料界は六年に入つて不景氣に慣れ不況に喘ぎながらも安定し國內新製品の出現あつたが尙ストツク薄にて且年末爲替不安を感じての見越輸入もあり久しぶりに輸入増加を示したのである。主要供給國は獨、米、英、佛の諸國である。

國別輸入額

國	六年	五年
英國	九、四三斤	二、四三圓
佛國	一七、五五二	五、四
獨逸	一、六二、三二八	六、七五七
瑞西	三、四、八六二	九、七、一〇一
米	六、三〇、五七七	三、四、三三一
其他	一、〇、二五三	一、五、二六
其	一、〇、二五三	七、八、六〇〇
總計	二、四、三、四三圓	一、二、三、一〇一

毛織物

本品の九割五分迄は阪神兩港に於て輸入さるゝもので其の量六百八十二萬五千餘斤で前年に比し百十七萬九千斤の増加を示したが價額は反つて百四十八萬七千圓の減少を示した。

本品は其の用途により織絲及編絲に區分され輸入量殆ど相半ばするが近時編絲熱稍下火の爲編絲漸減の傾向がある我國の毛絲紡績業は最近著しく發展し六年度の内地毛絲生産高は約七千萬封度に達し前年よりも一千百萬封度の激増であるが然し消費高は七千八百六十萬封度に上り前年に比して一千六百萬封度即二割の増加で輸入も前年より百十七萬餘斤の増加を示してゐる、これは毛織勃興に伴ひ毛絲需要著しきと國產毛織物に對する好評及海外毛絲の値下り等相俟つて本年の輸入増加を見たものと思はれる。

毛織物

全	六年	五年
全	七、四七、四七〇斤	六、〇八、三、七斤
阪神兩港	六、八五、三二一	五、六、四、〇三五
其他	五、五、一四九	三、三、五、一〇九

阪神兩港本品の輸入額は五百五十二萬二千圓餘で前年に比し百十七萬六千餘圓の減少を見た。今や本邦毛織物工業の發達は著しく羅紗セルジスの生産に至つては内需に應ずるは勿論進んで隣國に輸出する状態である。本品の輸入は逐年減少してゐる、輸入を見るは只薄手物たるアルパカ類の如き裏地、小供服地其他一部の需要に應ずる高級洋服地である輸入の減少は内地不景氣による購買力の減退もさることながら國產品の擡頭、政府の國產獎勵も與つて力あつた事と思はれる。

主要仕出國は英、獨兩國である。

バルブ

全	六年	五年
全	一、七、三、七、七五擔	一、三、九、一、三、五擔
阪神兩港	一、三、四、五、四二一	九、八、八、五
其他	二、八、四、〇、千圓	一、三、〇、八、四、千圓

本品は主として阪神兩港より輸入さるゝもので本年輸入額は數量百二十四萬五千圓價額九百十八萬五千餘圓で前年に比し三十萬五千三百餘擔、價額三十萬圓の減少を見た。

本品は主として製紙用、人絹製造用に用ひられるもので製紙用バルブは世界的に生産過剩を告げ歐洲にては主要生産國は九月限産協定をなし四割五分の操短を行つた。我國にても王子製紙の樺太大泊工場は十月限り閉鎖されたが北歐カナダ等のダンピングの爲輸入數量は前年度の二割七分増加したが價額は反對に二分減じてゐる。

人絹用バルブは従前全部輸入に俟つてゐたが樺工會社が同バルブ製造に成功し泊居工場で月産二千噸生産する旨發表した。本邦人絹工業は年々著しく發展し同バルブ輸入の漸増しつゝある折柄とて多大の期待を以て迎へられてゐる。因に本邦人絹會社の人絹用バルブ使用年額は約三萬噸である。本品主要輸入國は加奈陀、北米合衆國、瑞典、諸威等である。

石 油

本品本年全國の輸入總額は一億二千十三萬九千八百ガロン、三千五百九十九萬圓にして前年に比し數量九百三十一萬ガロン増加したに反し價額は百八十七萬圓の減少である。主なる供給國は米國、蘭領印度で前者五割四分後者三割五分を供給してゐる。

本邦油界の支配權を握る米油界は一昨年の産油激増以來持越されたストックは依然整理されず折柄の財界不況と共に市價は連月協落し一部油井の強制封鎖を斷行するの形勢にありロシヤでは茲一二年來石油ダンピングを猛烈に行つてゐたので採算無視の外油がどしどし我市場に流れ込み本年の輸入量は増加し内地會社は其の重壓に苦しんだが年末の金輸再禁止によつて形勢一變し外油系會社は爲替不利に據る一齊値上を發表するに至つたので内地油界も立直り初めた。

貝 殻

全 國	六 年	二九七、三三九擔	二、四三三圓	五 年	二九、五三三擔	二、八四四圓
阪 神 兩 港		一七三、三三六	三、三三六		一三、〇五九	二、七六六

阪神兩港本品の輸入額は數量十六萬七千三百七十八擔、價額二百三十二萬八千圓にて前年に比し數量三萬三千三百十九擔増加したが價額は反つて四十六萬八千圓を減じてゐる。

本品は大體貝卸の輸出の消長に左右されるものであつて本年の貝卸輸出は僅少なから減少を示せるにも不拘本品の輸入増加するの奇現象を見たが蓋し價格安による見越し輸入の結果ならん。

鉄

全 國	六 年	六、六七、四四九擔	一一、三九千圓	全 國	六、六三、八三三擔	一五、八四四圓
阪 神 兩 港		三、六八、六三二	六、三三七		三、五八、九九七	八、三三〇

阪神兩港輸入額は數量三百六十五萬八千六百二擔、價額六百三十七萬七千圓餘にして前年に比し數量約六千六百餘擔の増加を見たるも價額は反つて二百萬圓の減少を見た。輸入先の第一は關東州で全體の四割三分次は印度の三割二分である。前年に比較すれば關東州は一割四分の増加なるに反し印鉄は二割九分の減退を見た。此は鉄鐵業者が犠牲を拂つて輸入防遏に努めた結果であつて其の結果應二十三圓の安價まで出した。國內市價は上半期に於て約三十圓であつたが九月以降英國金本位の停止の爲印鉄の浸入となり遂に前記の底値を見たが然し尙約十五萬圓の印度鉄鐵の輸入を見たのである。

鐵 (條竿、アングル型)

全 國	六 年	三、七、九七七擔	三、三六千圓	五 年	一、七三、三五擔	九、九三九圓
						一〇五

阪神兩港

三六、六四

一九、三

九五、三三

五、四四

阪神兩港の輸入額數量三十六萬六千六百九十四擔、價額百九十三萬六千圓で前年に比し五十九萬八千五百十八擔、價額三百五十一萬二千圓の減少を見た。

其の原因としては前年度に受けた金解禁の衝撃も漸く薄らぎ製鐵所並に各種鋼材共販が外注の防遏に努力し進んでは内地過剩ストツクを海外に輸出の道さへ開いた事と一般的に因る建築界造船界の沈衰等にて需要の激減を見た

鐵筒及管鐵

全 國

一九、三五擔

二、五三圓

五〇、五〇擔

五、四六千圓

阪神兩港

八〇、二三

七元

一五、五八

一、八三

阪神兩港輸入は數量八萬百三十擔、價額七十二萬九千圓にして前年に比し數量十一萬三千八百餘擔、價額一百零八千圓の減少を見た。

連年輸入増加の傾向にあつた本品は昭和四年を最後とし五年度には一轉して四割四分の激減を見たが本年は尙前年度の五割八分を減じてゐる。

本品のかく輸入の激減せるは國産品の進出による輸入防遏の結果たるは勿論であるが他面本品は鐵鋼界中不況の影響を最も著しく蒙つた物で土木建築造船界の不振の結果である。九月に入つて英國の金本位停止あつたに不拘大勢に影響の無かつたは國産品の根強き進出と一面には輸入品は特殊の用途を持つたもの多く高壓パイプ、ボイラーチューブ等需要先の限られたものが多い爲である。主要供給先は獨、英、米の三國である。

鋳 力 板

全 國

七五、八八擔

八、四九千圓

一、四七、五〇七擔

一五、五六千圓

阪神兩港

二九、六九

二、六七

四〇、八七

四、七五

阪神兩港輸入額は二十九萬八千二百六十九擔、價額二百二十六萬七千圓で前年に比し數量十萬三千六百餘擔、價額二百五十一萬八千餘圓の減少を見た。

鋳力板は罐詰用藥品化粧品用及其の他の各種容器として需要中々多く兩三年來の不況時にも殆んど其の需要を減じてゐない。本年は僅か一割七分の需要減を見たのみである。

國産としては只八幡製があるのみであるから本年は二割三分即五千噸を増産したが尙五萬餘噸の輸入を見たのである。九月に入つて英金本位停止を織り込んだ輸入品の値下壓迫により其の低落に追隨し切れず内地産の賣り止めを行ふ等の事あつたに不拘二百五十萬圓餘の輸入減を示したのはストツク持越し、不況による需要の減退は勿論ながら内地増産も亦與つて力があつた。民間に於ては中山薄鐵板等前途囑望す可きものがある。

鐵 板 (電鍍セザルモノ)

全 國

五九、四六擔

三、四三圓

一、七二、二五擔

一〇、〇八千圓

阪神兩港

三五、〇七

二、三五

六三、二五

四、五九

阪神兩港輸入額は數量三十五萬一千七十二擔、價額二百三十八萬五千圓にして前年に比し數量二十八萬五千八百八十六擔、價額二百二十一萬三千圓の減少を見た。

鋼板中厚板及中板の需要は二割五分を減じた爲内地産額は一七%即約六萬噸を減じたが輸入は八割即四萬噸の多きを減じた。又薄板は近年益々其の需要を増し此の不景氣に際しても尙九%約二萬噸の消費増を示したが内地製板技術の著しき發達に伴ひ八幡にては三割の約一萬噸、民間にては川崎造船所葺合工場の大發展により一割三分の二萬餘

を増産したる爲輸入は逆に三割三分の一萬越を減じた。
本品は主として英、獨より輸入さる。

ワイヤーロツド

全 國	六年	一、〇六、二五擔	四、三九千圓	五年	一、二四、七四擔	五、四九六千圓
阪神兩港		八三、九二	三、〇九八		八〇、三六	三、八三〇
全 國	六年	五三、三六擔	三、五七千圓	五年	五三、五九擔	四、八四九千圓
阪神兩港		二四、三三	一、六三		二四、〇〇	二、八四八

本年度阪神兩港の輸入高は數量二萬四千三百七十二擔、價額百六十一萬二千圓で前年に比し數量七千六百餘擔、價額百二十三萬圓の減少を見た。

阪神兩港輸入額は數量八十一萬三千九百六十一擔、價額三百九萬八千圓餘にして前年に比し數量約三萬五千擔、價額六十二萬二千圓餘の減少を見た。
本品は鐵釘鐵線製造に用ひられるものなるが他の一般鋼材需要減の趨勢に逆行して前年の二割六分即約五萬越の需要増加を來たしたが此に對し八幡は二割五分の二萬越民間では七割七分の三萬越を増産した爲輸入は却つて五分の約四千越を減じて最早殆んど自給自足の域に達したが細物に限り尙輸入に俟つものもあるも追々國産品之に代らんとする。
輸入の最も多いのは獨逸で全體の六割に當り次は英、白、米等である。

錫 (塊及錠)

輸出先は海峽殖民地を首位とし輸入總量の五割九分を占め前年に比し約五分の増加、次は支那にして輸入總量の二割三分を占め前年より一割三分減、蘭領印度及香港之に次ぐ。

本品は國內産額と需要の乏しき爲國內市價は常に海外市況によつて支配されてゐる。
本品の世界需要十八萬噸に對し生産は十九萬噸もあり生産過剰の所へロンドン滞貨三萬噸餘あり英領マレー、ニジエリヤ、ボリビヤ、蘭領東印度當業者の國際プール成立し限産協定により七八月昂騰を示したのみで年末の急騰は金輸再禁止による爲替變動に基くものである。

鉛 (塊及錠)

全 國	六年	八五、二五擔	八、三七千圓	五年	九三、〇〇擔	一一、二七千圓
阪神兩港		四〇、〇〇	四、三五五		四三、八〇	六、二九
全 國	六年	四六、四四擔	二、二八千圓	五年	二八、七四九擔	九、五八千圓

阪神兩港輸入は數量四十二萬三十擔、價額四百二十五萬五千圓にして前年に比し數量十二萬二千擔餘、價額二百四萬四千圓餘の減少を見た。
本品は内地生産極めて少き爲殆んど輸入品によりて其の需要を滿たしてゐる。加奈陀は輸入國の首位を占め總額の四割八分、次は北米合衆國の三割一分で中華民國英國之に次ぐ。
其の主なる需要方面は鉛管、ペイント、電池等にして其の他用途廣汎に互り其の需要逐年増加の傾向あるも工業界不振の爲輸入の減少を見た、其の市價も供給過剰から僅に限産協定成立によつて七八月昂騰を示したのみであるが年末には再禁止により活況を呈した。

アルミニウム

全 國	六年	二八、七四九擔	九、五八千圓
全 國	五年	二二、八千圓	一〇九

阪神兩港 三二、八三三 一、五九九 一四七、八〇八 七、六三三

阪神兩港本品の輸入は數量三萬一千八百二十三擔、價額百五十萬九千圓にして前年に比し數量十一萬五千三百五十七擔、價額六百十七萬三千圓即數量七割八分價額八割餘に達する大激減である。全國計に於ては數量七割五分價額七割七分餘の減少である。

アルミニウムは銅、眞鍮等に比し輕量なる爲價格安で耐久力もあり美麗なる爲廣く各方面に需要せられアルミニウム時代を創めん勢である。即送電線、アルミ板、家庭用器、航空機材料、自動車部分品等用途益々増大するに反し内地生産皆無にして全部輸入に俟つ現狀である。

本年度のかゝる激減は内地一般不況による需要減退と南洋支那方面への輸出が三割八分餘も減じた爲である。輸出國は瑞西、獨逸、米國等である。

亞鉛 (塊錠)

全 國 三〇一、五五擔 三、〇九千圓 三九五、四七擔 四、九五千圓

阪神兩港 二六九、八二 二、三三七 三〇二、七七 三、九九七

阪神兩港輸入は數量二十六萬九千八百十二擔、價額二百三十二萬七千圓にして前年に比し數量三萬二千餘擔、價額百六十七萬圓の減少を見た。

本品は亞鉛引鐵板鐵線の鍍金、亞鉛華の原料、合金用等に用ひられるが連年の不況の爲品動き面白からず且支那向眞鍮の輸出減等の原因より輸入の減退を招來してゐる。

主なる輸入先は濠洲、加奈陀にして輸入全量の八割強を占め米國之に次ぐ。

其の市價は他の鉛、錫、同様夥しい供給過剩により一九二八年度の三割七分にまで暴落したが幸じて七月に生産協定成立により一息ついた有様である。年末の急騰は金輪再禁止による爲替低落に基ずくものなるもノミナルにて商談

全く中絶した。

紡績機械

全 國 六、二四九擔 三、五三三圓 一四三、八元擔 六、六五五圓

阪神兩港 六、二四九擔 三、〇〇〇圓 一四三、八元擔 六、〇五五圓

阪神兩港輸入は數量六萬五千二百三十五擔、價額三百四萬三千圓にして前年に比し七萬四千三百七十四擔、價額三百一萬二千圓を減じ五年度の殆んど半分に過ぎないまでの大激減振りである。之は連年に互る不況の爲内地紡績界は操短休機相次ぐ折からとて新設擴張無きと國産紡績の著しき發達の爲大部分は國産品で充分代用し得るが爲である。佛獨よりは毛糸紡績、英よりは綿糸紡績を輸入してゐる。

金屬工及木工機械

全 國 二、八六六、九三斤 三、〇七千圓 四、五〇、四七斤 四、八四一、千圓

阪神兩港 一、四四一、七二六 一、四四六 一、八八九、四〇〇 二、二九四

阪神兩港輸入額は數量百十四萬一千七百十六斤、價額百四十九萬六千圓にして前年に比し數量七十四萬七千六百八十四斤、價額六十九萬八千圓の減少を見た。

之は產業界不況による工作機械の需要減にも因るが主因と見る可きは改善進歩せる國産機器に對する世人の充分なる認識である。

國産の之に代る可きもの、無い特殊品のみ獨瑞等から輸入してゐる。

發電氣及發電動機

全	一、五七、九六斤	一、九九千圓	三、〇四、三三斤	三、五九千圓
阪神兩港	一、〇四、八九	一、三九九	二、〇四、七六	二、五五一

阪神兩港輸入に於て前年に比し數量九十九萬九千八百四十八斤、價額百十七萬二千圓即各々四割九分と四割六分の激減を來たしてゐる。其の全國輸入も國產品の一分にも及ばない有様でしかも逐年減少の一途を辿つてゐる。我國電氣機械製造工業の發達目覺しきと金輪再禁止と相俟つて七年度には完全に輸入を防遏するであらう。

大阪港輸出入品國別明細表

	輸出之部	輸入之部
第一類 植物及動物 一 五
第二類 穀物、澱粉、澱粉及種子 一 五
第三類 飲食物及煙草 二 五
第四類 皮毛角牙類同製品 八 三
第五類 油脂蠟及同製品 九 三
第六類 藥材化學藥及爆發藥 二 三
第七類 染料顏料及塗料類 四 三
第八類 絲纜繩索及同材料 六 三
第九類 布帛及同製品 七 三
第十類 衣類及同附屬品 七 三
第十一類 紙及紙製品 五 四
第十二類 礦物及同製品 六 六
第十三類 陶磁器及硝子類 六 六
第十四類 鐵及金屬 四 六
第十五類 金屬製品 四 六
第十六類 時計、學術器、船車及機械類 空 一〇〇
第十七類 雜品 空 一〇七

大阪港輸出品

其他ノ植物及動物	國名	數量	價格
支滿	支滿	10,101	1,433
關北	關北	1,865	3,653
關中	關中	4,433	4,433
關南	關南	3,101	3,101
計	計	21,500	12,620
支滿	支滿	5,957	35,796
關北	關北	1	6
關中	關中	1	6
關南	關南	1	6
計	計	7,965	35,814
支滿	支滿	10,101	1,433
關北	關北	1,865	3,653
關中	關中	4,433	4,433
關南	關南	3,101	3,101
計	計	19,500	12,620

其他	國名	數量	價格
支滿	支滿	1,737	7,333
關北	關北	7,333	7,333
關中	關中	9,999	9,999
關南	關南	4,333	4,333
計	計	23,402	29,000
支滿	支滿	1,737	7,333
關北	關北	7,333	7,333
關中	關中	9,999	9,999
關南	關南	4,333	4,333
計	計	23,402	29,000

其他ノ花豆類	國名	數量	價格
支滿	支滿	3,101	1,433
關北	關北	1,865	3,653
關中	關中	4,433	4,433
關南	關南	3,101	3,101
計	計	12,500	12,620
支滿	支滿	5,957	35,796
關北	關北	1	6
關中	關中	1	6
關南	關南	1	6
計	計	7,965	35,814

小麥類	國名	數量	價格
支滿	支滿	1,737	7,333
關北	關北	7,333	7,333
關中	關中	9,999	9,999
關南	關南	4,333	4,333
計	計	23,402	29,000
支滿	支滿	1,737	7,333
關北	關北	7,333	7,333
關中	關中	9,999	9,999
關南	關南	4,333	4,333
計	計	23,402	29,000

海印香關	支滿	味	計	蘭	水	海	印	香	關	支滿	寒	計	漆	土	英	フ	蘭	水	海		
南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	
三	六	七	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四

其他	漆	東	土	伊	佛	暹	蘭	水	海	印	香	關	支滿	將	計	其他	伊	佛	暹	比	フ	蘭	水
南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北
二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六

關	南	中	北	支滿	罐詰	鳥獸肉	計	水	飲	水	其他	計	關	支滿	鏡	計	
南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北
四	三	二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九

布	漆	埃	伯	合	白	獨	英	比	蘭	水	海	印	香	關	支滿	同	計	其他	英	蘭	水	海	印	香
南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七

南	中	北	支滿	其他	計	海	印	香	關	支中	鰹	計	南	水	海	印	香	關	支北	錫	計	其他	漆	東	佛
南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八

印	香	關	支北	其他	計	比	フ	蘭	海	印	香	關	支滿	鮭	計	比	フ	蘭	水	海	印	香	關	
南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	
三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七

乾	其他	計	關	支中	貝	鮑	計	佛	フ	蘭	海	印	香	關	支滿	煎	計	比	蘭	水	海	印	香
南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北
二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六

印	香	關	支北	海	計	漆	土	暹	比	フ	蘭	海	印	香	關	支滿	鯉	海	計	關	支北	
南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中	北	南	中
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一	二	三	四	五

亞麻仁油	計新	加合	典伊	英比	フボ	海印	香關	南中北	支滿	其他ノ皮毛角牙類製品	計海關	象牙製品	計濠

菜豆油	計關	椰油	計合	英香	往胡麻子油	計比	蘭海	香關	南中北	支滿	毛皮	計香關	紙卷煙草	其他ノ煙草	計其他	合土伊佛英

植子油	計比	支滿	棉子油	計濠	合獨	英印	香關	南中北	支滿	其他皮毛骨角齒牙甲殼類	計濠	合

樟腦油	計濠	薄荷油	計濠	運蘭	印香	關	南中北	支滿	其他ノ革製品	計英	關印	香關	南中北	支滿	機械用帶	計濠	玖合

其他ノ酒	支滿	南中北	計伊比	關	海印	香關	南中北	支滿	其他ノ食料品	計伊比	關	海印	香關	南中北	支滿

豚毛	計濠	合獨	英印	香關	南中北	支滿	其他ノ煙草	計其他	合土伊佛英

鞣革	計濠	加合	獨佛	英關	南中北	支滿	其他皮毛骨角齒牙甲殼類	計濠	合

其他ノ革製品	計英	關印	香關	南中北	支滿	機械用帶	計濠	玖合

北	中	南	支滿	其他ノ油脂蠟及同製品	計	東	阿	埃	ア	運	比	ソ	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中	北	

香	關	中	北	支滿	阿	計	伯	香	關	支	北	除	布	海	香	人	計	濠	埃	合	獨	暹	比	フ	蘭	

英	暹	比	關	フ	印	香	關	支	北	沃	計	暹	比	フ	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支滿	硫	計	海	印	

比	フ	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中	北	支滿	硫	計	暹	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支滿	醋	計	阿	丁	

南	中	北	支滿	其他ノ蠟油	計	印	關	中	北	支滿	鯨	計	濠	ボ	海	印	香	關	南	中	北	支滿	魚	計	濠	埃	

關	中	北	支滿	硬	計	秘	合	比	蘭	印	香	關	南	中	北	支滿	木	計	東	合	比	蘭	ボ	海	印	香	關	

中	北	支滿	其他ノ石鹼	計	東	阿	埃	合	細	暹	比	ソ	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中	北	支滿	化	粧	計	獨	印	

支滿	計	濠	合	細	比	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中	北	支滿	化	粧	用	ク	リ	ム	計	東	暹	蘭	ボ	海	印	香	關	南	

同 (細綾) (方碼) (斤)

支滿	八三、五〇	一五、三〇
北	四三、九二	九四、九六
中	四七、五〇	七、七〇
南	三〇、九二	七、八〇
計	一八〇、〇〇	二、六八
支滿	八三、五〇	一五、三〇
北	四三、九二	九四、九六
中	四七、五〇	七、七〇
南	三〇、九二	七、八〇
計	一八〇、〇〇	二、六八

同 (小倉織) (方碼) (斤)

支滿	五三、方碼	四〇(斤)	一元
北	五三、方碼	四〇(斤)	一元
中	五三、方碼	四〇(斤)	一元
南	五三、方碼	四〇(斤)	一元
計	五三、方碼	四〇(斤)	一元

同 (幅四〇吋未滿) (方碼) (斤)

支滿	五三、方碼	四〇(斤)	一元
北	五三、方碼	四〇(斤)	一元
中	五三、方碼	四〇(斤)	一元
南	五三、方碼	四〇(斤)	一元
計	五三、方碼	四〇(斤)	一元

同 (粗布) (方碼) (斤)

支滿	八三、五〇	一五、三〇
北	四三、九二	九四、九六
中	四七、五〇	七、七〇
南	三〇、九二	七、八〇
計	一八〇、〇〇	二、六八

同 (天笠布) (方碼) (斤)

支滿	八三、五〇	一五、三〇
北	四三、九二	九四、九六
中	四七、五〇	七、七〇
南	三〇、九二	七、八〇
計	一八〇、〇〇	二、六八

同 (五枚朱子) (方碼) (斤)

支滿	八三、五〇	一五、三〇
北	四三、九二	九四、九六
中	四七、五〇	七、七〇
南	三〇、九二	七、八〇
計	一八〇、〇〇	二、六八

同 (綾木綿) (方碼) (斤)

支滿	八三、五〇	一五、三〇
北	四三、九二	九四、九六
中	四七、五〇	七、七〇
南	三〇、九二	七、八〇
計	一八〇、〇〇	二、六八

同 (細綾) (方碼) (斤)

支滿	八三、五〇	一五、三〇
北	四三、九二	九四、九六
中	四七、五〇	七、七〇
南	三〇、九二	七、八〇
計	一八〇、〇〇	二、六八

支滿 三、五三 七、〇七 六、六四九
北 七、四一 二、八一 二、三三
關 三、四五 一、〇六六 九九九
計 三、七七 二、一五五 二、〇〇九
同 (方碼) (斤)
支滿 三、六六 四、五〇 六、〇一九
北 九、五二 二、七五 二、四七七
中 三、九八 四、九七 五、四一
關 一、八 二、四 二、八四
香 〇、〇〇〇 一、五〇〇 二、〇六〇
印 五、五九 一、八 六、六六
海 一、六〇〇 五、八〇〇 三、九四
計 四、五八 九、七九〇 二、四四 五、三二
同 (フランネル) (方碼) (斤)
支滿 三、七三 六、八六 三、七六
北 一、五〇 四、七五 二、九
中 七、九 九、三三 六、八
關 〇、三〇〇 一、六三九 一、九七
香 〇、九七 六、七六 三、三
海 一、六八 四、七 三、三
印 一、九 六、一 三、五
南 七、五七 二、〇〇 一、二八
亞 一、六 二、五 二、四
計 四、五八 九、七九〇 二、四四 五、三二

計 一、〇六〇 三、六九 二、六、四四
同金巾(幅三四吋以上) (方碼) (斤)
支滿 三、八五 五、八八 三、九
北 三、七 八、五 三、二
中 三、〇六 九、〇 五、一
關 四、三 五、八 六、三
香 八、七 四、一 五、八
印 四、六 二、九 七、七
海 一、七 一、九 二、三
計 一、〇六〇 三、六九 二、六、四四
同 (方碼) (斤)
支滿 一、五八 九、〇 二、〇、六一
弗 六、四〇〇 一、〇、八〇 八、六九
計 二、六七 二、〇、八一 一、〇、三、九四

支滿 一、五八 九、〇 二、〇、六一
弗 六、四〇〇 一、〇、八〇 八、六九
計 二、六七 二、〇、八一 一、〇、三、九四
同同 (幅三四吋未滿) (方碼) (斤)
支滿 二、七〇 二、二七 一、三四三
北 五、四九五 三、三四 八、八四四
中 四、六 七、九 五、七六
關 一、三 一、八 一、六
香 二、七 五、四 六、四
印 五、六 〇、八 八、四
海 一、六 二、八 二、八
計 七、三五五 八、七 一、五、〇、六一

支滿 一、〇〇 三、三
比 二、四〇 三、九
計 六、〇〇 一、〇〇〇 八、八
同 (天笠布) (方碼) (斤)
支滿 四、九 一、〇、一八 六、七
北 二、八 五、〇七 三、三
中 一、八 三、九 二、三
關 一、六 一、三 三、〇
香 三、五 六、六 五、五
印 四、〇 四、〇 四、〇
海 八、九 一、六 一、一
南 一、五 二、六 一、九
計 三、六 〇、七 四、八 五、八
同 (其他) (方碼) (斤)
支滿 六、四 一、六、三 一、四、六
北 八、八 一、七、五 一、六、五
中 八、九 四、四 七、七
關 七、〇 一、七〇 一、八
南 三、六 九、六 五、四
香 三、〇 五、八 四、二
印 四、六 一、九、三 二、五、七
海 三、六 八、七 六、七
計 二、七 二、七 八、〇

支滿 一、三三五 三、五五 二、三六
細 一、六〇〇 三、六〇 二、四三
漆 三、四〇〇 七、九 七、〇四
計 九、四 二、〇、二五 二、一六、九
其他ノ綿布(綾二綾)糸染 (方碼) (斤)
支滿 六、五 三、四、四 九、九
北 一、七 三、三 二、三
關 四、七 五、一 五、四
香 七、六 九、二 一、〇、〇
印 八、四 八、四 一、〇、〇
海 三、七 七、〇 四、七
南 二、九 五、五 三、二
中 二、二 五、〇 三、二
計 二、九 五、五 三、二

東 七、四 九、五 一、六、四
弗 二、三 六、五 五、〇
計 七、〇〇 一、〇、〇 八、〇〇
其他 四、七 六、〇 五、二
計 六、八 八、五 九、六
同 (其他ノ縞木綿) (方碼) (斤)
支滿 五、五 八、八 六、五
北 六、五 一、一〇 八、七
中 一、九 一、九 一、九
關 一、五 〇、八 一、五
香 二、三 二、三 二、三
印 二、五 六、四 四、四
海 一、〇 八、七 二、〇
南 九、〇 七、七 七、七
比 三、七 七、五 七、八
關 一、二 四、四 五、〇
ア 一、二 四、四 五、〇
細 一、二 四、四 五、〇
佛 三、七 七、五 七、八
土 一、〇 八、九 二、〇
合 二、八 五、〇 三、五
亞 八、三 一、六 八、九
東 四、一 二、二 六、三
計 一、四、八 〇、五 一、七、七
同 (色木綿) (方碼) (斤)

支滿 一、五八 九、〇 二、〇、六一
中 一、七 二、〇 一、七
關 一、五 五、七 一、八
香 二、二 二、二 二、二
印 三、四 四、〇 三、六
比 三、三 三、三 三、三
計 三、三 三、三 三、三
同 (染綾木綿) (方碼) (斤)
支滿 七、五 一、八、〇 一、六、五
北 三、三 五、〇 四、八
中 三、七 一、〇、五 六、四
南 二、〇 四、五 四、〇
關 八、一 三、三 三、七
印 四、九 三、二 三、八
海 一、〇 八、八 七、〇
南 二、〇 三、二 三、二
中 三、三 四、四 三、三
計 二、〇 三、二 三、二

支滿 一、三三五 三、五五 二、三六
北 一、〇〇 四、五五 五、二
中 二、四四 三、七 三、七
關 一、五〇 九、三 三、七
香 五、〇 五、一 三、三
印 七、二 一、〇、七 九、九
海 五、五 五、五 三、三
南 二、三 三、三 三、三
中 二、三 三、三 三、三
計 二、三 三、三 三、三
捺染細綾 (方碼) (斤)
支滿 一、二、六 二、三、九 一、八、七
北 一、五、四 三、三、五 三、三、五
中 一、五、八 三、三、五 三、三、五
計 一、九、七 二、〇、九 二、〇、九
ア 八、九 一、八、四 一、一、三
細 三、九 八、五 二、四、六

加工小倉織 (方碼) (斤)

支滿	二、九二二	二、七九八
北	一、五〇九	一、六一六
中	一、〇三三	一、〇三三
關	一、一五九	一、一五九
香	一、一五九	一、一五九
印	一、一五九	一、一五九
蘭	一、一五九	一、一五九
計	八、九二二	八、九二二

其他ノ細綾 (方碼) (斤)

支滿	一、八七〇	一、八七〇
北	一、八七〇	一、八七〇
中	一、八七〇	一、八七〇
關	一、八七〇	一、八七〇
香	一、八七〇	一、八七〇
印	一、八七〇	一、八七〇
蘭	一、八七〇	一、八七〇
計	一、八七〇	一、八七〇

加工縮 (方碼) (斤)

支滿	一、〇一〇	一、〇一〇
北	一、〇一〇	一、〇一〇
中	一、〇一〇	一、〇一〇
關	一、〇一〇	一、〇一〇
香	一、〇一〇	一、〇一〇
印	一、〇一〇	一、〇一〇
蘭	一、〇一〇	一、〇一〇
計	一、〇一〇	一、〇一〇

染フランネル (方碼) (斤)

支滿	七、五〇〇	七、五〇〇
北	七、五〇〇	七、五〇〇
中	七、五〇〇	七、五〇〇
關	七、五〇〇	七、五〇〇
香	七、五〇〇	七、五〇〇
印	七、五〇〇	七、五〇〇
蘭	七、五〇〇	七、五〇〇
計	七、五〇〇	七、五〇〇

擦染フランネル (方碼) (斤)

支滿	三、六〇〇	三、六〇〇
北	三、六〇〇	三、六〇〇
中	三、六〇〇	三、六〇〇
關	三、六〇〇	三、六〇〇
香	三、六〇〇	三、六〇〇
印	三、六〇〇	三、六〇〇
蘭	三、六〇〇	三、六〇〇
計	三、六〇〇	三、六〇〇

其他ノモスリン (方碼) (斤)

支滿	四、〇〇〇	四、〇〇〇
北	四、〇〇〇	四、〇〇〇
中	四、〇〇〇	四、〇〇〇
關	四、〇〇〇	四、〇〇〇
香	四、〇〇〇	四、〇〇〇
印	四、〇〇〇	四、〇〇〇
蘭	四、〇〇〇	四、〇〇〇
計	四、〇〇〇	四、〇〇〇

染金子 (方碼) (斤)

支滿	一、五七三	一、五七三
北	一、五七三	一、五七三
中	一、五七三	一、五七三
關	一、五七三	一、五七三
香	一、五七三	一、五七三
印	一、五七三	一、五七三
蘭	一、五七三	一、五七三
計	一、五七三	一、五七三

其他ノフランネル (方碼) (斤)

支中	一、〇七〇	一、〇七〇
支滿	一、〇七〇	一、〇七〇
北	一、〇七〇	一、〇七〇
中	一、〇七〇	一、〇七〇
關	一、〇七〇	一、〇七〇
香	一、〇七〇	一、〇七〇
印	一、〇七〇	一、〇七〇
蘭	一、〇七〇	一、〇七〇
計	一、〇七〇	一、〇七〇

加工更紗 (方碼) (斤)

支滿	一、七二〇	一、七二〇
北	一、七二〇	一、七二〇
中	一、七二〇	一、七二〇
關	一、七二〇	一、七二〇
香	一、七二〇	一、七二〇
印	一、七二〇	一、七二〇
蘭	一、七二〇	一、七二〇
計	一、七二〇	一、七二〇

同天笠布 (方碼) (斤)

支滿	五、八〇〇	五、八〇〇
北	五、八〇〇	五、八〇〇
中	五、八〇〇	五、八〇〇
關	五、八〇〇	五、八〇〇
香	五、八〇〇	五、八〇〇
印	五、八〇〇	五、八〇〇
蘭	五、八〇〇	五、八〇〇
計	五、八〇〇	五、八〇〇

擦染モスリン (方碼) (斤)

支滿	三、四〇〇	三、四〇〇
北	三、四〇〇	三、四〇〇
中	三、四〇〇	三、四〇〇
關	三、四〇〇	三、四〇〇
香	三、四〇〇	三、四〇〇
印	三、四〇〇	三、四〇〇
蘭	三、四〇〇	三、四〇〇
計	三、四〇〇	三、四〇〇

加工帆布 (方碼) (斤)

支滿	四、〇〇〇	四、〇〇〇
北	四、〇〇〇	四、〇〇〇
中	四、〇〇〇	四、〇〇〇
關	四、〇〇〇	四、〇〇〇
香	四、〇〇〇	四、〇〇〇
印	四、〇〇〇	四、〇〇〇
蘭	四、〇〇〇	四、〇〇〇
計	四、〇〇〇	四、〇〇〇

染繻子 (方碼) (斤)

支滿	一、七三三	一、七三三
北	一、七三三	一、七三三
中	一、七三三	一、七三三
關	一、七三三	一、七三三
香	一、七三三	一、七三三
印	一、七三三	一、七三三
蘭	一、七三三	一、七三三
計	一、七三三	一、七三三

捺染 縞子

Table with columns for regions (支満, 北, 中, 南, 東, 西, 計) and values for '捺染 縞子'.

加工 四綾

Table with columns for regions and values for '加工 四綾'.

同 (變り織)

Table with columns for regions and values for '同 (變り織)'.

其他ノ綿布(ポプリン)

Table with columns for regions and values for '其他ノ綿布(ポプリン)'.

同 (其他)

Table with columns for regions and values for '同 (其他)'.

カンヅアス(綿入ヲ含ム)

Table with columns for regions and values for 'カンヅアス(綿入ヲ含ム)'.

其他ノ麻織物(綿入ヲ含ム)

Table with columns for regions and values for '其他ノ麻織物(綿入ヲ含ム)'.

モスリン(綿入ヲ含ム)

Table with columns for regions and values for 'モスリン(綿入ヲ含ム)'.

羅紗及セルヂ(綿入ヲ含ム)

Table with columns for regions and values for '羅紗及セルヂ(綿入ヲ含ム)'.

其他ノ毛織物(綿入ヲ含ム)

Table with columns for regions and values for '其他ノ毛織物(綿入ヲ含ム)'.

羽二重

Table with columns for regions and values for '羽二重'.

甲斐絹

Table with columns for regions and values for '甲斐絹'.

富士絹類

Table with columns for regions and values for '富士絹類'.

縮緬

Table with columns for regions and values for '縮緬'.

其他ノ絹織物(綿入ヲ含ム)

Table with columns for regions and values for '其他ノ絹織物(綿入ヲ含ム)'.

人絹織物(交織ヲ含ム)

Table with columns for regions and values for '人絹織物(交織ヲ含ム)'.

人絹琥珀及ポプリン(交織ヲ含ム)

Table with columns for regions and values for '人絹琥珀及ポプリン(交織ヲ含ム)'.

硝子腕輪											
支中	印	海	蘭	比	ア	細	埃	東	非	計	其他ノ身邊粧飾用品
1,058(哥)	9,483	1,475	5,053	2,350	3,550	4,488	5,591	6,200	1,500	1,058(哥)	1,058(哥)
4,189	5,933	6,666	6,666	2,911	3,666	3,666	3,666	7,911	2,458	2,458	1,458
1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633	1,633

帶類											
支中	印	海	蘭	比	ア	細	埃	東	非	計	其他ノ身邊粧飾用品
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

腿子											
支中	印	海	蘭	比	ア	細	埃	東	非	計	其他ノ身邊粧飾用品
1,500(打)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

洋服											
支中	印	海	蘭	比	ア	細	埃	東	非	計	其他ノ身邊粧飾用品
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

其他ノ衣服及同附屬品											
支中	印	海	蘭	比	ア	細	埃	東	非	計	其他ノ衣服及同附屬品
1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058
1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058
1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058	1,058

印刷用紙											
支中	印	海	蘭	比	ア	細	埃	東	非	計	其他ノ衣服及同附屬品
3,533(百斤)	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533
3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533
3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533

雁皮紙及薄葉紙											
支中	印	海	蘭	比	ア	細	埃	東	非	計	其他ノ衣服及同附屬品
3,533(百斤)	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533
3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533
3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533

鳥ノ子紙											
支中	印	海	蘭	比	ア	細	埃	東	非	計	其他ノ衣服及同附屬品
3,533(百斤)	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533
3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533
3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533

半紙及美濃紙									
支滿	南	中	北	計	海	香	關	印	海
二四〇(百斤)	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇
九〇五	六五七	五〇〇	二一〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
四九、四四	二、六四〇	七、五八〇	八、八二〇	四、九〇〇	四、九〇〇	四、九〇〇	四、九〇〇	四、九〇〇	四、九〇〇

紙									
支滿	南	中	北	計	海	香	關	印	海
五(百斤)	一、五三三	二、四八〇	一、八四三	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六
一、五三三	二、四八〇	一、八四三	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六
一、五三三	二、四八〇	一、八四三	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六	三、〇〇六

帳簿及手帳									
支滿	南	中	北	計	海	香	關	印	海
八、九七(斤)	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三
三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三
三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三	三、四三三

煙草用吸口									
支滿	南	中	北	計	海	香	關	印	海
支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)
支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)
支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)

骨									
支滿	南	中	北	計	海	香	關	印	海
二、四八〇(組)	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇
二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇
二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇	二、四八〇

紙箱									
支滿	南	中	北	計	海	香	關	印	海
二、七五〇(斤)	一、六三三	五、〇〇八	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
一、六三三	五、〇〇八	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
一、六三三	五、〇〇八	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇

其他ノ印刷物									
支滿	南	中	北	計	海	香	關	印	海
支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)
支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)
支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)

其他ノ紙製品									
支滿	南	中	北	計	海	香	關	印	海
支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)
支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)
支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)	支(斤)

石綿及同製品

支滿	二,五三〇
北	二,五三〇
中	二,五三〇
南	二,五三〇
關	二,五三〇
香	二,五三〇
印	二,五三〇
海	二,五三〇
比	二,五三〇
蘭	二,五三〇
暹	二,五三〇
計	二,五三〇

石

支滿	一,三三六
北	一,三三六
中	一,三三六
南	一,三三六
關	一,三三六
香	一,三三六
印	一,三三六
海	一,三三六
比	一,三三六
蘭	一,三三六
暹	一,三三六
計	一,三三六

陶磁器

支滿	二,三六三
北	二,三六三
中	二,三六三
南	二,三六三
關	二,三六三
香	二,三六三
印	二,三六三
海	二,三六三
比	二,三六三
蘭	二,三六三
暹	二,三六三
計	二,三六三

硝子

支滿	五,五三〇
北	五,五三〇
中	五,五三〇
南	五,五三〇
關	五,五三〇
香	五,五三〇
印	五,五三〇
海	五,五三〇
比	五,五三〇
蘭	五,五三〇
暹	五,五三〇
計	五,五三〇

魔法

支滿	二,五三〇
北	二,五三〇
中	二,五三〇
南	二,五三〇
關	二,五三〇
香	二,五三〇
印	二,五三〇
海	二,五三〇
比	二,五三〇
蘭	二,五三〇
暹	二,五三〇
計	二,五三〇

コ

支滿	二,三三六
北	二,三三六
中	二,三三六
南	二,三三六
關	二,三三六
香	二,三三六
印	二,三三六
海	二,三三六
比	二,三三六
蘭	二,三三六
暹	二,三三六
計	二,三三六

食器

支滿	一,八七九
北	一,八七九
中	一,八七九
南	一,八七九
關	一,八七九
香	一,八七九
印	一,八七九
海	一,八七九
比	一,八七九
蘭	一,八七九
暹	一,八七九
計	一,八七九

時計硝子

支滿	一,二五〇
北	一,二五〇
中	一,二五〇
南	一,二五〇
關	一,二五〇
香	一,二五〇
印	一,二五〇
海	一,二五〇
比	一,二五〇
蘭	一,二五〇
暹	一,二五〇
計	一,二五〇

珠玉及球(硝子製)

支滿	三,三三六
北	三,三三六
中	三,三三六
南	三,三三六
關	三,三三六
香	三,三三六
印	三,三三六
海	三,三三六
比	三,三三六
蘭	三,三三六
暹	三,三三六
計	三,三三六

香	關	南	中	北	支	滿	同	計	合	暹	比	ソ	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	ソ	フ	蘭	ボ	海
二	二	二	二	二	二	二	同	計	合	暹	比	ソ	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	ソ	フ	蘭	ボ	海
二	二	二	二	二	二	二	同	計	合	暹	比	ソ	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	ソ	フ	蘭	ボ	海

ヨ	蘭	海	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	比	ソ	蘭	ボ	印
一	一	一	一	一	一	一	同	計	比	ソ	蘭	ボ	印			
一	一	一	一	一	一	一	同	計	比	ソ	蘭	ボ	印			

香	關	南	中	北	支	滿	同	計	暹	比
三	三	三	三	三	三	三	同	計	暹	比
三	三	三	三	三	三	三	同	計	暹	比

同	計	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	伊	白	獨	佛	英	暹	ソ	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	銅	計	印
同	計	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	伊	白	獨	佛	英	暹	ソ	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	銅	計	印
同	計	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	伊	白	獨	佛	英	暹	ソ	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	銅	計	印

ボ	海	印	關	支	北	同	計	新	淡	弗	東	阿	埃	亞	墨	合	和	伊	獨	佛	英	比	蘭	海	印	香	關	
二	二	二	二	二	二	二	同	計	新	淡	弗	東	阿	埃	亞	墨	合	和	伊	獨	佛	英	比	蘭	海	印	香	關
二	二	二	二	二	二	二	同	計	新	淡	弗	東	阿	埃	亞	墨	合	和	伊	獨	佛	英	比	蘭	海	印	香	關

埃	加	英	細	暹	比	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	淡	東	阿	埃	中	北	合	ア	暹	比	蘭
元	一	一	一	一	一	一	同	計	淡	東	阿	埃	中	北	合	ア	暹	比	蘭									
元	一	一	一	一	一	一	同	計	淡	東	阿	埃	中	北	合	ア	暹	比	蘭									

支	滿	同	計	暹	比	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	東	阿
支	滿	同	計	暹	比	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	東	阿
支	滿	同	計	暹	比	蘭	海	印	香	關	南	中	北	支	滿	同	計	東	阿

香	關	南	中	北	支	滿	同	計	關	支	北	同	計	印	關	其他	計	獨	佛	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中
香	關	南	中	北	支	滿	同	計	關	支	北	同	計	印	關	其他	計	獨	佛	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中
香	關	南	中	北	支	滿	同	計	關	支	北	同	計	印	關	其他	計	獨	佛	蘭	ボ	海	印	香	關	南	中

青銅製品 計東 支滿 南中北 伊比蘭海印香關 支滿 安知母尼製品 計阿白英細比印香關 支滿 中北 伊比蘭海印香關

伊比蘭海印香關	支滿	安知母尼製品	計阿白英細比印香關	支滿	南中北	支滿	計東
九七七	二一八	六	一〇、〇一〇	一七〇	一、四〇〇	二六七、二〇八	五八八

和加秘阿計 支滿 南中北 加秘阿計 支滿 其他ノ鐵製品 計比印香關 支滿 中北

和加秘阿計	支滿	南中北	加秘阿計	支滿	其他ノ鐵製品	計比印香關	支滿	中北
二二五	一六六	七、二一九	五、一六六	二、三六六	三、〇〇七	一、〇九八	一〇、〇一〇	九七七

其他ノ金屬製品 計東埃合土白暹比フ蘭ボ海印香關 支滿 南中北 比蘭海印香關 支滿 南中北

其他ノ金屬製品	計東埃合土白暹比フ蘭ボ海印香關	支滿	南中北	比蘭海印香關	支滿	南中北
三、四三六	三、〇〇六	二、一八八	二、一八八	一、四九五	五、八二三	三、四三六

掛時計 計埃及佛 支滿 中北 掛時計 計阿比印關 支滿 中北 置時計 計阿比蘭香關 支滿 南中北 醫療器(部分品共) 支滿 北

掛時計	計埃及佛	支滿	中北	掛時計	計阿比印關	支滿	中北	置時計	計阿比蘭香關	支滿	南中北	醫療器(部分品共)	支滿	北
一、九七三	三、三六九	一、一七九	一、三〇三	一、七三三	一、四九九	一、四九九	一、四九九	二、九七三	二、九七三	二、九七三	二、九七三	六、七三六	一、九七三	九、七三六

銅製品 計東 支滿 南中北 關南中北 鉢力製品 計合 暹比蘭ボ海香關 支滿 中北 鍋及釜(鐵) 計其他 新漆弗東阿埃土

銅製品	計東	支滿	南中北	關南中北	鉢力製品	計合	暹比蘭ボ海香關	支滿	中北	鍋及釜(鐵)	計其他	新漆弗東阿埃土
一、八八八、六三三	一、〇九八	一、〇九八	一、〇九八	一、〇九八	七、九五一	七、九五一	三、九七三	一、六七一	一、六七一	二、九三〇	二、九三〇	一、二九三

傘骨 計東阿埃秘合伊ア暹比フ蘭ボ海印香 支滿 中北 其他ノ鐵製品 計比印香關 支滿 中北

傘骨	計東阿埃秘合伊ア暹比フ蘭ボ海印香	支滿	中北	其他ノ鐵製品	計比印香關	支滿	中北
四、九三四	三、四六〇(打)	四、九三四	三、四六〇	三、〇〇七	一、〇九八	一、〇九八	一、〇九八

銅製品 計東 支滿 南中北 佛暹比蘭ボ海印香關 支滿 南中北 眞鍮製品 計阿合比蘭海印香關 支滿 南中北

銅製品	計東	支滿	南中北	佛暹比蘭ボ海印香關	支滿	南中北	眞鍮製品	計阿合比蘭海印香關	支滿	南中北
一、九四七、七九	七、九三六	七、九三六	七、九三六	七、九三六	五、八二三	五、八二三	五、八二三	二、九三〇	二、九三〇	二、九三〇

銅製品 計東 支滿 南中北 佛暹比蘭ボ海印香關 支滿 南中北 眞鍮製品 計阿合比蘭海印香關 支滿 南中北

銅製品	計東	支滿	南中北	佛暹比蘭ボ海印香關	支滿	南中北	眞鍮製品	計阿合比蘭海印香關	支滿	南中北
一、八八八、六三三	一、〇九八	一、〇九八	一、〇九八	一、〇九八	七、九五一	七、九五一	三、九七三	一、六七一	一、六七一	一、六七一

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															同 (其他)
															七七 四,七六九
															七七 四,七六九
															七七 四,七六九
															七七 四,七六九
															七七 四,七六九
															七七 四,七六九
															七七 四,七六九
															七七 四,七六九

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															同 (其他)
															一五 一,五〇六
															一五 一,五〇六
															一五 一,五〇六
															一五 一,五〇六
															一五 一,五〇六
															一五 一,五〇六
															一五 一,五〇六
															一五 一,五〇六

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															汽罐(部分品及附屬品共)
															五,八二六 二,二〇三
															五,八二六 二,二〇三
															五,八二六 二,二〇三
															五,八二六 二,二〇三
															五,八二六 二,二〇三
															五,八二六 二,二〇三
															五,八二六 二,二〇三
															五,八二六 二,二〇三

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															金屬木工機械(部分品及附屬品共)
															三,六六九 一,一〇九
															三,六六九 一,一〇九
															三,六六九 一,一〇九
															三,六六九 一,一〇九
															三,六六九 一,一〇九
															三,六六九 一,一〇九
															三,六六九 一,一〇九
															三,六六九 一,一〇九
															三,六六九 一,一〇九

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															紡績機及織布機(部分品及附屬品共)
															八,一六九 一,六七九
															八,一六九 一,六七九
															八,一六九 一,六七九
															八,一六九 一,六七九
															八,一六九 一,六七九
															八,一六九 一,六七九
															八,一六九 一,六七九
															八,一六九 一,六七九
															八,一六九 一,六七九

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															理化學器(部分品共)
															八七,一九九
															八七,一九九
															八七,一九九
															八七,一九九
															八七,一九九
															八七,一九九
															八七,一九九
															八七,一九九
															八七,一九九

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															樂器(部分品共)
															二七,二一六
															二七,二一六
															二七,二一六
															二七,二一六
															二七,二一六
															二七,二一六
															二七,二一六
															二七,二一六
															二七,二一六

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															其他ノ學術器(部分品共)
															八七四
															八七四
															八七四
															八七四
															八七四
															八七四
															八七四
															八七四
															八七四

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															自轉車同部分品及附屬品(部分品共)
															三,八八九
															三,八八九
															三,八八九
															三,八八九
															三,八八九
															三,八八九
															三,八八九
															三,八八九
															三,八八九
															三,八八九

支北	計	遼東	阿比	埃及	土希	和英	緬暹	比蘭	爪海	印香	關南	支滿	中北	支東	計
															同(其他)
															三,六二一
															三,六二一
															三,六二一
															三,六二一
															三,六二一
															三,六二一
															三,六二一
															三,六二一
															三,六二一

亞合希和ア	暹比	蘭海	印香	關	支滿	計	阿埃	加	暹比	ノ	蘭海	印香
南	中	北	支滿	計	阿埃	加	暹比	ノ	蘭海	印香	關	支滿
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

獨佛英細ア	暹比	蘭海	印香	關	支滿	計	暹比	ノ	蘭海	關	支滿	計	東
南	中	北	支滿	計	暹比	ノ	蘭海	關	支滿	計	東	計	東
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

獨英蘭印香	關	支滿	計	濠東	阿埃	南	智	中	合	歐	希	丁	南	諾	典	和	奧	伊	
南	中	北	支滿	計	濠東	阿埃	南	智	中	合	歐	希	丁	南	諾	典	和	奧	伊
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

阿埃合伊佛英細ア	暹比	蘭海	印香	關	支滿	計	濠東	阿埃	合	歐	諾
南	中	北	支滿	計	濠東	阿埃	合	歐	諾		
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

歐土希蘭	海印	香	關	支滿	計	濠東	阿埃	加	合	歐	丁	暹比	蘭海	印香
中	北	支滿	計	濠東	阿埃	加	合	歐	丁	暹比	蘭海	印香	關	支滿
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

屏	計	新濠東	阿埃	合	土和	暹比	ノ	蘭海	印香	關	支滿	計	濠東	加
南	中	北	支滿	計	濠東	加						計	濠東	加
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

ノ	蘭海	印香	關	支滿	計	蘭海	關	支滿	計	加伊英	支滿	計	關	支滿
南	中	北	支滿	計	蘭海	關	支滿	計	加伊英	支滿	計	關	支滿	計
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

關	支滿	計	布濠東	埃伊	暹比	蘭海	印香	關	支滿	計	阿英	暹比	
中	北	支滿	計	布濠東	埃伊	暹比	蘭海	印香	關	支滿	計	阿英	暹比
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	

支滿	計	比	關	其他ノ油精
八七,六二五	三,六四〇	七,七一一	三,六四〇	二九
支滿	計	比	關	其他ノ肥料
八七,六二五	三,六四〇	七,七一一	三,六四〇	四一七
支滿	計	比	關	其他ノ雜品
八七,六二五	三,六四〇	七,七一一	三,六四〇	一〇一

東阿埃秘玖加合土希和塊伊白獨佛英暹比ヲ蘭ボ海印香關 南中北

支滿	計	比	關	其他ノ油精
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ肥料
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ雜品
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

奧瑞伊白獨佛英細ア暹比ヨ蘭ボ海印香關 南中北

支滿	計	比	關	其他ノ油精
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ肥料
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ雜品
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

新添弗東阿埃南米 伯秘中米 玖墨北加合歐葡土希丁西波露諾典和チ

支滿	計	比	關	其他ノ油精
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ肥料
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ雜品
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

支滿	計	比	關	其他ノ油精
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ肥料
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ雜品
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

同 (陶磁器製) (粘土製) 支滿 計 比 關 其他 漆 東

支滿	計	比	關	其他ノ油精
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ肥料
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ雜品
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

同 (木製) 支滿 計 比 關 其他 漆 東

支滿	計	比	關	其他ノ油精
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ肥料
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ雜品
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

同 (其他) 支滿 計 比 關 其他 漆 東

支滿	計	比	關	其他ノ油精
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ肥料
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
支滿	計	比	關	其他ノ雜品
一,一〇三	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

大阪港輸入品

植物枝幹莖及根(栽植用)	又ハ接木用ノモノ)	支滿	關中	合計	其他ノ培植用菌類	合計	其他ノ動物	支滿	關北	合計	加	合	關	精	印
數量	價額(圓)	九	一〇	一九	三	三	六、五七五	三	二〇〇	二〇〇	五二〇	五二〇	六〇	七、四三三	三
		九	一〇	一九	三	三	六、五七五	三	二〇〇	二〇〇	五二〇	五二〇	六〇	七、四三三	三

碎計	米	支滿	關中	合計	小	加	合	關	高	支滿	關中	合計	玉	支滿	關中
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九

關	比	亞	阿	支滿	大	支滿	關中	合計	小	支滿	關中	合計	蠶	支滿	關中	合計	綠	支滿	關中
八六、四四五	一、〇〇六	一、七三三	九三、〇〇〇	四九、三〇三(百斤)	二九、三三四	六六、四四四	二、五七三	二、五七三	二、四七三(百斤)	三、七六七	二、三三〇	一、六三三	三、四〇〇(百斤)	二、八六八	六、三三八	二、一〇七	二、一〇七	二、一〇七	二、一〇七
八六、四四五	一、〇〇六	一、七三三	九三、〇〇〇	四九、三〇三(百斤)	二九、三三四	六六、四四四	二、五七三	二、五七三	二、四七三(百斤)	三、七六七	二、三三〇	一、六三三	三、四〇〇(百斤)	二、八六八	六、三三八	二、一〇七	二、一〇七	二、一〇七	二、一〇七

支滿	關中	合計	同	支滿	關中	合計	落花生(脱殼セザルモノ)	支滿	關中	合計	元	支滿	關中	合計	其他ノ豆類	支滿	關中	合計	小	支中
三、六七〇(百斤)	三、〇九九	六、七六九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	
三、六七〇(百斤)	三、〇九九	六、七六九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	三、〇九九	

布	其他	小形小包郵便物	計	其他	布
四、九三三	六、二七三	六、二七三	六、二七三	六、二七三	六、二七三
四、九三三	六、二七三	六、二七三	六、二七三	六、二七三	六、二七三

英	10	47
加	798	4,700
合	8,900	43,950
計	6,800	34,950
英	1,000	7,950
計	1,600	7,950
オートミール	1,000	7,950
合	1,000	7,950
計	1,000	7,950
コーンミール	1,000	7,950
合	1,000	7,950
計	1,000	7,950
タピオカ及マニオカ(粉状ノモノ)	1,000	7,950
海	500	1,670
計	900	4,280
同	900	4,280
計	900	4,280
同(其他)	300	1,380
計	300	1,380
セーゴ(粉状ノモノ)	600	2,900
海	600	2,900
計	600	2,900
コーンスターチ	1,000	4,900
支中	1,000	4,900

英	1	483
獨	1	483
露	500	2,380
計	500	2,380
其他ノ澱粉類	300	1,380
支中	300	1,380
計	300	1,380
其他ノ穀粉類	300	1,380
印	300	1,380
計	300	1,380
其他ノ穀粉類	300	1,380
計	300	1,380
胡麻子	500	2,380
支中	500	2,380
計	500	2,380
其他ノ穀粉類	300	1,380
計	300	1,380

往	700	4,280
胡	700	4,280
麻	700	4,280
子	700	4,280
支中	700	4,280
計	700	4,280
亞	1,000	7,950
支中	1,000	7,950
計	1,000	7,950
大	1,000	7,950
支中	1,000	7,950
計	1,000	7,950
寬	1,000	7,950
支中	1,000	7,950
計	1,000	7,950
其他ノ生果	1,000	7,950
支中	1,000	7,950
計	1,000	7,950

棉	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
其他ノ探油用種子	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
アイヴフオーナツト、ド	100	6,900
ウームナツト其他ノ類似	100	6,900
ノ鈕釦製造用核子	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900

クローヅア其他牧草ノ種	100	6,900
子	100	6,900
計	100	6,900
其他ノ種子及穀物(醫藥	100	6,900
用ノモノヲ除ク)	100	6,900
計	100	6,900
蔬菜果實及核子(砂糖、	100	6,900
糖蜜、糖水又ハ蜂蜜ヲ以	100	6,900
テ貯藏シタルモノ)	100	6,900
計	100	6,900
蔬菜(罐詰ノモノ)	100	6,900
計	100	6,900
其他ノ種子及穀物(醫藥	100	6,900
用ノモノヲ除ク)	100	6,900
計	100	6,900

同(罐詰ノモノ)	300	1,380
支中	300	1,380
計	300	1,380
同(其他)	300	1,380
支中	300	1,380
計	300	1,380
果實(罐詰)	300	1,380
支中	300	1,380
計	300	1,380
核子(罐詰ノモノ)	300	1,380
支中	300	1,380
計	300	1,380
果實及核子(罐詰)	300	1,380
支中	300	1,380
計	300	1,380
其他ノ穀粉類	300	1,380
支中	300	1,380
計	300	1,380

其他ノ生果	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
乾	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
栗	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
其他ノ核子	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
椰子	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
紅	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900

紅、茶、粉	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
珈琲(種子)	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
其他ノ探油用種子	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900
アイヴフオーナツト、ド	100	6,900
ウームナツト其他ノ類似	100	6,900
ノ鈕釦製造用核子	100	6,900
支中	100	6,900
計	100	6,900

